4 生活環境部

事業	401	事業名	井の頭コミュニティ・センター分離施設の整備	重点管理
----	-----	-----	-----------------------	------

(事業コード)			401101	(部課:	コード)				401			
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	井の頭コミュニ	ニティ・センター分										
評価対象事業名				部課係	裕	生活環境	急部	コミュ <u>ニラ</u>	ティ文化室			
基本計画の掲載	☑ あり	□なし	226ページ掲載					荒木俊博				
計画体系	第8部第1・	()	8100211	歳出科		一般会計	款:		項:			
計画事業名		ニティ・センター分				目:			事項:			
		コミュニティ・セン		補助区		国補助		『補助 □	市単独			
計画体系		2 - (1) -	8100212			三鷹市地域						
計画事業名		・センターの防災拠		関係法	規	三鷹市コミ	ユニティ	・センタ-	-条例			
計画体系	第3部第4・3-(• •	3400331									
計画事業名												
(対象) 井の頭地区の (意図) コミュニティ	事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)> (対象) 井の頭地区の住民をはじめとした全ての市民及び市民活動団体											
事業の概要・期間 井の頭コミュニ 施設を整備する。	ニティ・センタ	□ 単年度 7ー本館前広場に	▼ 複数年) 取得した用地(度 (始 (敷地1,	台期: ,300㎡)	13年度 に市民との	~ 終 協働による		16年度) †をし、分離			
			当該事務に従	<u>事する</u> 男	実質職員	数		0.5	人			
住民と3回意見3	検討委員会を 8 交換会を開催す						基づき素	 案を作成	し、地元			
	中心としたワ	- ークショップ方式			検討委員	会及び地元	住民との	意見交換名	会は、市民			
		<u> </u>			+西	施設利用者、	登録白ま り	ブリー プ答(の増加粉			
他団体の先進的な			「U心女!」 いしいし) フィッ _{コロ・}	↑示 .	加収がカラー、	豆蚜口工,	/// ノい・	リル・ロルタメ			
	よ取り組 <i>の</i> 成未 	^{₹・参考} 実績値 <u></u>										
年度別明細	よ取り組み成業 H12年度		 H14年度事	前一	H14年月	度達成 —						
	H12年度	H13年度 検討委員会準備 委員会2回、 近隣住民説明会 1回、建設検討 委員会3回。	地元住民との意	回、	H14年原 検討委員会 主民協議会 記交換会 2	会4回 会との意						
- 年度別明細 事業	H12年度	H13年度 検討委員会準備 委員会2回、 近隣住民説明会 1回、建設検討	検討委員会4回 地元住民との意	可、 意見 住 E。 見	食討委員会 注民協議会	会4回 会との意 ! 回						
- 年度別明細 事業・ 業務量 まちづくり 指標 行政指標 協働指標	H12年度	H13年度 検討委員会準備 委員会2回、 近隣住民説明会 1回、建設検討 委員会3回。 参加者数 200人	検討委員会4回地元住民との意 交換会3回予定 参加者数 200人予定	可、 検急 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付	会討委員会 注民協議会 見交換会 2 参加者数	会は回会との意見回						
■年度別明細 事業・ 業務量 まちづくり 指標 行政指標 協働指標	H12年度	H13年度 検討委員会準備 委員会2回、 近隣住民説明会 1回、建設検討 委員会3回。 参加者数 200人	検討委員会4回地元住民との意 交換会3回予定 参加者数 200人予定	可、 意見 住 E。 見	会討委員会 注民協議会 見交換会 2 参加者数	会4回 会との意 ! 回						
- 年度別明細 事業・ 業務量 まちづくり 指標 行政指標 協働指標	H12年度 0	H13年度 検討委員会準備 委員会2回、 近隣住民説明会 1回、建設検討 委員会3回。 参加者数 200人	検討委員会4回地元住民との意 交換会3回予定 参加者数 200人予定	可、 検急 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付	会討委員会 注民協議会 見交換会 2 参加者数	会4回 会との意 ! 回 牧						
年度別明細 事業・業務量 まちづくけ 指標で放指標協働指標 予算額(千円) 決算額(千円) 執行率(%)	H12年度 0 0 0 0	H13年度 検討委員会準備 委員会2回、 近隣住民説明会 1回、建設検討 委員会3回。 参加者数 200人	検討委員会4回 地元住民との意 交換会3回予定 参加者数 200人予定	可、 枝色 住民	会討委員会 注民協議会 記交換会 2 参加者数 約150人	会4回 会との意 P回 数 、						
年度別明細 事業・業務量 まちづくけ 指標で放指標協働指標 予算額(千円) 決算額(千円) 執行率(%)	H12年度 0 0 0	H13年度 検討委員会準備 委員会2回、 近隣住民説明会 1回、建設検討 委員会3回。 参加者数 200人	検討委員会4回地元住民との意交換会3回予定参加者数200人予定	可、 検急 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付	会討委員会 注民協議会 見交換会 2 参加者数	会4回 会との意 ! 回 数 、	1月	2月	3月			
年度別明細 事業・業務量 まちづくけ 指標で放指標協働指標 予算額(千円) 決算額(千円) 執行率(%)	H12年度 0 0 0 0 ジュール 5月 6月	H13年度 検討委員会準備 委員会2回、 近隣住民説明会 1回、建設検討 委員会3回。 参加者数 200人	検討委員会4回地元住民との意交換会3回予定参加者数200人予定 9月書の 提出	可、 枝色 住民	会計委員会 注民協議会 2 を加力 5 0 人 が 1 5 0 人	会4回 会との意 ! 回 数 、 0 0 0	1月 		3月			

変更計画の説明(事後評価時) 提案書の各項目の検討に時間を要したほか、現市長の引退表明があり、事業の継続は、新市長の確認を得てから行うこととなった。このため、分離施設の設計素案の作成に替えて、提案に対する技術的な問題点・課題に関する見解を作成して住民協議会に送付し、当該見解をもとに2月に2回意見交換を行った。

 事業
 401
 事業名
 井の頭コミュニティ・センター分離施設の整備
 重点管理

 ± √ /	画対象事業名 井の頭コミュニティ·センター分離施設の整備 部課係名 生活環境部 コミュニティ文化室
PT I	<u> </u>
	工旨 本事後計画 進捗状況評価(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) 2
	理由・住民協議会の提案の各項目に対する検討に時間を要したほか、現市長の引退表明に伴い設計の素案作成を見送ることとなったが、これ
	に替えて提案に対する技術的な面での見解を作成し、この見解をもとに住民協議会と具体的な意見交換が2回行うことができた。
	成果に対する評価(大・中・ 小又はなし)
	理由・まちづくり指標として掲げた目標参加者数200人に対して、地元住民との意見交換会が開催できなかったため、成果は、約150人前後(75%)に留まった。
	効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 2
事	理由・分離施設の設計素案は作成できなかったが、代替措置として技術的な見解を作成し、市民との効率的な意見交換ができた。
₹	
後	総合評価・施設内容に関し地元との基本的な合意形成ができ、基本設計・実施設計に向けた準備はできたが、平成15年度に事業を継続する場合。 カイススにジュール (15年3月か) の のか 日間 (対策) (対策)
	合、タイムスケジュール(15年7月からの9か月間)が厳し〈なる。 東米東学皇本へ東後近保
評	事業事前審査会事後評価
	進捗状況評価(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない)
価	佐田
	成果に対する評価(大・中・小又はなし)
	理由:
	効率性・経済性に対する評価(高・中・低)
	理由·
	総合評価新市長の方針を踏まえ、計画的な取り組みが必要と思われる。
Н	

 事業
 402
 事業名
 三鷹駅前コミュニティ・センターの拡充
 重点管理

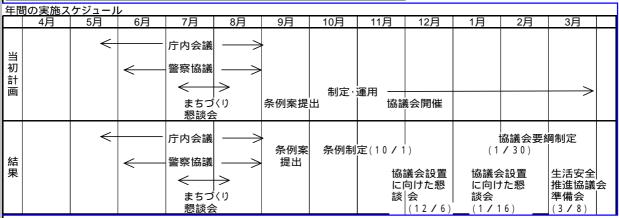
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·										
(事業コード)	104400	/☆ / /÷田 ¬	404							
		(部課コード)	401							
評価対象事業名	三鷹駅前コミュニティ・センターの拡充 	部課係名	生活環境部コミュニティ文化室							
基本計画の掲載	☑ あり 226ページ掲載	記入者名	荒木俊博 内2515							
計画体系	第8部第1·2-(1)- 8100211	歳出科目	一般会計 款:2総務費 項:1総務管理費							
計画事業名	井の頭コミュニティ・センター分離施設の整備、	(款·項·目·事項)	目:12コミュニティ育成費 事項:11三鷹駅							
	三鷹駅前コミュニティ・センターの拡充		前コミュニティ・センター調理室等新設事業費							
計画体系	第 部第 ・ -()-	補助区分	□ 国補助 □ 都補助 □ 市単独							
計画事業名		関連計画	なし							
計画体系	第 部第 ・ -()-	関係法規	三鷹市コミュニティ・センター条例							
事業の目的										
4 NK NK NK	- AF-13 0701- 17-0	事する実質職員	数 0.5 人							
今年度の事業·業務 住民協議会と事	务量の説明 『業計画を協議した後、設計・工事・運営を行う。									
施設利用者、団体教	今年度のまちづくり指標の説明施設利用者、団体数の増加、高齢者給食サービスの拡充を協働指標とする。									
7 124 1 2 411 411	ピ度」を評価するため別途調査等を行う必要があるまち 取り組み成果・参考実績値	づくり指標	施設利用者、登録自主グループ等の増加数							

事業402事業名三鷹駅前コミュニティ・センターの拡充重点管理

評価対象事業名 三鷹財前 32 1 2 7 7 (センターの拡充 開課機名 生活環境部 32 1 2 7 7 (化室 年度別明知 日12年度 日13年度 日13年度 日14年度連前 東京づり 一部設計工事 運営 1 割別 1 割		(業コード)						40110	2 (部課=	コード)					401
事業 事業 振設利用者数 振設利用者数 振設利用者数 振設利用者 数 振設利用者 数 86.506人 76.785 76.7	評														
事業		年度別明:	紐	H 1.	2年度	H13年	-		争削			-			
業務量 運営 は制限付一般競争人 大・東・ の で		車業,													
# 左 5 (1) 施設利用者数 (2) (3) (3) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4															
# まちづ(0		水 加重						~1							
指導 88.506人										·					
行政指標 登録自主 登録自主 7 ルーブ数 7 ルーブを発足させた。 7 の 加充 7 の 加元							用者数								
「別が指揮 20									、団体			` 			
42団体 20団体 20団体 20拡充 76,785 76,785 76,785 76,785 76,785 76,785 70,40% 34,776 34,076									+-レ			*			
子質額 〒円)		加州北					žΧ		<i>,</i> – L	ループを発	足させた。				
決算額(円)			'-'	→ 17.	•			7(0)3/2/0							
執行率(%)					0		0		76,785		76,785	5			
#薬協議												— I			
要実計画の説明(事後評価時) 住民協議会内部で料理講習室の検討プロジェクトチームを結成し、設計内容について時間をかけて市と協議した。工事は、制限付一般競争入札の手続きにより行ったため、契約時期及び工期が遅れた。 主管課事後評価 進捗状況評価(計画とおり、計画とよは昨年会む・ ほぼ計画とおり・計画とおり進んでいない) 理由・工事の契約に当たり、制限付一般競争入札により手続きを行ったため、契約時期、工期が当初計画より遅れ、運営開始日が平成15年3月16日となった。 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・仕事の即で料理講習室施設内容を検討するコジェクトチーム会議が4回開催され。多くの提案が市の設計に反映された結果、市民満足度の高い施設となった。料理講習室新設を機に住協内で高齢者給食グループ(そよ風散)が発足した。 東田・予定価格を公開し、制限付一般競争入札の手続きにより契約したため、工事の契約金額は、予算額の約70%となった。総合評価・運営開始が年度末となったため、施設利用者・団体数は増加しなかったが、市民参加による設計実施や新たな高齢者給食グループの発足など、市民満足度の向上及び市民活動の活性化に大きく寄与した。 事業事前審査会事後評価 進歩状況評価(計画とおり、計画とおり、計画とおり、計画とおり進んでいない) 理由・ 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・ 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・ の本性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・ の本性・経済性に対する評価(高・中・低)	ш							1 00	40.	I 44 🗆		_		٥П	
要主計画の説明(事後評価時)住民協議会内部で料理講習室の検討プロジェクトチームを結成し、設計内容について時間をかけて市と協議した。工事は、制限付一般競争入札の手続きにより行ったため、契約時期及び工期が遅れた。 主管課事後評価 進汐状況評価(計画とおり・計画とは砂を含む・ほぼ計画とおり・計画とおり違んでいない) 理由・工事の契約に当たり、制限付一般競争入札により手続きを行ったため、契約時期、工期が当初計画より遅れ、運営開始日が平成15年3月16日となった。 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・任協内部で料理講習室が設を機に仕協内で高齢者給食グループ(そよ風散)が発足した。 効率性経済性に対する評価(高・中・低) 理由・予定価格を公開し、制限付一般競争入札の手続きにより契約したため、工事の契約金額は、予算額の約70%となった。総合評価・運営開始が年度末となったため、施設利用者・団体数は増加しなかったが、市民参加による設計実施や新たな高齢者給食グループ の形足など、市民満足度の向したび市民活動の活性化に大きく寄与した。 事業事前審査会事後評価 進汐状況評価(計画とおり・計画とおり・計画とおり・計画とおり連んでいない) 理由・成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・効率性・経済性に対する評価(高・中・低)	⊢		5月		6月	/月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
語		事 :	業協議			•									
計画	当如]	ACH 0.01			\leftarrow		 	\longleftrightarrow	$\Rightarrow \longleftarrow$	\longrightarrow				
画 運営	19J <u></u> 1∀]						設計		契約	I	事	_			
接信果 事業 協議 契約 工事 (3/16) 運営開始 変更計画の説明(事後評価時) 住民協議会内部で料理講習室の検討プロジェクトチームを結成し、設計内容について時間をかけて市と協議した。工事は、制限付一般競争入札の手続きにより行ったため、契約時期及び工期が遅れた。 主管課事後評価 進捗状況評価(計画どおりよ計画以上進形を合む)・ほぼ計画とおり、計画どおり進んでいない) 2 理由・工事の契約に当たり、制限付一般競争入札により手続きを行ったため、契約時期・工期が当初計画より遅れ、運営開始日が平成15年3月16日となった。 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・住協内部で料理講習室の施設内容を検討するプロジェクトチーム会議が4回開催され、多くの提案が市の設計に反映された結果、市民満足度の高い施設となった、料理調置室が設を機に住協内で高齢者給食グループ(そよ風散)が発足した。 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・予定価格を公開し、制御付一般競争入札の手続きにより契約したため、工事の契約金額は、予算額の約70%となった。 が発足など、市民満足度の向上及び市民活動の活性化に大きく寄与した。 事業事前審査会事後評価 進捗状況評価(計画とおりよ計画以上進形を含む・ほぼ試計画とおり・計画とおり進んでいない) 理由・ 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低)) TO 214		
を更計画の説明(事後評価時) 住民協議会内部で料理講習室の検討プロジェクトチームを結成し、設計内容について時間をかけて市と協議した。工事は、制限付一般競争入札の手続きにより行ったため、契約時期及び工期が遅れた。 主管課事後評価 進捗状況評価(計画とおり、計画以上進捗を含む)・ ほぼ計画とおり・ 計画とおり進んでいない) 理由・工事の契約に当たり、制限付一般競争入札により手続きを行ったため、契約時期・工期が当初計画より遅れ、運営開始日が平成15年3月16日となった。 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・住協内部で料理講習室の施設内容を検討するプロジェクトチーム会議が4回開催され。多くの提案が市の設計に反映された結果、市民満足度の高い施設となった。料理講習室新設を機に住協内で高齢者給食グルーブ(そよ風散)が発足した。 如率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・予定価格を公開し、制限付一般競争入札の手続きにより契約したため、工事の契約金額は、予算額の約70%となった。 総合評価・運営開始が年度末となったため、施設利用者・団体数は増加しなかったが、市民参加による設計実施や新たな高齢者給食グループの発足など、市民満足度の向上及び市民活動の活性化に大きく寄与した。 事業事前審査会事後評価 進捗状況評価(計画とおり・計画とおり・計画とおり進んでいない) 理由・ 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低)													連呂		
を更計画の説明(事後評価時) 住民協議会内部で料理講習室の検討プロジェクトチームを結成し、設計内容について時間をかけて市と協議した。工事は、制限付一般競争入札の手続きにより行ったため、契約時期及び工期が遅れた。 主管課事後評価 進捗状況評価(計画とおり、計画以上進捗を含む)・ ほぼ計画とおり・ 計画とおり進んでいない) 理由・工事の契約に当たり、制限付一般競争入札により手続きを行ったため、契約時期・工期が当初計画より遅れ、運営開始日が平成15年3月16日となった。 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・住協内部で料理講習室の施設内容を検討するプロジェクトチーム会議が4回開催され。多くの提案が市の設計に反映された結果、市民満足度の高い施設となった。料理講習室新設を機に住協内で高齢者給食グルーブ(そよ風散)が発足した。 如率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・予定価格を公開し、制限付一般競争入札の手続きにより契約したため、工事の契約金額は、予算額の約70%となった。 総合評価・運営開始が年度末となったため、施設利用者・団体数は増加しなかったが、市民参加による設計実施や新たな高齢者給食グループの発足など、市民満足度の向上及び市民活動の活性化に大きく寄与した。 事業事前審査会事後評価 進捗状況評価(計画とおり・計画とおり・計画とおり進んでいない) 理由・ 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低)	Н														
短野計画の説明(事後評価時) 住民協議会内部で料理講習室の検討プロジェクトチームを結成し、設計内容について時間をかけて市と協議した。工事は、制限付一般競争入札の手続きにより行ったため、契約時期及び工期が遅れた。 主管課事後評価		\vdash						+>							
変更計画の説明(事後評価時)住民協議会内部で料理講習室の検討プロジェクトチームを結成し、設計内容について時間をかけて市と協議した。工事は、制限付一般競争入札の手続きにより行ったため、契約時期及び工期が遅れた。 主管課事後評価	結		事	業	協議	\leftarrow		>	•	√ ×			\longrightarrow		
変更計画の説明(事後評価時) 住民協議会内部で料理講習室の検討プロジェクトチームを結成し、設計内容について時間をかけて市と協議した。工事は、制限付一般競争入札の手続きにより行ったため、契約時期及び工期が遅れた。 主管課事後評価	果						設計	t		契約		工事		(2/40)	→
変更計画の説明(事後評価時)住民協議会内部で料理講習室の検討プロジェクトチームを結成し、設計内容について時間をかけて市と協議した。工事は、制限付一般競争入札の手続きにより行ったため、契約時期及び工期が遅れた。 主管課事後評価 進捗状況評価(計画どおり、計画以上進捗を含む・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない) 理由・工事の契約に当たり、制限付一般競争入札により手続きを行ったため、契約時期・工期が当初計画より遅れ、運営開始日が平成15年3月16日となった。 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・住協内部で料理講習室の施設内容を検討するプロジェクトチーム会議が4回開催され、多くの提案が市の設計に反映された結果、市民満足度の高い施設となった。料理講習室新設を機に住協内で高齢者給食グループ(そよ風散)が発足した。 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・予定価格を公開し、制限付一般競争入札の手続きにより契約したため、工事の契約金額は、予算額の約70%となった。 総合評価・運営開始が年度末となったため、施設利用者・団体数は増加しなかったが、市民参加による設計実施や新たな高齢者給食グループの発足など、市民満足度の向上及び市民活動の活性化に大きく寄与した。 事業事前審査会事後評価 進捗状況評価(計画どおり、計画以上進捗を含む)・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない) 理由・ 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低)															まから
市と協議した。工事は、制限付一般競争入札の手続きにより行ったため、契約時期及び工期が遅れた。 主管課事後評価 進捗状況評価(計画どおり、計画以上進捗を含む)・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない) 理由・工事の契約に当たり、制限付一般競争入札により手続きを行ったため、契約時期・工期が当初計画より遅れ、運営開始日が平成15年3月16日となった。 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・住協内部で料理講習室の施設内容を検討するプロジェクトチーム会議が4回開催され、多くの提案が市の設計に反映された結果、市民満足度の高い施設となった。料理講習室新設を機に住協内で高齢者給食グループ(そよ風散)が発足した。 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・予定価格を公開し、制限付一般競争入札の手続きにより契約したため、工事の契約金額は、予算額の約70%となった。 総合評価・運営開始が年度末となったため、施設利用者・団体数は増加しなかったが、市民参加による設計実施や新たな高齢者給食グループの発足など、市民満足度の向上及び市民活動の活性化に大きく寄与した。 事業事前審査会事後評価 進捗状況評価(計画どおり、計画とおり、計画とおり進んでいない) 理由・ 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・ 対率性・経済性に対する評価(高・中・低)														Æ D I/	חענ
市と協議した。工事は、制限付一般競争入札の手続きにより行ったため、契約時期及び工期が遅れた。 主管課事後評価 進捗状況評価(計画どおり、計画以上進捗を含む)・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない) 理由・工事の契約に当たり、制限付一般競争入札により手続きを行ったため、契約時期・工期が当初計画より遅れ、運営開始日が平成15年3月16日となった。 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・住協内部で料理講習室の施設内容を検討するプロジェクトチーム会議が4回開催され、多くの提案が市の設計に反映された結果、市民満足度の高い施設となった。料理講習室新設を機に住協内で高齢者給食グループ(そよ風散)が発足した。 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・予定価格を公開し、制限付一般競争入札の手続きにより契約したため、工事の契約金額は、予算額の約70%となった。 総合評価・運営開始が年度末となったため、施設利用者・団体数は増加しなかったが、市民参加による設計実施や新たな高齢者給食グループの発足など、市民満足度の向上及び市民活動の活性化に大きく寄与した。 事業事前審査会事後評価 進捗状況評価(計画どおり、計画とおり、計画とおり進んでいない) 理由・ 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・ 対率性・経済性に対する評価(高・中・低)	亦	重計画の試	明(車:	後 旬	2.(無時) (社	足位議合』	力竌で半	は理禁型会の	ね≒けプロ	1ジェクトエ・	一人を結成	. 凯井は	変についる	て時間をか	1+7
主管課事後評価 進捗状況評価(計画とおり-計画以上進捗を含む)・ほぼ計画とおり・計画とおり進んでいない) 理由・工事の契約に当たり、制限付一般競争入札により手続きを行ったため、契約時期・工期が当初計画より遅れ、運営開始日が平成15年3月16日となった。 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・住協内部で料理講習室の施設内容を検討するプロジェクトチーム会議が4回開催され、多くの提案が市の設計に反映された結果、市民満足度の高い施設となった。料理講習室新設を機に住協内で高齢者給食グルーブ(そよ風散)が発足した。 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・予定価格を公開し、制限付一般競争入札の手続きにより契約したため、工事の契約金額は、予算額の約70%となった。 総合評価・運営開始が年度末となったため、施設利用者・団体数は増加しなかったが、市民参加による設計実施や新たな高齢者給食グループの発足など、市民満足度の向上及び市民活動の活性化に大きく寄与した。 事業事前審査会事後評価 進捗状況評価(計画とおり、計画以上進捗を含む)・ほぼ計画とおり・計画とおり進んでいない) 理由・ 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・ 如率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・ 如率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・	市。	と協議した。	工事に	交 I 	刮限付一般	は勝ちては、現代は、現代は、現代は、現代は、現代は、現代は、現代は、現代は、現代は、現代	の手続	きにより行っ	たため、	シェフーフ 契約時期及	び工期が退	された。	3 to 2 v i v		1, C
進捗状況評価(計画どおり、計画以上進捗を含む)・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) 理由・工事の契約に当たり、制限付一般競争入札により手続きを行ったため、契約時期・工期が当初計画より遅れ、運営開始日が平成15年3月16日となった。 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・住協内部で料理講習室の施設内容を検討するプロジェクトチーム会議が4回開催され、多くの提案が市の設計に反映された結果、市民満足度の高い施設となった。料理講習室新設を機に住協内で高齢者給食グループ(そよ風散)が発足した。 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	⊢														
理由・工事の契約に当たり、制限付一般競争入札により手続きを行ったため、契約時期・工期が当初計画より遅れ、運営開始日が平成15年3月16日となった。 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・住協内部で料理講習室の施設内容を検討するプロジェクトチーム会議が4回開催され、多くの提案が市の設計に反映された結果、市民満足度の高い施設となった。料理講習室新設を機に住協内で高齢者給食グループ(そよ風散)が発足した。 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・予定価格を公開し、制限付一般競争入札の手続きにより契約したため、工事の契約金額は、予算額の約70%となった。 総合評価・運営開始が年度末となったため、施設利用者・団体数は増加しなかったが、市民参加による設計実施や新たな高齢者給食グループの発足など、市民満足度の向上及び市民活動の活性化に大きく寄与した。 事業事前審査会事後評価 進捗状況評価(計画どおり、計画以上進捗を含む)・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない) 理由・ 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低)					計画どおり~	計画以上進捗を	を含む> '	ほぼ計画どお	り・ 計画	どおり進んて	ごいない)		2		
成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・住協内部で料理講習室の施設内容を検討するプロジェクトチーム会議が4回開催され、多くの提案が市の設計に反映された結果、市民満足度の高い施設となった。料理講習室新設を機に住協内で高齢者給食グループ(そよ風散)が発足した。 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・予定価格を公開し、制限付一般競争入札の手続きにより契約したため、工事の契約金額は、予算額の約70%となった。 総合評価・運営開始が年度末となったため、施設利用者・団体数は増加しなかったが、市民参加による設計実施や新たな高齢者給食グループの発足など、市民満足度の向上及び市民活動の活性化に大き〈寄与した。 事業事前審査会事後評価 進捗状況評価(計画どおり、計画以上進捗を含む〉・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない) 理由・ 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・		理由·工事(の契約に									iより遅れ、	運営開始日	が平成15年	F3月
理由・住協内部で料理講習室の施設内容を検討するプロジェクトチーム会議が4回開催され、多くの提案が市の設計に反映された結果、市民満足度の高い施設となった。料理講習室新設を機に住協内で高齢者給食グルーブ(そよ風散)が発足した。 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・予定価格を公開し、制限付一般競争入札の手続きにより契約したため、工事の契約金額は、予算額の約70%となった。 総合評価・運営開始が年度末となったため、施設利用者・団体数は増加しなかったが、市民参加による設計実施や新たな高齢者給食グループの発足など、市民満足度の向上及び市民活動の活性化に大き〈寄与した。 事業事前審査会事後評価 進捗状況評価(計画どおり、計画以上進捗を含む)・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない) 四 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・ 対率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・															
足度の高い施設となった。料理講習室新設を機に住協内で高齢者給食グループ(そよ風散)が発足した。 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・予定価格を公開し、制限付一般競争入札の手続きにより契約したため、工事の契約金額は、予算額の約70%となった。 後 総合評価・運営開始が年度末となったため、施設利用者・団体数は増加しなかったが、市民参加による設計実施や新たな高齢者給食グループの発足など、市民満足度の向上及び市民活動の活性化に大き〈寄与した。 事業事前審査会事後評価 進捗状況評価(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない) 理由・ 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・ 対率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・								プロンジェカレイ	/ 合業が	4 回 間 / 出 ナ セ	タ/の担宏	₩±∞≛л≐	1	* ## *	- :=
対率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・予定価格を公開し、制限付一般競争入札の手続きにより契約したため、工事の契約金額は、予算額の約70%となった。 総合評価・運営開始が年度末となったため、施設利用者・団体数は増加しなかったが、市民参加による設計実施や新たな高齢者給食グループの発足など、市民満足度の向上及び市民活動の活性化に大き〈寄与した。 事業事前審査会事後評価 進捗状況評価(計画どおり〈計画以上進捗を含む〉・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない) 理由・ 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・ 対率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・												小中の試	↑に反映され	に結果、巾	大
事 理由・予定価格を公開し、制限付一般競争入札の手続きにより契約したため、工事の契約金額は、予算額の約70%となった。 総合評価・運営開始が年度末となったため、施設利用者・団体数は増加しなかったが、市民参加による設計実施や新たな高齢者給食グループの発足など、市民満足度の向上及び市民活動の活性化に大き〈寄与した。 事業事前審査会事後評価 進捗状況評価(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) 理由・ 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・								13 11-341 4 11-14		(201,201,300)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		1		
後 総合評価・運営開始が年度末となったため、施設利用者・団体数は増加しなかったが、市民参加による設計実施や新たな高齢者給食グループの発足など、市民満足度の向上及び市民活動の活性化に大き〈寄与した。 事業事前審査会事後評価								きにより契約し	たため、ユ	事の契約金	注額は、予算額	頃の約709	6となった。		
後 の発足など、市民満足度の向上及び市民活動の活性化に大きく寄与した。 事業事前審査会事後評価 進捗状況評価(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) 理由・ 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・	₹	₩ ^ + = /=	, TP 244 D.C	- /	佐藤士 1.25		n	* m&****	*	+ +% 	1 4 1 1 1 - 1 - 1	n + 1 	***	ャルヘビい	_
	後									ったが、市民	参加による記	計実施や	新たな高齢	者給食グル	ーフ
	١					O 10 LC/D 3/.	102/11 11 1		072.						
(本) 理由・ 成果に対する評価(大・中・小又はなし) フリンカー・ 理由・ ・ (本) 対率性・経済性に対する評価(高・中・低) フリンカー・ 理由・ ・ (本)	評					計画以上進捗を	を含む> '	ほぼ計画どお	り・ 計画	どおり進んて	ごいない)				
成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・	柵										- ,				
理由・	""														
対率性・経済性に対する評価 (高・中・低) 理由・			対する計	半仙	(大・中	・・ 小又は	なし)								
理由		连田'													
理由		効率性	·経済性	に対	対する評価(高・中	· 低)								
総合評価 施設整備後の市民の意見・満足度等の把握を行うことが望ましい。							,								
総合評価 施設整備後の中氏の息見・満足度寺の把握を行つことが望ましい。 		W A += /=		/ -+⊓	あは少っ	+005	=	中でであって	+						
		総合評価	ħ	地設	登禰俊の	中氏の息	克' 酒足	及寺の把握 を	を打りこと	.か望まし	I _o				

		401103	(部課コード)				40
	生活安全条例の制定		部課係名	生活環境部	コ	ミュニティ文化	´ 室
	☑ あり なし	123ページ掲載	記入者名		荒木俊	専 内2	2515
	第3部第3・5-()-	3300500	歳出科目	一般会計	款:2総務費	項:1総務管理費	貴
	防犯対策の推進		(款・項・目・事項)	目:12コミュニテ	イ育成費 事項	頁:12生活安全	
			1	条例制定準備関係	系費		
画体系	第 部第 ・ -()-		補助区分	□国補助	□都補助	₩ 市単独	
業名			関連計画				
画体系	第 部第 ・ -()-		関係法規				
(対象) 全ての市民、 (意図) 市民と行政と 事業の概要・期間	○ (何を、誰を対象に) 意図(対 事業者、関係団体が協働して犯罪を防止し、安全○ 単年度一体となって地域社会の安全を	≧で住みよいま	ちづくりの実現 度 (始期:		~ 終期:		14年度)
I I I I I I I I I I I I I I I I I I I			事する実質職員	*h	1	.0 人	
今年度の事業・業 庁内調整、警 安全推進協議会	務量の説明 察との調整後、各住区でまちつ	_					
今年度のまちづく		達協議会への	参加者数を協働	動指標とする。			
	と度」を評価するため別途調査等を行	う必要があるまち	づくり指標	市内の犯罪発生	牛数の推移		
東京都では、	取り組み成果・参考実績値 目黒区、渋谷区、品川区、豊島 体的な成果については、未検記		板橋区、調布市	っで制定されてい	ハるが、施行7	から	

_				
年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
事業・ 業務量			庁内調整 警察協議 まちづくり懇談会 7回、生活安全推進 協議会1回開催	庁内会議3回、警察協議随時。まち 察協議随時。まち づくり懇談会7回。 生活安全推進協議 会準備会1回
まちづくり 指標 行政指標 協働指標			まちづくり懇談会 等への参加者数 250人予定 条例の制定	まちづくり懇談会 参加者数251人。 平成14年10月 1日条例制定。
予算額(千円)	0	0	273	273
決算額(千円)	0	0		80
執行率(%)	0	0		29.30%



変更計画の説明(事後評価時) 生活安全推進協議会のメンバー構成、運営方法等については、懇談会形式の市民参加により時間をか けて議論・検討したため、予定していた年内中の協議会の正式設置には至らず、これにかわり平成15年3月に準備会を開催した。 事業 事業名 403 生活安全条例の制定 重点管理

/重	(業コード)		401103 (部課コード)			401
	·朱□ ̄\// 而対象事業名	生活安全条例の制定	部課係名	生活環境部	コミュニティ文化室	401
ніі	主管課事後評任			エバロスペッルロド	コペューン・人口を	
		- [(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほほ	:計画どおり・ 計画どおり進 <i>A</i>	でいない)	2	
		定どおり制定した。生活安全推進協議会に			、新年度(5月目途)に正式設置の予え	i Eと
	なった。					
		評価(大・ 中・ 小又はなし)			1	- 1
		月から8月にかけ、市内7つのコミュニティ			参加を得た。懇談会では活発な意見す	₹換が
		案を条例に反映させることができた。また	、条例を当初計画どおり10月	1日に施行した。		- 1
		性に対する評価(高・ 中・ 低)		* F # 11 1831 * 11 1 1	2	_
事		関しては、まちづくり懇談会が当初計画ど 懇談会・準備会の開催にとどまった。	おりに開催され、市民の提案・	意見集約が効率的に行	われたが、生活安全推進協議会に関	^Σ
		念談会・卒備会の開催にことようた。 ついては、市民参加を得ながら当初計画。	ビゼロ生 ウオスニレができたが	ナ 子 字 今 の 世 准 口 休 !	たる物学会については 50.mmが遅れ	π#
後		ラいては、市氏多加を侍なからヨ初計画に 動開始が平成15年度の課題となっている		、主治女主の推進写体の	こなる励議会については、改直が遅れ、	正式
	事業事前審查会		5 0			\dashv
評		[(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほほ	*計画どおり・ 計画どおり進ん	(でいない)		- 1
/==	理由・	d the contract of the contract	and co, and co,			- 1
価						- 1
	成果に対する	評価(大・ 中・ 小又はなし)				- 1
	理由·					- 1
						- 1
	7 10 1 1- 11-11	性に対する評価(高・ 中・ 低)				- 1
	理由·					- 1
	₩ ◇ ≒=/=	へ後 夕周の宝並供た か 但ままため	サバウへ切送への 翌日	定点が手曲に出たれ	7	- 1
	総合評価	今後、条例の実効性を確保するため	、生活女主協議会の発足	'連呂か里安と思われ	Jo.	- 1
_	<u> </u>					

(事業コード)		402104	(部課コード)		402
評価対象事業名	「環境基本計画」の推進(「地球計画」の推進)	^找 温暖化対策実行	部課係名	生活環境部 環	 環境対策課 (局・室)
基本計画の掲載	あり □ なし	143ページ掲載	記入者名	箕輪 泰	内2523
計画体系	第4部第1・1-(1)-	4110111	歳出科目	一般会計 款:4.衛生費	項:1.保健衛生費 目:
計画事業名	「環境基本計画」の策定	-	(款・項・目・事項)	5.公害対策費 事項:	4.環境基本計画関係費
計画体系	第4部第1・1-(2)-	4110121	補助区分	□ 国補助 □ 都	都補助 🔽 市単独
計画事業名	「地球温暖化対策実行計画」	の策定	関連計画	環境基本計画・地球	· 温暖化対策実行計画
計画体系	第4部第 1・5-(2)-	4110521	関係法規	環境基本法	
計画事業名	ISO14001の取得		1	地球温暖化対策の推	進に関する法律
	・(何を、誰を対象に) 意図(対象を	どういう状態にした	いのか)>		
(対象)					
	NPO及び行政(市)				
(意図)	さ理培倹である「活理・廿廾)	・物働のまた コ	はたか、の宝珥	レ理培促令の批准に	向けて 市民 東娄老

「環境基本計画」の推進 (「地球温暖化対策実行計画」の推進)

重点管理

三鷹市が目指す環境像である「循環・共生・協働のまち みたか」の実現と環境保全の推進に向けて、市民、事業者、

平成22年度) 事業の概要・期間 の調査を実施する。

当該事務に従事する実質職員数 2.0 人

今年度の事業・業務量の説明

事業

広報掲載(4月、6月~8月) 本冊及び概要版の配付(4月~) 庁内推進体制の確立(7月~) 環境保全審議 会への報告(3月)遂行状況の公表(毎年6月) ISO14001に関する調査(6月~3月) 今年度のまちづくり指標の説明

温室効果ガス(二酸化炭素)の削減目標。

事業名

404

| 今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標 |他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値

ISO14001を取得している市

武蔵野市(H12.3.28) 調布市(H12.7.13) 羽村市(H12.8,24)

事業 404 事業名 「環境基本計画」の推進(「地球温暖化対策実行計画」の推進) 重点管理

事	業コード)					40210	4 (部課コ	- F)					402
	西対象事業		環境基本計 「」の推進	画」の推進()	「地球温明			,	生活環境	部 環場	竟対策課	(局・室)	
年	度別明細	H12 [£]		H13年/			度事前		H14年度達	達成	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
*	業·		,	「環境基本 の策定	計画」「点	報掲載、3 「の配付と)	環境基本語 第40		掲載、環境				
	亲 務量		(の東正 「地球温暖(引付と周知、 制の整備、				
			3	実行計画」()1の調査を写				
+ 1					E	室効果ガ	7 (一般(と 温室	効果ガスの	排出量			
指					炭	素)の排品	出量を、 ^I	<u>F</u>	12年度				
	行政指標 協働指標					12年度を 3年までに、			13年度	38,632 t 12.3%増			
	加倒竹竹					サまでに、 iする。	10.7 %0 F	39	12牛皮儿	12.3704日			
平	算額 (千円)				2,740		1,0	70		1,070			
決	算額(千円)				2,162		-,-			929			
幸	丸行率(%)				78.9					86.80%			
年間	間の実施ス 1			70	٥٥		40 🗆	1440	400	40		٥٠	
	4月 広報掲載	5月 :	6月	7 <u>月</u> 載 広報掲載	8月 広報掲載	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 審議会へ	
l	本冊、概		7		7-1123-3-7	1						の報告	
当初	要版の印刷と配付												
計				庁内指	」 生進体制の)確立							
画				-		-	I S O 1	100	1の部本				
			•				1301	400	一切調査			-	
	広報掲載		広報掲	載 広報掲載	広報掲載	広報掲載	広報掲載	広報掲	載		広報掲載	広報掲載	
	本冊、概要版の印											審議会への報告	
結	刷と配付												
果							I S O 1	400	1の調本		庁内推進	体制の確立	Z
			•				1301	400					
	皀計画の訂 √た。	明 環境	基本計画	の周知方法	の一つと	して、広報る	りたかにシ	リーズ	環境と私たち	5の暮らし」	を14年度	中に13回	掲
+**													
	主管課事		計画どお	り<計画以上進捗を	tota IT	げ計画どお	11. 計画と	おり往ん	でいかい		1		
									・CVIIGVI) 制の確立、IS(O 1 4 0 0 1 の		市に調査	
				に参加7/19· 中・ 小又は		施した。					2		
						証取得による	ら長所と短角	fが分か:	った。温室効果	 !ガスの排出	_	12年度	
	. –	%増となっ		. <u> </u>	<i>i</i>								
				탭(高・ 中 より、次の長角	10.0 /	1.る. 職員	の意識改革	を の 保 谁 な	効果(研修な		2		
	ど) 業務	の効率化(内部監査な	(ど) 環境コ	ストの削減	効果(リサイク	7ルなど)	組織とし	ての環境保全	に対する責		購入など)	
事				専任の職員を配 7得によけ = 6					した事業所」と	ての評価が	が得られると	同時に	
後	住民や地域	成企業に対す	する波及対						こ基づき16年/			1-14/1/5/	
±		審査会事		り<計画以上進捗を		ᅜᅼᆖᅜᅕ	11. 計画に	されに住ん	ブリナンリン				
評	理由・								ていない) これたが、全	 ∓度末にな	つている。		
価	-* m	1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	. ,		4-1.								
	成果に 理由・	対する評価	I(大·	中・ 小又は	なし)								
	効率性 理由・	・経済性に	対する評価	画(高・中	· 低)								
	œ비												
	総合評価								、を12年度比 「計画」の目標				
		続き	r 反天想(地球温明	このには迷に 爰の調査結り	12.3%増(- ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙	ヶ畑吸孔X [)について	コヌ夫行 市民に	「計画」の日代 分かりやすく	_{示天} 况に訴 知らせると	返りがなされ ともに、目	標を達成す	ける
				等をより明ら									

事業	405	事業名	公共施設の省エネルギー対策の推進	重点管理
----	-----	-----	------------------	------

(事業コード)						(部課コード	²)					402
評価対象事業	業名 │ ²	\共施設(の省エネル	ギー対策	の推進	部課係名		生活環境	部 環境	竟対策課(局・室)	
基本計画の技	曷載	▼ あり	7	なし	144ページ掲載	記入者名		箕輪			<u> </u>	3
計画体系	穿	_	• 5 - (1)-			歳出科目		一般会計 款:	4. 衛生費	項:1.保健	衛生費 目:	
計画事業名	4	、共施設(の省エネル	 ギー対策	の推進] (款·項·目·事	項)	5.公害対策費	事項:6.省コ	ニネルギーダ	対策関係費	
計画体系			· -()-			補助区分		☑ 国補助	□都	補助 🔲	市単独	
計画事業名			,			関連計画		三鷹市省エオ	ヘルギーヒ	ジョン		
計画体系	爭	部第	· -()-			関係法規		民間資金等の)活用によ	る公共施	設等の整備	備
計画事業名	i.				1			等の促進に関				
事業の目的<	対象(1	可を、誰を対	対象に) 意	図(対象を	どういう状態にした	こいのか)>						
(対象)	1 / #6 75	L. S	++ /#- ->- /	V	** *** ***	±÷7.⊤-1/	, AN TOO	118 /				
公共施設 (意図)	() 教育	センター	、芸術又1	とセンタ-	-、第一処理場	、果部卜水	処埋	!场)				
	34ヶ所	の省エネ	ルギー診り	折の結果を	きもとに、コン	サルによる	VF	M等の調査約	ま果を受け	tて、PF	Tの手法	ı
よる省エ	ネルギ	ー事業を			ランニングコ							
くりを推)						T + 10 + 5		.a -		- \
事業の概要・		σ/\\ - -		単年度				平成13年度				
公共施設 による4	マ4ヶ所 ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゙゚゙゙゙゙゙゚゚゚゚゚゙゚゚゙゚゚	の自エネ ギー対策	ルキー診り 事業を行る	近の結果で う施設をご	をもとに、コン 央定し、次年度	ザルによる 以降に改修	・VF	™寺のアド/ ま行う	ハイスを党	ziブ C、 P	トエの手	达
にみる目	ューハル	ת נג ו	.尹未で门.	ンルロメでか							1	
今年度の事業	坐, 坐黎!	量の部門			当該事務に従	事りる実質期	敬貝 狂	X .		0.7 /	۸	
			定(6~	7月)調	査委託契約の終	帝結・調査の	の実施	拖(8~12	月) P F	Iの手法	による省	ェ
ネルギー	対策事	業を行う	施設の内容	<u>Ē(10</u> Ē])							
今年度のまた										·		
P F 1 0.	チ法に	ての目工	イルキーx	り取事業を	を行う施設を決	正9句。						
					行う必要があるま	ちづくり指標						
他団体の先記	進的な取	リ組み成	果 参考美	縝佪								
年度別明細	H12	2年度	H13:	年度	H14年度	事前		H14年度達	成			
		- 1 :~	牟礼コミ	ュニテ	コンサルによ		コン					
事業・			ィセンタ		の実施(PF	I手法によ	を実	能した。				
業務量			エネルギ		る事業実施) 省エネルギー	分学車米を						
			争未の天	旭	行う施設の選							
まちづくり					省エネルギー		省エ	ネルギー対象	策事業を			
指標					行う施設の選	定	行う	施設の選定を	をした。			
行政指標												
協働指標												
予算額(千円)				82,000		4,341			4,341			
決算額(千円)				79,937					4,301			
執行率(%) 年間の実施	スケシュ	- II.		97.5					99.10%			
4月	5月	6 <i>F</i>	7月	8 F	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
			サル コン†			FIによる		調査報告				
गर			案受 タント			省エネルギー		書の受領				
当 初 計		付	定	約の約		対策事業 を行う施						
計						設の内定						
画												
			゚゚ロポーザル	L	調査	全実施期間						
		-										
結果					当初計画のと	とおり実施	į					
未								T				
変更計画の語	兄明											

事業 405 事業名 公共施設の省エネルギー対策の推進 重点管理

事業 406 事業名 「ごみ処理総合施策」の改定と推進及び分別収集計画の改定 重点管理

(事業コード)		403106	(部課コード)				403					
評価対象事業名	「ごみ処理総合施策」の改定と推進 画の改定	及び分別収集計	部課係名	生活環境部	ごみ対策詞	課 (局・室)						
基本計画の掲載	☑ あり □ なし	151ページ掲載	記入者名		荻原 正村	尌 内2534						
計画体系	第4部第2・1 - (1)-	4200111	歳出科目	一般会計	款:4.衛生費	項:2.清掃費						
計画事業名	「ごみ処理総合施策」の改定	と推進	(款·項·目·事項)	目:2.塵芥処理聲	事項:1.ごみ減	量運動啓発費						
計画体系			補助区分	□ 国補助	□ 都補助	☑ 市単独						
計画事業名			関連計画									
計画体系			関係法規	廃棄物の処理及	ひ清掃に関す	 する法律						
計画事業名				容器包装リサイ	イクル法							
分別収集計画 (意図) 資源循環型社会 化を推進する。 事業の概要・期間 ごみ処理総合が	(意図) 資源循環型社会形成推進基本法の制定やごみ質の変化、社会状況の変化をふまえ改定し、廃棄物の減量・資源 化を推進する。											
	- 分別収集計画は3年ごとに5年 め改定する。いずれも調布市と			ととされている	。前回は平成	11年6月						
			事する実質職員	数	0.	.5 人						
	量の説明 施策は、市民からの公募委員を 施策、分別収集計画ともに、資				程度)。							
	施策改定検討市民会議は、7月			「る予定。								
	程度」を評価するため、別途調査等を行	行う必要があるま	ちづくり指標									
他団体の先進的な助 	『り組み成果·参考実績値											

重点管理

(事	業コ	ード)							3 (部課	コード)						403
評	価対象	象事業	名	「ごみ処理 計画の改定	₽総合 E	施策」の改	定と推進及	なび分別収集			4	E活環境部	ごみ対	対策課 (局	·室)	
年	度別	明細	H12	年度		H13年度	Н	14年度事前	ń	H1	4年度	建成				
	NII/						–	理総合施第			里総合	施策検討				
	業 · 養務量						分別収	集計画改定	Ĕ	案作成 分別収算	巨計画	130字				
*	₹1刀 王	≛								ノリ カリリスタ	K n i m	ILXAE				
±.	ちづく	12					⊸ 2.	処理総合旅	金金か	ー コ.カ	П ІШ 4//	合施策改	-			
指		ן						处理総合加 市民会議	退果以	定検討る						
	行政	指標					委員1			委員12		· HJA				
	協働	指標					9 回開	催		9回開催						
Ļ	7 <u>44</u> 42	(千円)							5.198	施設見	F 云					
		₹(千円) (千円)							5,198			5,19 3,60				
	执行 [≥]											69.4				
年	間の	実施に	スケジュ・	ール									<u> </u>			
		月	5月	6月		7月	8月	9月	10万	11	月	12月	1月	2月	3月	\Box
		ر	か処埋約 検討市	総合施策 民会議												
当 初			·委員2													
初計							—— 検	討市民会詞	義(月1 -	回程度))			-	改定	
圖	3	分別以	」 X集計画	 改定作第	ŧ											
			-	>												
			ごみ処	理総合旅	芾											-
			検討	市民会		・施設	見学会									
結			・委	員公募					te≐ta	 「民会議	(FI 1	同)	・検討	対案作成 	 ▶ 提言	
果									化光面沙门	八二六		四)			₩ 提	Т
	分別	刂収集	計画改造													
				一改定												Т
亦ī	面計i	画の彰	明/重後	(証価時)	≓a	4.机钾松全	施策につ	いてけ 新	市長の	下確定す	ステレ	とかったた	め 亚成1	5年1日に	検討案を作	БŮ
し、	平成	15年	3月改定												そう 第に再計	
する	ること	とした	0													
	主		事後評価													
	III							ぼ計画どおり 理総会施等					2	め 亚式15:	年3月改定は	生:坐
		出いのた		副19′]、作	. 迪りに	メルでおうへん	- か、この処	: 垤総口肥果	IC 2010	IO' WIIIT	マのト	唯たりるこ		か、十 成 1 3 ·	午3月以足16.	兀区
						・ 小又は		LD TO 40 A 15 A	*	*!**		m	1	14:55-51		
								処埋総合施す は提言書として				直し、半成り	4年/月3日	から毎月1	回計9回にわれ	にリ
						高・中							2			
事								料の平均は 市も数市ある		3弱であり、	他市	と比較すると	:低く抑えられ	rている。 し;	かし、委託の内	物容に
 後	総総	合評価	i・限られた	上人員·予算	算の中	で市民参加	ロによりごみ	処理総合施:	策の改定		われた	上点は評価で	できる。問題し	ま、今回の言	十画に盛り込ま	これた
15				施できるか :事後評値		であり、実	施に向けた	体制づくりが	急務であ	iる。						
割	· **					計画以上進捗を	き含む>・ ほ	ぼ計画どおり). 計画	īどおり進/	ってい	ない)				
個	理	由・							,			•				
"-	`	成果	に対する言	平価 (大	·	・ 小又は	なし)									
	理	由・					/									
		か 変・	性·経済性	‡に対する!	評価	(高・中	・ 低)									
	理	由,	- MI/HI	_,_,, 0	- 1 144	, ı–u ·T	ita j									
	総	合評価	į :	主管課の	認識	のとおり、「	課題は実施	もに向けたも	体制づく	(りであり.	計画	iの推進体	制の整備に	こついて且 ^ん	体的な検討な	を進
	,,,,,			める必要				_,_, _,,,			<u> </u>	, - ~= rT'	<u></u>		5 - 1/41	-~=

事業 407 ■ 事業名 「新ごみ処理施設整備計画」の策定と推進 重点	事業
---	----

- k)												
· · · ·						(部課コート	*)					403
	「新ご	み処理施設	整備計画」の質	策定と推進	E	部課係名		生活環境部	ごみ対	策課 (局·፮	골)	
基本計画の掲	載	あり	□なし		151ページ掲載	記入者名			鎌田	順也	内2531	
計画体系	第4部	第2·1-(2)-			4200121	歳出科目	-	般会計 款:4.衛生	主費 項:2.清	掃費 目:2.塵	芥処理費	
計画事業名	「新ご	み処理施設	整備計画」の	策定と推済	i ,	(款・項・目・事	事 項)	項:12.新ごみ処理	里施設整備隊	[係費		
計画体系	第4部	第2・9-(1)-		4200911	補助区分		□国補助	■ 都補助	り 🔽 市単	独	
計画事業名	広域	的な中間の	理体制の理	耳編の検	討	関連計画	ti	 :し				
計画体系		第··-()-		J //yiii) 02 17	нэ	関係法規	10					
計画事業名	No Th	N2 ()				אמונאו						
事業の目的<	対象(何を	誰を対象に)	章図(対象	をどうい?	が状態にしたいの)か)>						
(対象)					有識者3名、行		3 計27	名)				
(意図) 新ごみ処理	理施設整備	基本計画素	案をたたき	台として	検討委員会で	·検討し基本	計画の	修正案として幸	8告するため	めの議論・樹	討を実施す	よ。
事業の概要は	+088							40年度	<i>6</i> 47 ₩□ .		04/=	· = \
	推進している ま定する。 その			検討委員 検討委員		織し素案内	容を検討	13年度 するとともに、そのを実施したのちこ			のち、三鷹市	
と「午及不に物動	1) 1. YE C (0) 20°			当	該事務に従事	する実質賠	計量数			1.5 人		
今年度の事業 検討委員会の			ウ実施 30		送会の開催 1		・ い作成	 ប៉		/ \		
			07 X // C				3 02 11 72	<u> </u>				
今年度のまち 検討委員会を予 会を開催し市民	定どおり開催	することと、					設見学を	実施し、その検言	寸内容につい	て市民に公	開する。また、	懇談
					要があるまちづ							
他団体の先進				1 = 11 /20	27000000	()] [] []						
年度別明細	H12年度		H13年度			度事前		H14年度達				
事业			委員会要綱の D委嘱		検討委員会を6 施設見学を3回			討委員会を6回開 強会を9回開催	催			
事業· 業務量			の安喘 会2回開催		心設兄子で3回 シンポジウムを			選去を9回開催 設見学を4回開催	į l			
未加里			見学1回開催					ンポジウムを1回				
							10.	UZDA 100				
					検討委員会 6 施設見学 3	$ \times 27 = 162 $ $ \times 27 = 81 $ 人		討委員会 138. 設見学 71.				
まちづくり 均標								以元 丁 / 1.				
指標								举会 延150				
					ルロステーク シンポジウム3 記録書の作成	00人	勉	強会 延150. ンポジウム 71.	7			
指標 行政指標					シンポジウム3	00人	勉シ		<u> </u>			
指標 行政指標 協働指標					シンポジウム3	00人 200部	勉 シ 記	ンポジウム 71	人 人 部			
指標 行政指標 協働指標 予算額(千円)				2,716	シンポジウム3	00人 200部	勉シ	ンポジウム 71	<u> </u>			
指標 行政指標 協働指標					シンポジウム3	00人 200部	勉 シ 記	ンポジウム 71	人 人 部 4,815			
指標 行政指標 協働指標 予算額(千円) 決算額(千円) 執行率(%)				2,716 1,992	シンポジウム3	00人 200部	勉 シ 記	ンポジウム 71	人 人 部 4,815 4,725			
指標 行政指標 協働指標 予算額(FP) 決算額(FP) 執行率(%)			70	2,716 1,992 73.4	シンポジウム3記録書の作成	00人 200部 4,	勉 シ 記 815	ンポジウム 71 録書の作成 200	人 人 部 4,815 4,725 98.1			
指標 行政指標 協働指標 予算額(千円) 決算額(千円) 執行率(%) 年間の実施2	5月	6月	7月	2,716 1,992 73.4	シンポジウム3 記録書の作成	00人 200部	勉: シ: 815	ンポジウム 71. 録書の作成 200i	人 人 部 4,815 4,725 98.1	2月 銀沙	3月	
指標 行政指標 協働指標 予算額(千円) 決算額(千円) 執行率(%) 年間の実施プ 4月 施設	5月 検討	6月 施設	検討	2,716 1,992 73.4 8月 施設	シンポジウム3 記録書の作成 9月 最 検討	00人 200部 4,	勉シ記 815 11/ 検記	フポジウム 71. 録書の作成 200 司 12月	4,815 4,725 98.1 1月 検討	懇談	検討	
指標 (お動指標 (お動指標 (予算額(千円) (決算額(千円) (執行率(%) 年間の実施 4月 (現ま) ものまた。	5月	6月	.,,	2,716 1,992 73.4	シンポジウム3 記録書の作成	00人 200部 4,	勉: シ: 815	フポジウム 71. 録書の作成 200 司 12月	人 人 部 4,815 4,725 98.1	_, _	٠, ٦	
指標 協働指標 予算額(千円) 決算額(千円) 執行率(%) 年間の実施 4月設 見見	5月 検討	6月 施設	検討	2,716 1,992 73.4 8月 施設	シンポジウム3 記録書の作成 9月 最 検討	00人 200部 4,	勉シ記 815 11/ 検記	フポジウム 71. 録書の作成 200 司 12月	4,815 4,725 98.1 1月 検討	懇談	検討 委員会	
指標 協働指標 予算額(千円) 決算額(千円) 執行率(%) 年間の実施 4月設 見見 当初計	5月 検討	6月 施設	検討	2,716 1,992 73.4 8月 施設	シンポジウム3 記録書の作成 9月 最 検討	00人 200部 4,	勉シ記 815 11/ 検記	フポジウム 71. 録書の作成 200 司 12月	4,815 4,725 98.1 1月 検討	懇談	検討 委員会 ○報告書	
指標 協働指標 予算額(千円) 決算額(千円) 執行率(%) 年間の実施 4月設 見見	5月 検討	6月 施設	検討	2,716 1,992 73.4 8月 施設	シンポジウム3 記録書の作成 9月 最 検討	00人 200部 4,	勉シ記 815 11/ 検記	フポジウム 71. 録書の作成 200 司 12月	4,815 4,725 98.1 1月 検討	懇談	検討 委員会	
指標 協働指標 予算額(千円) 決算額(千円) 執行率(%) 年間の実施 4月設 見見 当初計	5月 検討	6月 施設	検討	2,716 1,992 73.4 8月 施設	シンポジウム3 記録書の作成 9月 最 検討	00人 200部 4,	勉シ記 815 11/ 検記	フポジウム 71. 録書の作成 200 司 12月	4,815 4,725 98.1 1月 検討	懇談	検討 委員会 ○報告書	
指標 協 協 等額(千円) 決算額(千円) 執行 車間の実施 年間の実施 当初計画	5月 検討 委員会	6月 施設 見学	検討 委員会	2,716 1,992 73.4 8月 施設 見学	シンポジウム3 記録書の作成 9月 投 委員会	00人 200部 4,	勉シ記: 815 11) 検i 委員:	フポジウム 71. 録書の作成 200	4,815 4,725 98.1 1月 検員会	懇談 会	検討 委員会 〇報告書 の作成	
指標 協 協 等額(千円) 決算行 執行 の実有 年間 の実月 も 見 割 が 対 計画 施 学 初 計 に の ま り も の も り も り も り も り も り も り も り も り も	5月 検討 委員会 検討	6月 施設 見学 施設	検討を負金を	2,716 1,992 73.4 8月 施設 見学	シンポジウム3 記録書の作成 9月 投 委員会 検討	00人 200部 4,	勉シ記 815 11」 検 委員:	フポジウム 71. 録書の作成 200 司 12月 討会	4,815 4,725 98.1 1月 検員会	- 懇談 会 - シン	検討 委員会 〇報告書 の作成	
指標 協 協 等額(千円) 決算額(千円) 執行 車間の実施 年間の実施 当初計画	5月 検討 委員会	6月 施設 見学	(検員 検員 を (を (を (を (を (を (を (を (を (を	2,716 1,992 73.4 8月 施設 見学	シンポジウム3 記録書の作成 9月 を を り を し を し を し を し を し を し を し を し を	00人 200部 4,	勉シ記: 815 11 11 数 数 検員:	フポジウム 71. 録書の作成 200 同 12月 討会	4,815 4,725 98.1 1月討会 検員会	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	検員会 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
指標 「	5月 検討 委員会 検討	6月 施設 見学 施設	() () () () () () () () () ()	2,716 1,992 73.4 8月 施設 見学	シンポジウム3 記録書 9月 最 委 検員 を	00人 2000部 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4,	勉シ記81511)委員委員委	71. 録書の作成 200 目 12月 討会 勉強	A,815 4,725 98.1 1月討会 検員勉 委物	3.談会 シジウム	を を を を を の作 を を の作 を の作 を のを を のが を のが を のが を のが のが のが のが のが のが のが のが のが のが	
指標 協 協 等額(千円) 決算行 執行 の実有 年間 の実月 も 見 割 が 対 計画 施 学 初 計 に の ま り も の も り も り も り も り も り も り も り も り も	5月 検討 委員会 検討	6月 施設 見学 施設	(検員 検員 を (を (を (を (を (を (を (を (を (を	2,716 1,992 73.4 8月 施設 見学	シンポジウム3 記録書の作成 9月 を を り を し を し を し を し を し を し を し を し を	00人 200部 4,	勉シ記: 815 11 11 数 数 検員:	フポジウム 71. 録書の作成 200 同 12月 討会	4,815 4,725 98.1 1月討会 検員会	想 会 シジウ よ 加 た た た た た た た た た も た た も も も も も も も も も も	委 〇の 委 会 を 一	
指標 「	5月 検討 委員会 検討	6月 施設 見学 施設	() () () () () () () () () ()	2,716 1,992 73.4 8月 施設 見学	シンポジウム3 記録書 9月 最 委 検員 を	00人 2000部 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4,	勉シ記81511)委員委員委	71. 録書の作成 200 目 12月 討会 勉強	A,815 4,725 98.1 1月討会 検員勉 委物	想 会 ポム	委 〇の 委 会 計会 書 計会強 録	
指標 「	5月 検討 委員会 検討	6月 施設 見学 施設	() () () () () () () () () ()	2,716 1,992 73.4 8月 施設 見学	シンポジウム3 記録書 9月 最 委 検員 を	00人 2000部 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4,	勉シ記81511)委員委員委	71. 録書の作成 200 目 12月 討会 勉強	A,815 4,725 98.1 1月討会 検員勉 委物	 	委 〇の 委 会 を 一	
指標 「	5月 検討 委員会 検討	6月 施設 見学 施設	() () () () () () () () () ()	2,716 1,992 73.4 8月 施設 見学	シンポジウム3 記録書 9月 最 委 検員 を	00人 2000部 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4,	勉シ記81511)委員委員委	71. 録書の作成 200 目 12月 討会 勉強	A,815 4,725 98.1 1月討会 検員勉 委物	想 会 ポム	委 〇の 委 会 計会 書 計会強 録	
指標 (千円) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	5月 検員 委 検員会	6月 施設 見学 施設 見学		2,716 1,992 73.4 8月 施学 見 競学 見 シ	ジンパ デシンパ デシンパ デシンパ デシンパ デシンパ デンウ 作成 の の の の の の の の の の の の の	00人 2000部 4, 10月 勉強 会	勉シ記815本委会検員会	71. 録書の作成 200 目 12月 討会 勉強	A人A部 4,815 4,725 98.1 1検員 横員勉 耐会会	 	委 のの 委 会 書 会 書 会 書 会 書 会 書 のの の の の の の の の の	を検

事業 407 事業名 「新ごみ処理施設整備計画」の策定と推進 重点管理

/ a b	₩ - 1•\	40040	7 / 立(7 ÷ 田 ¬ L* \	1		400
(事	(業コード)	40310	7 (部課コード)			403
評化	西対象事業名	「新ごみ処理施設整備計画」の策定と推進	部課係名	生活環境部	ごみ対策課 (局・室)	
	主管課事後評価					
	進捗状況評価	(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・	計画どおり進んでし	1ない)	2	
	理由・計画どおりの)回数の検討委員会を開催するとともに、施設見学会や	勉強会を積極的に行	テってきた。しかし、議	<u></u> 論がなかなか前に進まず、	当初の予定ど
	おり15年度中に答	「申の内容が固まるか微妙なところである。		_		
		評価(大・ 中・ 小又はなし)			2	
		はまだ1年を残しており最終的な評価はできないが、遅れ				いる。ごみ処理
		り、2市の市民が参加するこの方式は全国の先進事例	であり、答甲が出され	れば成果は大きいと	:いえる。	
		性に対する評価(高・中・低)			1	
事		の検討委員会の合間に施設見学会や勉強会を実施す	るなど、会議等は効果	率的に開催されている	ら。また、コンサルタントの委	託経費も2市で
_		り、他の自治体と比較するとかなり安くなっている。				
後		里施設の整備は、20年程度に1度の、しかも百億円単位				反対連動の多
	事業事前審査会	≧による行政への不信であり、本検討委員会は情報発信 ○事後並研	らいつ凹からも与さ	続さ継続していてこ	小里安である。	
評	争未争削备且 z		計画じむり進んで	14811)		
	理由・	(引回このり、計画以上连抄を30>. はは引回このり.	計画とのり進んで	1/4/1)		
価	生山 (
	成果に対する	評価(大・中・小又はなし)				
	理由・			_		
	効率性·経済性	まに対する評価(高・中・低)				
	理由·	,		_		
	総合評価	市の従前の計画・スケジュールにこだわるのでは	はなく、新市長の方	針及び調布市の方	計を踏まえて慎重かつます。	柔軟に対応す
		る必要がある。				

事業 408 事業名 「産業振興計画」改定・推進等業務 重点管理

(事業コード)		404108	(部課コード)			404
評価対象事業名	「産業振興計画」改定·推進等業	業務	部課係名	生活環境部	生活経済課	
基本計画の掲載	☑ あり	90・96・97ページ掲載	記入者名		内田 治	内2542
	第2部第3·1-(2)- 第2部第4·1-(1)-	2300121 2400111	歳出科目	一般会計 款:7.商 費 事項:1.商工振		費 目:2.商工振興 商店街にぎわい創
計画事業名	「産業振興計画」改定·推進等對	業務	(款·項·目·事項)	造事業補助金		
計画体系	第2部第3·1-(3)-	2300131	補助区分	□ 国補助	□ 都補	▼ 市単
計画事業名	「SOHO CITY みたか構想」の策定と	<u>ú</u> 推進	関連計画	三鷹市商店街振	興プラン	
計画体系	第2部第4·1-(2)-	2400121	関係法規	中心市街地整備改	(善活性化法	
計画事業名	商店街振興プランの改定と推進					
計画体系	第2部第4·6-(1)-	2400611	計画体系	第2部第4·3-(3)-		2400332
計画事業名	「中心市街地活性化基本計画」の改	ス定と推進	計画事業名	地域商店街のバリ	アフリー化の推進	
(対象) 主として三鷹市 (意図) 現状と将来を見据 化を図る。 事業の概要・期間 12年度をもって計画類計画の改定、策定等と	(何を、誰を対象に) 意図(対象をの内の中小事業者、市内での創業では、 えた産業振興計画等を改定・策 一 単年 期間が満了している三鷹市産業振興 の整合を図りながら改定する。14年 案をまとめる。15年度に素案を調整	業・三鷹市への移 定と、三鷹市に ▼ 複数年度 戦計画について、こ に度は検討市民会議 した原案を商工番	多転を検討する事 おける広範な中 (始期: の間の法制度等の 養による検討、庁戸 へ諮問し、その答	小事業者の産業 14年度 D整備、社会経済情 対推進会議の設置に 申を受けて計画改	〜 終期: 「動の変化等を踏る こよる庁内調整、商 定を行う。	15年度) まえ、関連する個別 第工振興対策審議
今年度の事業・業務	冬島の部田	白該事務に促制	事する実質職員	<u>XX </u>	1.5	
	5重の祝奶 、商工振興対策審議会4回、庁	· 内の推進会議3	回を予定してい	る。		
今年度のまちづくり 製造業事業所数、	指標の説明 商店数の減少を抑制するととも	もに、SOHO事業	養者の増加を目	省す。		
	平価するため別途調査を行う必要がある	るまちづくり指標		市内のSOHO事業	者数	
小金井市産業振興プ 振興計画(12年3月)、 商工振興基本計画(11 北区産業活性化ビジョ	取り組み成果・参考実績値 ラン(14年3月)、調布市(14年度予定 東久留米市(15年度予定)、八王子i 1年3月)、品川区産業振興マスターフ ン(10年3月)、台東区産業振興ビジ 興ビジョン(10年11月)、大田区産業	市 (14年度予定)、 プラン (13年9月)、 『ョン (8年3月)、墨[羽村市(14年度予 目黒区産業振興ヒ 田区商店街振興フ	定)、新宿区産業振 (ジョン(13年3月)、村 (ラン(13年度)、墨E	興戦略プラン(144 ド並区産業振興計	年5月)、千代田区 画(14年9月予定)、

年度事業がまた。	が 多量 づくり ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	¥名 田 H12年	F度 商店街 会6回開	計画」改定 H13年度 振興プラン策策 開催。商店会・ 査実施(7月~9	定委員		H14年度事前	部課信	<u>系名</u>	生 H14年度	活環境部 達成	生活系 1	<u> 経済課 (局</u>	·室)
事業がます。また。	が 多量 づくり ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	田 H12年	商店街 会6回開 現状調	振興プラン策ス 引催。商店会・				Ī		H14年度	達成	1		
まち、指標行	^{済量} づ⟨リ 「政指		会6回開 現状調	開催。商店会・		検討市								
行	政指标		安ルボ	対振興プラン	9月)商 ン素	回、庁 区 予定 産業排 度街場制	内推進会議3回	開催 成 商 連計画	回、庁産業	・内推進会記 振興計画素	案作成のた	_		
	新動指	票	製造 商店	業事業所数 数約1,400 O事業者(集 0	積施	争業所領	で・ひたの検討 文・維持 商店数 事業者(集積施)	(·維持 設内)増	等が 事業所 減少傾 施設内		表刊 製造業 列 商店数・ 事業者(集積			
	章額(千F 章額(千F				1,846 1,535			2,434			2,43 ² 2,100	-		
	<u>于歌() </u> 行率(%				83.2%						86.3%			
年間	の実施	スケジュ	<u></u>											
	4月	5月	6月	7月		月	9月		月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画		·基本方針 決定 ·商工審 ·商店打事 ·商店分 ・商店 ・商店 ・商店 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		・検討 会議 ・旧成計度 検新の価 検新た抽 のの価 は出 のの価	度評価・新たな 抽出・商工額	注課題の 審 哲振興プ	・検討市民会議 ・旧計画の達成 度評価検討 ・新たな課題に ついて	·新計 成検討 ·推進	t	·新計画の 構成検討 ·商工審	・検討市民 会議 ・新計画の 構成検討	·新計画の 素案調整	・新計画の 素案調整 ・商工審	・検討市民会 議 ・新まと ・新まと ・新まと ・新表 ・新表 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
結果		・基本方録 決定 ・商工審 ・商店方シ 興業 大き ・商店 乗業 大き		・他団体の類似計画に関する調査 一田計画の事業達成度	·新たな 抽出	〕 注題♀ ◆	·推進会議設置	約締結 ・新計 成検討	委託契 計 画の構 け 街振興	•	·商工審 ·検討市民 会議	・検討市民会議 ・新計画の構成等調整 ・事業者アンケート実施		・検討市民会 議 ・新計画の方 向性まとめ
事後評価事後評価	理 理 理 選 理 理 はいの 由 由は合議業 由 成・ 放・み評議事	討門に討 性民い の前状に対している はいました はいかい とく はいかい とく はいかい はい はい はい はい はい はいかい はいかい はいかい はいか	(議ね評議 生催な計奏事(評別 は、	会議日程の記録をはいいます。 一般 はいました はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいま	問整市はは では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	苦慮議 (ルンマット) 低いて今き (ルンマット) (ル	開催回数は計成のでは、	の達成 1 1 1 1 1 2 2 3 3 3 3 4 5 5 6 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7	度、Lア!な 回に必 動い かい なる こ なる。	リング やアンケ なく、庁内推 要な視点等 る委員の協 員会運営の キーワード;	-トによる状 進会議開催が明らかに 力によりネッ あり方として が見えてきか	は1回にと 2 なってきてい 2 トワークを 有意義な取	どまっている いる。 活用した議 収組みである	論、 資料提示等 る。
							勺な意見集約	や素乳	をづくり)が必要と	思われる。			

				1
事業	409	事業名	産業プラザ第2期棟整備事業	重点管理

業コード)		404109	(部課コード)			404
対象事業名	産業プラザ第2期棟整備事業		部課係名	生活環境部	生活経済課	
基本計画の掲載	☑ あり _ □ なし _	94ページ掲載	記入者名		内田 治	内2542
計画体系	第2部第4・3-(2)-	2400321	歳出科目	一般会計 款:7.	商工費 項:1.商工費	目:2.商工
計画事業名	「産業振興計画」改定・推進等美	業務	(款·項·目·事項)	振興費 事項:8	三鷹産業プラザ運営	等関係費
計画体系			補助区分	☑ 国補助	☑ 都補助 □	市単独
計画事業名			関連計画	三鷹市中心市	街地活性化基本計	·画
計画体系			関係法規	中心市街地整備	改善活性化法	
計画事業名						

事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)> (対象)

主として三鷹市内の中小小売商業・サービス業等事業者

(意図) 三鷹市内の中小小売商業・サービス業等の拠点・支援施設として整備する。産業プラザ第2期棟が中心市街地の集客力を高める

とで、周辺を含めた商業等の活性化を図る 事業の概要・期間 事業の概要・期間 □ 単年度 ☑ 複数年度 (始期: 12年度 ~ 終期: 14年度) 三鷹市中心市街地活性化基本計画(10年10月)に基づくTMO事業として、株式会社まちづくリ三鷹が事業主体となる産業プラザ第2期棟整備事業

を支援する。同事業は、国及び東京都の補助、中小企業総合事業団の高度化無利子融資等の支援策を受けて整備されるもので、小売店舗、飲食店 舗のほかサービス業店舗、会議室、研修室等が入居・設置される予定である。

当該事務に従事する実質職員数

今年度の事業・業務量の説明

7月初旬までに補助、融資等の決定を受け、その後着工。15年3月までに補助・融資対象事業については完了。市は、7月に整備事業費に充当される追加出資金200,000千円をまちづくり三鷹へ支出する。 今年度のまちづくり指標の説明

三鷹市の出資、国庫·都補助、高度化無利子融資等を受け、まちづくり三鷹が年度内に事業を完了する。 今後、市民満足度を評価するため別途調査を行う必要があるまちづくり指標 市内中小小売商業・サービス業事業者への効果・影響等

他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値

年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
事業・業務量		基本設計、実施設計に要する費用をまちづくり三鷹へ補助	・追加出資200,000千円の 支出 ・補助、融資等の決定を 受け着工 ・年度内に竣工	・追加出資199,800千円の 支出 ・補助、融資等の決定を 受け着工 ・年度内に竣工
まちづくり 指標 行政指標 協働指標	プロポーザルを実 施	基本設計、実 施設計完了	補助対象・融資対象事業の完了	補助対象・融資対象事業が完了した 入居テナントの確定は予定より遅れている
予算額(千円)	15,750	63,500	200,000	200,000
決算額 _(千円)	2,100	63,500		199,800
執行率(%)	13.3%	100%		99.9%

年間の実体でたび。 リ

 T 1	ョの実施 <i>人</i>			70	0 🗆	^ -	400	440	400	40	^ -	^ -
_	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		高度化無	·国庫補助									·竣工
		利子融資	/都補助内									·国庫補助
114		診断	示	付決定								/都補助完
当初			·工事請負									了検査
19J ± I			業者決定 (まちづくり	資貸付決								・無利子融
計画			(まらり(り	疋 ·着エ								資完了検 査
▮쁴			二鳥)	看工								旦
							整備工事					
				•			金牌工事					
		高度化	·国庫補助	·国庫補助								·竣工
		無利子	/都補助内									·国庫補助
		融資診	示	付決定								/都補助完
		断貝形	·工事請負									了検査
結果		函	業者決定	資貸付決								·無利子融
果			(まちづくり	定								資完了検
			三鷹)	·着工								查
				🛕			整備工事					
				-								1

変更計画の説明

事業 409 事業名 産業プラザ第2期棟整備事業 重点管理

(重	(業コード)		404109 (部課コード)	T	404
(-	714 1 /	産業プラザ第2期棟整備事業	部課係名	生活環境部	生活経済課 (局・室)
		-	計画どおり・ 計画どおり進 りに推移した。整備工事も工	期を2週間延長したも	
事後	理由・第1期事業 いた本市の重要な 効率性・経済性 理由・国、都の補助 た。 総合評価: 国や	評価(大・中・小又はなし) と併せ、商工業、SOHO等の支援拠点施設が 建設事業がほぼ計画どおり竣工し、中心市 性に対する評価(高・中・低) 助金が整備事業費の3分の2、残る事業費で がの支援策を最大限に活用した事業であり、 業者から親しまれ、利用される施設になるよ	市街地活性化事業の代表事 ついても無利子融資が適用 、今後の運用が中心市街地	「例が具体化した意義 「したなど、財政負担とはなるなど、財政負担を対象をしています。」	は大きい。 1 2 は最小限に抑制することができ 5 5 5 6 7 7 8 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8
評価	事業事前審査会	会事後評価	計画どおり・ 計画どおり進	-	. <i>დ</i> გ.
	成果に対する 理由・	評価(大・ 中・ 小又はなし)		-	
	効率性·経済(理由·	性に対する評価(高・ 中・ 低)			
		主管課の認識どおり、国や都の支援領ブラザの総合的な成果に関する検証を することができるかを検討すること必要	を行い、市内の産業育成		

事業 410 事業名 「農業振興計画」改定 重点管理

(事業コード)		404110	(部課コード)				404				
評価対象事業名	「農業振興計画」改定		部課係名	生活環境部	生活経済	i課 (后	i·室)				
基本計画の掲載	☑ あり	85ページ掲載	記入者名			哲	内3063				
計画体系	第2部第2·1-(1)-		歳出科目	一般会計 款:6							
計画事業名	「農業振興計画」改定		(款·項·目·事項)	業振興費 事項	4農業振興記	一画改造	定事業費				
計画体系	第2部第2·3-(4)-	2200341	補助区分	□ 国補助	□ 都補助	▼ 7	市単独				
計画事業名	緑化センターの充実の要請		関連計画	農業振興計画							
計画体系	第 部第 ・ -()-		関係法規								
計画事業名											
事業の目的 < 対象 (何を、誰を対象に) 意図 (対象をどういう状態にしたいのか) > (対象) 三鷹市民とその周辺区市民 (意図) 第3次三鷹市基本計画及び東京都農業振興計画との整合性を図るため、三鷹市農業振興計画の改定を行なう。JA東京むさし三鷹緑化センターを、市民と農業者との交流の場としての機能の充実が図られるよう要請する。 事業の概要・期間 「「複数年度 (始期: ※解: ※解: ※解: ※解: ※解: ※解: ※解: ※解: ※解: ※解											
今年度の事業・業績 「農業振興計画」。	^{務量の説明} 改定事業は、振興計画改定素案	策定会議、振興	計画改定市民名	会議を設置して記	†画の原案を	確定す	たる 。				
今年度のまちづくり 新農業振興計	画の策定										
1 104 1 5 411 611	足度」を評価するため、別途調査等を	行う必要があるま	ちづくり指標								
他団体の先進的な 	取り組み成果・参考実績値										

事業 410 事業名 「農業振興計画」改定 重点管理

(事	業コード)						40411	0 (部課コー	-ド)				404
評值	西対象事業	€名	「農業排	画信興。	改定			部課係名	1	生活環境語	部 生活	経済課 (周	司·室)
年	度別明細	H	12年度	H1:	3年度	H14年度		H14年度					
						振興計画改							
事						策定会議3							
兼	務量					市民会議 3	凹開惟	巾氏会議 4	・凹開催				
						ᆥ	:@1÷1; == :	ᆥ	= (B) ÷ 1				
まれ	5づくり ==					新農業振 の策定		新農業振 の策定	四行興変				
	。 行政指標					の東ル		の東ル					
	協働指標												
코	算額(千円)						1,000		1 000				
	异般(+H) :算額(+H)						1,000		1,000 998				
幸	执行率(%)								99.8				
	間の実施	スケ	ジュー丿	ν .		•	•						
	4月		月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	, ,			振興	, ,		振興			改定			新農業
			言	+画改			計画改			素案確			振興計画
当 初	i			E素案			定市民	<u> </u>		定			
初				定会			会議			原案			
計			Ē	義						確定			
囲													
_				tE 個3			+三個	1					原案確
			_	振興 十画改			振興計画改						定
変	:			I 画以 E素案			定市民						Æ
重	•			定系来			会議	•					
更計				K L Z 義			公哦						
픨	i		P	找			_						
							→						
亦言	更計画の説	5 pA											
Z 3	디삐어하	(H/)											
	主管課事	後 証	/冊										
				画どおり<き	計画以上進捗	を含む>・ ほほ	(計画どお	り・ 計画どる	おり進んで	(1ない)		2	
	理由・三鷹	市基	本計画及	び東京都	農業振興	計画との整合	性が図られ	1、農業公園	計画の設置				
						、計画どおりで	市民会議で	で原案が策定	された。				
				大・中			1+蛇士 目	にもいて吹き	≥ 1			2	
	在田、町原	当この	ッぶ余か	水 炬C166	こり、取念	確定について	ᅺ비ᆙᆈ	にのいし惟人	ヒソシ。				
	効率性	·経済	性に対す	る評価(高・中	・ 低)						2	
事	理由・農業	業振興	策が効率	図的に執行	される。								
	W△ □/=	+	△羊にかり	17 22	・か辛ログ	たみか 生 悪 ロ	大い医療さ	√ * =+++					
後	総古評1四	中氏2	武氏の	ハし、活発	は思兄か	だされ計画ど	のリ原系7	ア 東 止 さ れ に 。	•				
≟π	事業事前	審査:	会事後記	平価									
評													
価	理由·												
	二:田二	하는 그 그	: 章\/ (+. 🖶	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	++>1.)							
	型由・ 理由・	צוא פ	は十二四(大・中	小又旧	ra ()							
	効率性	·経済	性に対す	る評価(高・中	1. 低)							
	理由·										_		
	総合評価		今回の	市民会議	における	る検討を活か	い、市民	と農業事業	者とのな	流が活発に	ように交	流事業等の	の検討を行う
				想ましい。	~	/41 6/4/1	5, 1500	-114/5-7-7			- 3. 7.10.00	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	- 1741 - 117

事業 411 事業名	都市型産業等の立地・	・集槓推進事業	重点管理
------------	------------	---------	------

						1 / =	n+m	IA) I						
(事業コード)	≱ 7 1 ∓11	产 米 刍	手の立地・集	手出出			『課コ							404
評価対象事業名	á ''' '						課係		生活	5環境部	生活	経済課		
基本計画の掲載		あり	🗌 なし		90ページ排	_						内田 治	内254	12
計画体系	第2部第		<u></u>		00111		出科					頁:1.商工費		工振
計画事業名			する条例制定				·項·目·	x)	興費 署	事項:12	東京国際	アニメフェア等関		
計画体系	第2部第		<u>' </u>	23	00431	_	助区:			国補助		3補助 🔽	市単独	
計画事業名			の誘致・育成			_	連計		三鷹	节産業	画信興家			
計画体系	第2部第	3•7-(2))-	23	00721	関	係法	規						
計画事業名	アニメーショ	ン関連を	産業のネットワー	ク化の推進	<u> </u>									
事業の目的< 注 (対象) 三鷹市内で都 (意図) 既存の製造業 で、市内産業の 事業の概要・期 市内産業に新た 支援制度等の導	市型産業等が 、商業等が 活性化推進 間 な活力を与	を営む 活力を <u>まを図り</u> える可能	ご事業者、三 E失いつつあ 〕、地域経済 □ 単年 能性のあるい	に に に に に の 活力を で の に の の に の の に の に の の に の の に の の の の の の の の の の の の の	の移転・進 れら地域 <u>を に向上させる</u> を を を 後数 (->ョン、□ (円)	出等で 産業へ るもの 年度 _{理寺}	を検討 への支)。 (始: 『市型』	する事業 援を行う 期: 産業の立	ととも 1 地・集	に、新 3年度 積のあり	~ 終 方について	期: :調査し、誘:	14: 致促進のた	年度)
				11/	<u> </u>	<u> </u>	⊢ ⁊ ⇔	도도 마사 모 4	¥ L			0.0		
当該事務に従事する実質職員数 0.2 人 今年度の事業·業務量の説明														
都市公団との して公表する。			する。研究会	会開催の	ための事剤	务局‡	J合せ	は、6回	程度	実施する	る。なお、石	研究会の成	果は報告	告書と
今年度のまちつ 三鷹市におけ			産業の立地	・集積の	方向性·可	能性	を示す	報告書	をまと	める。				
今後、市民満足度	きを評価するた	め別途	調査を行う必	要があるま	ちづくり指標	都	市公団	事業用均	也等へ	の都市型	産業企業	の進出可能	性	
今後、市民満足度を評価するため別途調査を行う必要があるまちづくり指標 都市公団事業用地等への都市型産業企業の進出可能性 他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値														
町田市では、1	企業誘致促	進のた	:め、補助制	度の導 <i>)</i>	、固定資	全税の	の軽減	措置等	を制度	化して	いる。			
年度別明細	H12年度		H13年度		14年度事			14年度i						
ᆂᄴ		都	市公団と共同	の 都市な										
事業・業務量		究中	究会を設置。 会を3回開催 間のまとめを った。	し、催する	き続きを3[る。14年12月 最終のまとめ	を目	14年1	を3回開催 1月に最終 作成した。		i				
まちづくり			研究会の中間	の 研究	究会の最終す	8告	研	究会の最	終報告	=				
指標		ま	とめとして報告				書を作							
行政指標		書	を作成											
╽よりは「協働指標」														
予算額(千円)			2,0)43		2,043			2,04	3				
決算額(千円))19					1,95					
執行率(%)			95	.9%					95.8	%				
年間の実施スク														
4月	5月	6月	7月	8月	9月		<u>0月</u>	11月		12月	1月	2月	3月	
当初計画	研究会		研究会			研究	话			終報告まとめ				
石	研究会		研究会			研究	法	最終報告	告					
結果								書まとめ						
変更計画の説明	Ħ													

事業 411 事業名 都市型産業等の立地・集積推進事業 重点管理

(事	(業コード)	404111	(部課コード)		404
評值	西対象事業名	都市型産業等の立地・集積推進事業	部課係名	生活環境部	生活経済課 (局·室)
	主管課事後評信 進捗状況評信 理由·会議開催日			,	1
	理由·都市基盤整 た。	評価 (大・中・ 小又はなし) B備公団の事業用地の活用方策について、事業イメー:	ジを提示することか	「でき、今後の政策判	1 川断の有用な情報を得ることができ
事	理由・2年度に及り	性に対する評価 (高・中・ 低) ぶ調査を都市基盤整備公団との共同調査とすることで			
	具体化が必要で		が提示されている	が、事業実現のため	かには、事業計画、予算計画等の
評価		会事後評価 面(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり	・ 計画どおり進ん	っでいない)	
	成果に対する 理由・	評価 (大・中・ 小又はなし)			
	効率性·経済 理由·	性に対する評価(高・ 中・ 低)			
	総合評価	研究会の検討・報告内容を庁内で共有するとと とが必要と思われる。	もに、今後、提言	三内容を施策化す	る上での課題等を整理するこ

事業 412 事業名 コミュニティ・センター図書室と図書館との連携 部内管理

(事業コード)			(部課コード)					401				
評価対象事業名	コミュニティ・センター図書室と図	図書館との連携	部課係名	生活環境部	コミニ	ュニティ)	文化室					
基本計画の掲載	あり □ なし	214ページ掲載	記入者名		荒木俊博		内2515					
計画体系	第7部第1・6 - (1)-	7120611	歳出科目	一般会計	款: I	項:						
計画事業名	コミュニティ・センター図書室との連携		(款・項・目・事項)	目:	Ę	事項:						
計画体系	第 部第 ・ -()-		補助区分	□ 国補助	□都補助 □	市単独						
計画事業名			関連計画	なし								
計画体系	第 部第 ・ -()-		関係法規	三鷹市コミュニ	ニティ・センター	-条例						
事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)> (対象) 各コミュニティ・センター利用者をはじめとする全ての市民 (意図) コミュニティ・センター図書室運営の効率化と図書室同士、市図書館との図書サービス網を確立し、市民満足度の												
事業の概要・期間	<u>向上を図る。</u> 事業の概要・期間 単年度 ▼ 複数年度 (始期: 13年度 ~ 終期: 15年度) 各コミュニティ・センター図書室の電鼻1化を進め、図書至向工、市図書館との連携を推進する。											
		当該事務に従	事する実質職員	数	0.5 /	人						
に向けた協議調	書担当者で構成している図書室 整・設計を行う。	室管理システム	研究会での研究	記報告を受け、 値	主民協議会と電算	〕化						
図書室管理シス	今年度のまちづくり指標の説明 図書室管理システム研究会等への延べ参加人数を協働指標とする。 今後「市民満足度」を評価するため別途調査等を行う必要があるまちづくり指標 コミュニティ・センター図書室の利用者数											
1 154 1 5 411 417	取り組み成果・参考実績値	7.2 × 13 07 07 05 5	1 / JETA	1	・一百日王ジャッ川日	^^						

事業 412 事業名 コミュニティ・センター図書室と図書館との連携

部内管理

	۴)	. .				40121	2 (部課	コード)						401
				センター図書	室と図書	語との連携	引部課(· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	生活環境	見部	コミ.	ュニティ文化	七室	
	細	H12年		H13年度		114年度事		H14年月						
				図書室管理 システム研究		室管理シス 会4回開催		図書室管理 研究会6回1						
				3 回開催		会議3回電								
					設計									
	づくり			研究会への		究会等への			の延べ参					
	標			延べ参加人数 30人		人数 7 0 人 ⁻ 算化設計第		□者数60月 雷管化要	、 望事項抽					
協	弱動指標		(_	77101121121		توبران من ال	エテベル					
								物流等の	協議。					
	草額(千円)		0		0		0		0					
	算額(千円) 行率(%)		0		0				0 0%					
1 /V I	J (70)		U		O ₁				070					
年間		ケジュール				•	400	44.	400	1 4 🗆			_	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	\dashv	
		←				∮							- 1	
当初		図記	書室管理	リンステム研	究会の開	催·報告							- 1	
計							\leftarrow					↓	- 1	
画							,	調整	会議の開催	崔·設計			- 1	
													- 1	
													┪	
													- 1	
結		<										\rightarrow	- 1	
果						図書室	 管理シ	_ ステム研究	- 兄会の継続	│ 開催·報告			- 1	
													- 1	
													- 1	
	+1 +4						50	14.44 4 - 5						
				C C 図書室の るにとどまっ										
				ことの連携に										
ら貸し	出しを行う	5。)の開始	や除籍	図書の提供等	等について	て協議した。								
Œ	主管課事	後評価												
15				り<計画以上進捗を						LI+ 77 # 1 [5	2	が、士國事会	☆レク	Maria のきずに
				書室の電算化 、の協力貸出)							+皮になうに	が、い凶音問	后 C UJ	ヤツハルリフ 高丸1丁
				中・小又は		- 4			55.60	+n+1 == "	2		<u>.</u> .	
				は研究を行った きなかったが								至らなかった	. 市立	区営書館との
	効率性	・経済性に対	付する評価	画(高・中	· 低)						2			
	里由・コミュ	ニティ・セン・	ター図書	室電算化の設	計案は作品	艾できなかった	たが、その	D設計の前提	是となる電算	化要望事項を	·担当者同	士で集約でき	、効≊	室的な研究会
4	D運営がで 総合評価・â	各コミュニテ	ィ・センタ・	-図書室の電	質化につ!.	17は 当初	計画より-	-年遅れる。	ととなったか	、 市立図書館	館との連携#	が平成15年1	きから	開始できる
後質	見込みとな	り、市民満足	度の向し	上が期待できる	5.			, ~, 1, 1, 0	32371013			- 1 T		
評 [審査会事後		11 +1=10		·다하교 나사	 ıı. ≐⊥ः≂		751 1 +>1 11					
Ŧ	進莎状》 里由·	ルズ 計1川() i	三国へめ	り<計画以上進捗を	:含む>' la	いまに囲ぐめ	ツ・ 計画	このリ進ん	CUIGUI)					
価										-				
71		対する評価	(大・	中・ 小又は	なし)									
15	里由·													
		・経済性に対	付する評価	画(高・中	・ 低)									
理	里由·													
絵	総合評価	平成	14年度(の検討結果か	⇒平成15 ⁴	年度の試行	の実績	を踏まえ、ヨ	平成16年度	の本格実施	ものあり方	について検	討す	るべきであ
		る。												

事業 413 事業名 市民参加の推進やNPO等市民活動支援のための条例制定に向けた検討 部内管理

(事業コード)				(部課コード)					401
評価対象事業名	市民参加の技		活動支援のための	部課係名	生活環境部	コミュニ	ティ文化室		
基本計画の掲載	屋 あり		226ページ掲載	記入者名		荒木	俊博	内2515	
計画体系	第8部第1	· 1 - (1) -		歳出科目	一般会言	十款:	項:		
			活動支援のための						
計画事業名	条例制定に		0400004	_		* **			
計画体系	第8部第1・	- (-)	8100361	(_	事項:	□ 市単独		
計画事業名			運営に関する検討	補助区分	国補助	■ 都補助	11年15		
計画体系	第8部第1・		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	関連計画 関係法規	なし 地方自治法				
(対象) 全ての市民及 (意図) 市民参加の推 事業の概要・期間	R(何を、誰を びNPO等 進と市民との	市民活動団体 の協働による市 単年度	(対象をどういう状 政運営を制度的に で 複数年	態にしたいのか 推進する。 度 (始期:	14年度	~ 終期:	** N. D. O. M		6年度)
			のための条例制定)研究所の中で進め		ンター(1反称)	の設直・連	宫、NPU等	∮ へ())	
			当該事務に従	事する実質職員	夏数		0.1 人		
今年度の事業・第			·						
三鷹市まちつ	くり研究所	第1分科会への報	^識 員派遣を行い、第	第1次提言を作	成する。				
今年度のまちづく 三鷹市まちづ			延べ参加者数を行政	政指標とする。					
△後「市民港	兄度 を証価す	スため別途調査等	を行う必要があるまち	づつお煙	1				
他団体の先進的な				フィリカロイ宗	1				
年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	j H14年原	度達成				
事業・業務量			まちづくり研究所 第1分科会 8回開催予定。 第1次提言。	1分科会1 催、第1次 2分科会6	7 回開 提言。第 回開催。				
まちづくり 指標 行政指標 協働指標			まちづくり研究 への延べ参加人 8人						
予算額 _(千円)	0		0	0	0				
決算額 (千円)	0		0		0				
■ 執行率(%) 年間の実施スケシ	0		0		0%				7
	フュール 5月 6月	月 7月	8月 9月	10月	11月 12月	1月	2月	3月	7
,,,	0,1	.,,,,	0/1	1073	,,,,	1/3	-73	<u> </u>	1
当初計画	まちづくり研	究所第1分科会	への参加・1次提賞	言作成					
					 第1次提言(11/	(5)		+	-1
				+		1			>
]	まちづくり研		への参加・1次提	言作成	第1分科	学(市民協	動センター・6	回開催)	1
結 果		(6回開催))		第1分和		- 貨·5回開催)		>
							,		1
					第2分和		本条例:6回原	開催)	1
変更計画の説明 (地域通貨の研究と			研究所第1分科会				協動センター	(仮称)(ヹ の研究と

事業 413 事業名 市民参加の推進やNPO等市民活動支援のための条例制定に向けた検討 部内管理

(事業コード)		401213 (部課コー	- ド)			401
i	平価対象事業名	市民参加の推進やNPO等市民活動支援 条例制定に向けた検討	のための 部課係名	生活	5環境部	コミュニティ文化室	
Г	市に提出する予定 成果に対する 理由·第1分科会 10月から開催され 効率性·経済 理由·第1分科会	面(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼるで市民参加やNPO等支援方策について格をとなった。 評価(大・中・小又はなし)の提言後、市民協動センター(仮称)と地域のたが、全ての会議に職員が参加できたわ性に対する評価(高・中・低)、第2分科会とも相当数会議が開催された。	様々な議論が行われた ご通貨の2グループに名 けではなかった。 が、年度内に具体的な	が、具体的な内かれて研究を述 かれて研究を述 内容の取りまと	容の取りまとめに はめたほか、自治す	2 基本条例を研究する第2分科会も 3 率的な運営とはならなかった。	5平成14年
Ľ	事業事前審查領 進捗状況評価 理由・		計画どおり・ 計画ど	おり進んでいない	1)		
ľ	成果に対する 理由・	評価 (大・中・小又はなし)					
	効率性·経済 理由·	性に対する評価(高・ 中・ 低)					
L	総合評価	今後の、提言の施策化についての課 過や検討内容についての市民への情					検討経

事業 414 事業名 コミュニティ・センターの防災拠点化の推進 部内管理

(事業コード)		401214	(部課コード)					401					
評価対象事業名	コミュニティ・センターの防災拠	点化の推進	部課係名	生活環境部	3	コミュニテ	ィ文化室						
基本計画の掲載	▼ あり	225ページ掲載	記入者名		荒木伯		内2515						
計画体系	第8部第1・2-(1)-	8100212	歳出科目	一般会計	款:	項:							
計画事業名	コミュニティ・センターの防災拠点化	の推進	(款・項・目・事項)	目:		事項:							
計画体系	第3部第4・3-(3)-	3400331	補助区分	□国補助	□ 都補助	□市単独							
計画事業名	学校施設、コミュニティ・センターの防災拠ッ	 点化の推進	関連計画	三鷹市地域防	災計画								
計画体系	第 部第 ・ -()-		関係法規	三鷹市コミュ	ニティ・セン	ノター条例							
(対象) 全ての市民 (意図) 地域の防災活動 事業の概要・期間 新耐震基準以 の防災拠点化を計 今年度の事業・業	・全ての市民 (意図) 地域の防災活動の重要拠点である各コミュニティ・センターについて、防災拠点としての機能を強化する。 事業の概要・期間 ■ 単年度 ■ 複数年度 (始期: 14年度 ~ 終期: 22年度) 新耐震基準以前に建設された大沢・牟礼・井口・井の頭CC分館の耐震補強工事を行うとともに、井の頭CC分離施設の防災拠点化を計画する。また、災害用備蓄倉庫を全てのCCに設置する(現在井口・連雀の2箇所のみ設置)。 「当該事務に従事する実質職員数 1.0 人												
今年度のまちづく 検討委員会、i 今後「市民満知	ニティ・センター分離施設建設 り指標の説明 意見交換会への延べ参加人数を 配置を換会への延べ参加人数を では、を評価するため別途調査等を行い、取り組み成果・参考実績値	を協働指標とす	· る。	で住民との意見	交換会を 3 [回開催する。 							

事業414事業名コミュニティ・センターの防災拠点化の推進部内管理

	業コード)						401214 (部							401
評値	西対象事業	名コミ	<u>ュニティ</u>	・センタ	アーの防災技	処点化の推	進部	课係名	生活環	環境部		ミュニティ文	化室	
事	度別明細 業· 務量	H12年	度	H'		H14年 検討委員会 意見交換会 開催予定。	会3回	H14年度 検討委員会 住民協議会 見交換会21	4回、 との意					
指标	うづくり 票 行政指標 協働指標					検討委員 延べ参加。 200人予算	人数	参加者数 約150人						
予	算額 (千円)		0		0		0		0					
	算額(千円)		0		0				0					
幹	丸行率(%)		0		0				0%					
年同	間の実施。													
_	4月	5月	- 6	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	\dashv
													\longrightarrow	
当初計画				井の頭	ーー 「コミュニテ	<u>-</u>	一分離施記	设防災拠点 	化の検討	計画				
	 					 	+	†			+			\dashv
結果		-		井の頭	 	├ センタ· 	一分離施記	├────── 設防災拠点 ├	化の検討	t	本の目解	住民協議		
<i>→</i>							提出 (9/27)				送付	との意見3 (2/12·2/2	交換会	
								頭CC分離放						
								成に替えて、			建案に対する	5技術的な	問題点・課	題に関
			比协战	云に込	:11) U、ヨa	次兄胜をも ———	CICZHI	こ2回意見る	₹探を打つ) に。				
	理由・現市・ と具体的な 成果に	況評価(長の引退表 意見交換が 対する評価	明に伴い で2回行う (大・	ハ設計の うことがて 中・)素案作成を できた。 小又はなし)	見送ることと	なったが、こ	計画どおり進ん れに替えて提 との意見交換:	案に対する		2			
_	効率性 理由・分離	・経済性に対	付する評 ·素案は(:価(下 作成でき	高 中 低なかったが.	乱) 代替措置と	して技術的な	3見解を作成し	,住民協議	会と効率的な	2	できた。		
													- IB A	- -
後				tとの幸 る。	本的な古息が	杉成かでき、	基本設計'≠	€施設計に向l'	プに準備は	できたか、半成	₹15年度に事 	業を継続96	6場合、71 ム	スケ
評		審査会事 況評価(うり<計画	以上進捗を含む	_ > ほぼ計図	ー 画どおり・ 言	汁画どおり進ん	ー 。でいない)					
価	理由·													
	成果に 理由・	対する評価	(大	中·	小又はなし)									
	効率性 理由·	・経済性に対	付する評	·価(i	高・中・低	Ţ)								
	総合評価	新市	ī長の意	気向を確	証した後、	14年度の村	検討成果を	踏まえ、今後	色の取り組	み・スケジュ	ール等を固	める必要が	ある。	

事業 415 事業名 住民協議会事務局職員の人事任用制度見直しの検討	部内管理
------------------------------------	------

(事業コード)					01215 (部	課コード)						401
評価対象事業	雀名 住民協 計	議会事務	局職員の人事任	用制度見直	しの検 ani	课係名	生活環場	音部	7.5	ュニティ文化	Y.室	
基本計画の提		あり	□なし	227ペ	-ジ掲載記)	λ 老名	±/12%*		 木俊博		52515	
計画体系		第1·2-(3)-			00231 歳		— 自 分 4	会計 款:2総務			_	
пынж			局職員の人事任			41114	/32.2	Q 1 0.7.2 MC 37.	-	K MO377 EL 2	r 54	
計画事業名	討					欧·項·目·事項)		育成費 事項:3~9コ				
計画体系	第 部第	第 · -()	-		補	助区分	□ 国補即	仂 □都補	前助 🔛	市単独		
計画事業名					関注	車計画	なし					
計画体系		第 · -()			11-71	系法規	三鷹市コミ:	ュニティ・セング	ター条例			
(対象) 住民協議 (意図) 住民協議	住民協議会事務局職員 (意図) 住民協議会事務局職員の人材育成と事務局体制の強化を図り、コミュニティ行政を推進する。											
▮事業の概要・፟	期間		□ 単年度	₩ 神	复数年度	(始期:	12年度	~ 終期				
	会事務局職 率的な事務局 を		て、住民協議会 図っていく。	会と協議した	いがら市職	員に準じた。	人事任用制度	度を導入し、資	質向上を	至図る		
A	, Wat = - 1	V = 0		当該事務	に従事す	る実質職員	数		0.5 ノ			
今年度の事業 人事考課			必要な研修を実	€施する。								
今年度のまち 人事考課			実施回数を協 働	動指標とする	,							
			め別途調査等を	:行う必要があ	5 <u>るま</u> ちづく	り指標						
他団体の先進	ҍ的な取り組む	み成果・	参考実績値									
左 库 则 ng/m	山石石田		山石东南	1144年日	- 古	山石石中	`*##					
年度別明細	H12年度 1職務給制度		H13年度 、事考課制度	H14年月 1人事考課		H14年度 1人事考課						
事業·	導入。	σ)導入。	2昇任選考		2昇任選考						
業務量	2研修の実施	施。 2 码	肝修の実施。	3全体研修	の実施。	3全体研修						
						4雇用方針	の見直し					
まちづくり	1 導入	1	導入	1 1回以」		1 2 🗇						
指標 行政指標	2 2回	2	2回	2 1回以」	E	2 2回 3 1回						
協働指標				2 LEI		4 5時間勤	カ務職員					
						の雇用の						
予算額(千円)		0	300		1,438		1,438					
決算額(千円)		0	204		1,430		1,208					
執行率(%)		0	68				94.0%					
年間の実施	フケジー	1					-					
年間の実施	<u>スクシュー)</u> 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	\blacksquare
··· ·	J, J	,,,	.,,	-/-3					.,,		-,,	
					昇任選者	를	人事考課	研修				
当初												
計												
画												
	+	+										+
	考課者研	F修	考課者研	_ :修 昇任選	_ 選考		人事考課	全体研修				
	(第一次)		(第二次)	(±	(査)		昇任選考					
│ 結						(10	(主任))/11)					
*							ルロ) 務職員退職	 81時				
)雇用方針					
変更計画の説	说明 (事後	評価時)										
人事考課制	度の導入に	伴い、住	協統一の考課									
			『施した。また、						è体研修 :	会を開催した	t.	
10月開催の1	王氏協議会選	里絡会で、	5時間勤務職	は貝が定年は	退職等した	場台補充し	ない雇用方針	計を决定した。				

事業 415 事業名 住民協議会事務局職員の人事任用制度見直しの検討 部内管理

7.	- NK 1+ /		101015	/ ÷0 = 1*\		404
(事	[業コード)	<u> </u>		(部課コード)		401
評	西対象事業名	住民協議会事務局職員の人事任用 討	制度見直しの検	部課係名	生活環境部	コミュニティ文化室
	成果に対する 理由・人事考課制 行われた。	面(計画どおり、計画以上進捗を含む・ ・ 「修、人事考課、職員昇任選考、住協 評価(大・中・小又はなし)	6合同による全体の	肝修とも計画どおり	実施できた。	1 (5時間勤務職員が退職した場合補充しない。)が
事		選考や研修会の合同実施により、事	事務局体制のレベ.	ルアップが効率的	に図られた。また、雇	用方針の見直しにより、事務局経費の削減が期待
後		協議会の主体性と自治を尊重する。 見直しなど、共通レベルでの事務局の				よる人事考課が可能になったほか、全体研修の実
評価	進捗状況評値 理由・	面(計画どおり、計画以上進捗を含む>・	ほぼ計画どおり	・ 計画どおり進ん	υでいない)	
	成果に対する 理由・	評価(大・中・小又はなし)				
	効率性·経済 [·] 理由·	性に対する評価(高・ 中・ 低)				
	総合評価	住民協議会事務局における人 本的な見直しを含め、新たな住				き、任命権者の統一を含めた人事制度の抜 行う必要がある。

事業	416	事業名	三木露風の未発表資料の調査・整理や中田喜直の顕彰事業に係る 調査・研究	部内管理
----	-----	-----	--	------

(事業コード)		401216	(部課コード)				401
評価対象事業名	三木露風の未発表資料の調査・整 顕彰事業に係る調査・研究	理や中田喜直の	部課係名	生活環境部	コミュ	ニティ文化室	<u>:</u>
基本計画の掲載	☑ あり	221ページ掲載	記入者名		高木	敏 内251	6
計画体系	第7部第3・3	7300300	歳出科目	一般会計	款:2総務費	項:1総務管	 理費
計画事業名	芸術文化活動の振興		(款・項・目・事項)	目:14文化費	事項:4美術資	資料等収集関係	系費
計画体系	第 部第 ・ -()-		補助区分	□ 国補助	□都補助	▼ 市単独	
計画事業名			関連計画	なし			
計画体系	第 部第 ・ -()-		関係法規				
(対象) 全ての市民 (意図)	(何を、誰を対象に) 意図(対 こより、1三木露風と2中田喜		- ,		教養と文化の	句上に寄与す	る。
事業の概要・期間 三木露風資料(▼ 単年度 の調査整理と中田喜直顕彰事業		度 (始期: 業績の調査、事	14年度 野業計画の提案	~ 終期: 等)の委託を	実施する。	
		当該事務に従	事する実質職員	数	0	.5 人	
今年度の事業・業 調査整理業務	務量の説明 及び顕彰事業調査業務の委託を	- 各1回行う。					
今年度のまちづく	り指標の説明 络の委託回数を行政指標とする) _o					
	足度」を評価するため、別途調査等	等を行う必要が あ	るまちづくり指	標			
他団体の先進的な 	取り組み成果・参考実績値						

三木露風の未発表資料の調査・整理や中田喜直の顕彰事業に係る 事業 事業名 416

調査・研究

部内管理

	業コード)					40121	6 (部課	コード)					401
	面対象事業	名	露風の未発 事業に係る	発表資料の調 る調査・研究	査・整理 [・]				生活環境	急部	コミュニ	ティ文化室	<u> </u>
年	度別明細	H12年	度	H13年度	- I	114年度事	前	H14年月	度達成				
事	業· :務量	1112-	-12	1110-1132	1調2	1調査・整理業務 1調査・整理業務 2顕彰調査業務 2顕彰調査業務 を各1回委託する。 を各1回委託実施した。							
指	5づくり 票 行政指標 協働指標					調査報告書 調査報告書	作成 2		告書作成告書作成				
	算額(千円)						2,085		2,085				
	:算額(千円) 丸行率(%)								1,959 94.0%				
┖	X1 J 夲 (%)								94.0%				
年同	引の実施ス						_						
_	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
当初			委託契約	9	三木露風	 資料調査	整理業務	务			調	查報告	
計			中田喜真	」 [顕彰事業詞	l 調査業務		中田喜	」 直顕彰事	 業検討				
画			委託契約	5		. <						<i>></i>	
結			委託契約	(6/14)	三木露風	 資料調査 中間報告		\$			調	 査報告(2/ 	28)
結果			中田喜賞	.顕彰事業	調査業務		中田喜	直顕彰事	業検討				
			委託契約	(6/19)	ディア 調査 報告(8/30)							
变	巨計画の説	明											
	理由·三木	況評価 (露風資料の	調査整理別	<計画以上進捗を るび中田喜直	[顕彰事業				- ,		1		
				中・ 小又は 調査報告書(と了し、当初日	目標が達り	成できた。			1		
事	理由・三木 業に係る調	露風資料整 査業務実施	理·調査業 返を通じて、	三鷹市と中日	年度に同様 日喜直の遺	族との良好	な関係を、	スムーズに	舌かし、ほぼ効 こ築〈ことがでる 喜直顕彰事業に	きた。	•		
後	要がある。			30, 10+1 <u>0</u> 2	~ // _ //	- 超域(人)に上	,,,,,,,	DIC' THE	1日 欧 17 子 木 1	C JVI CIB.	10 - 20 - 31	CINCINI	<i>y</i> 0,20.
評価	事業事前 進捗状 理由・			<計画以上進捗を	を含む>' (3	ほぼ計画どお	り・ 計画	可どおり進ん	っでいない)				
"	成果に 理由・	対する評価	(大・「	中・ 小又は	なし)								
	効率性 理由·	・経済性に対	対する評価	(高・中	· 低)								
	総合評価		意課の認識 ことが望る		成14年度	の調査結り	果を15年	度以降の	事業に活か	し、より効率	室的·経済的	的なj取り組	みを

事業	417	事業名	大沢五丁目地区公会堂(仮称)新設に向けた施設内容の検討・設計	部内管理
----	-----	-----	--------------------------------	------

コード				4()1217 (部課二	1ード)						401
評価対象事業	名 大沢五丁		会堂(仮称)新	f設に向けた施	設内自	『課係:	名	生活環境	部		コミュニティダ	文化室	
基本計画の掲載			なし	225☆-	-ジ掲載 記	λ 者:				荒木俊	 博	内2515	
計画体系	第8部第1	· -			00213			一般会計	#	款:2総務費	項:1総務管		
計画事業名		会堂の整備	# #				一 目·事項)	目:10地区公会	-				
	-002	公主の正	10			(2V.58.E	n #49)	(仮称)整備事業		P-78.07(//(TT)	HAMMA		
計画体系	第部第	E • -()-		補	助区:	 分	国補助		□ 都補助	▶ 市単独		
計画事業名), H-),	, ,	,			引連計i		なし		Fil 110-11			
計画体系	第 部第	· -()-			[係法		三鷹市地区	公会:	世条例			
事業の目的<				対象をどうい					44	<u> </u>			
(対象)													
	とはじめとす	る全ての	市民										
▮ (意図) ▮ ₩∇ハヘ☆	が未整備の	十 泡五丁	ロに地区ル	\合労た敕佐	<u> </u>	日:千重	かかなす	こた図る					
	Eル・水笠 開い	· Д (ДД)	TICTED 2	女子で定権	נוו ייטוּ	一尺/白里	カリンプレラ	₹ 조 점3°					
事業の概要・	期間	F	単年度		数年度	(始	期:			~ 終期:			
大沢五丁目	地区公会堂							īう。					
				当該事務	に分車:	ਰਟ⊄	- 医神马	米 h			.5 人		
今年度の事業	・業務量の記	说明		コல争伤	にル尹	ッる夫	貝唨貝	. XX		·			
	の意見交換		、調整会議	養を2回開催	し、設	計を算	実施する	5.					
<u> </u>		- 											
今年度のまち	つくり指標() 3、調整会議		数を協働地	€煙レオス									
总元又]关艺	3、 则走女哦	те	致,で 加 到];	11示しりる。									
	満足度」を評値			行う必要があ	るまちづ	くり指標	亜						
他団体の先進	的な取り組∂	⊁成果・参	考実績値										
年度別明細	H12年度	H.	13年度	H14年	度事前		Н	14年度達成					
				1意見交換:	会 4 미	開催		交換会 5回	開催				
事業・				2調整会議	2 回厚	開催							
業務量				3設計									
まちづくり				1 意見交				見交換会への					
指標 行政指標				べ参加人数 2 調整会				人数約100, 整会議未開催					
1]以指標 協働指標				参加人数40		E'\		置云硪不用作 計案未作成	主				
W. E (1#)				3 設計案			3 1121	1136/1177					
予算額(千円)		0	0			2,000		2	2,000				
決算額(千円) 執行率(%)		0	0 0						0.0%				
年間の実施ス	ケジュール	U	U						0.0%				
4月	5月	6月	7月	8月	9月	1	10月	11月	12F	1月	2月	3月	
						_							
N/	<u> </u>		÷		素案作品	ኔ							
当 初	地π	任氏との意	意見交換会										
計					\leftarrow	+#ı -	テ仕足と			→			
∥≝∣						167	UITIC	. 沙胸亚女哦		\leftarrow			
-											設計		
]
	+₩=	(4日にか)	ᅌᄆᅔᄱᄼ									+>	
4±	地元 地元	住氏との	意見交換会										
結 果													
^													
変更計画の説明			t 100 - 1	n+1									
┃ 地区公会堂月	月地の確保を	めくる調素	[≧] が遅れ、i	分計までには	全らなれ	かった。)						
I													

事業 417 事業名 大沢五丁目地区公会堂(仮称)新設に向けた施設内容の検討・設 部内管理

(重	(業コード)		401217 (部課コート	3)	401
H	而 分更类夕	大沢五丁目地区公会堂(仮称)新設に容の検討・設計		生活環境部	コミュニティ文化室
	主管課事後評信 進捗状況評価 理由·地区公会堂	_		〕進んでいない)	3
		評価 (大・中・小又はなし) の意見交換会は5回できたが、設計案	その作成までには至らなかった	-0	3
事		性に対する評価 (高・中・低) の意見交換を5回行ったが、設計案の	作成までに至らず、効率性に	欠けた。	3
後	総合評価·地区公	会堂用地の確保という基本条件がま	だ満たされないため、今年度の	の事業は打ち切りとなり、平成	15年度の予算再計上が課題となっている。
評価	事業事前審查名 進捗状況評価 理由·	会事後評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・	ほぼ計画どおり・ 計画どお	〕進んでいない)	
	成果に対する 理由・	評価(大・中・小又はなし)			
	効率性·経済 [・] 理由・	性に対する評価(高・ 中・ 低)			
L	総合評価	新市長のもとで、今後の地区公会	会堂の整備方針を踏まえ <i>た</i>	:検討が必要と思われる。 	

事業 418 事業名 地区公会堂のバリアフリー化の推進(上連雀堀合地区公会堂身体 暗内管理 でま者用トイレ設置工事等)

(事業コード)		401218					401
評価対象事業名	地区公会堂のバリアフリー化の推 地区公会堂身体障害者用トイレ設		部課係名	生活環境部	コミュ	ニティ	文化室
基本計画の掲載	☑ あり □ なし	225ページ掲載	記入者名		荒木俊	博	内2515
計画体系	第8部第1・2-(1)-	8100213	歳出科目	一般会計 款	欠:2総務費	項:	1総務管理費
計画事業名	地区公会堂の整備		(款・項・目・事項)	目:10地区公会堂費事	項:1地区公:	会堂維持	持管理費
計画体系	第 部第 ・ -()-		補助区分	□国補助	┛ 都補助	市	単独
計画事業名			関連計画	バリアフリーのa	まちづくり		
計画体系	第 部第 ・ -()-		関係法規	三鷹市地区公会室	堂条例		
(対象) 障害者・高齢 (意図) 地区公会堂を。 事業の概要・期間 全ての地区公会	(何を、誰を対象に) 意図(対 者をはじめとした全ての市民 より利用しやすい施設とし、市 □ 単年度 会堂に身体障害者用トイレを記 在整備済みの地区公会堂は、1	5民活動の充実 ▼ 複数年 设置し、出入り 18箇所。全体で	とバリアフリー 度 (始期: 口の段差解消等 では30箇所のバ	-のまちづくりを打 13年度 ~ 手のバリアフリーイ リアフリー化を予	· 終期: 化の工事等 定。)		22年度) Eする。
▲ 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 も も も も も も も も も も も も も	컜륃ᄼᅼᄱ	当該事務に従	事する実質職員	. 数	0	.5 人	
今年度の事業・業 上連雀堀合地[務重の説明 区公会堂に身体障害者用トイレ	ンを設置し、出	入り口の段差触	解消工事を行う。			
今年度のまちづく 整備数を行政							
	度」を評価するため別途調査等を行	う必要があるまち	づくり指標	地区公会堂の利用者			
他団体の先進的な 	取り組み成果・参考実績値						

地区公会堂のバリアフリー化の推進(上連雀堀合地区公会堂身体 事業 事業名 418

部内管理 障害者用トイレ設置工事等) (事業コード) 401218 (部課コード) 401 地区公会堂のバリアフリー化の推進(上連雀堀合地 コミュニティ文化室 評価対象事業名 部課係名 生活環境部 区公会堂身体障害者用トイレ設置工事等) H14年度達成 年度別明細 H12年度 H14年度事前 H13年度 北野地区公会堂 上連雀堀合地区 上連雀堀合地区 事業· 身体障害者用 公会堂身体障害者 公会堂身体障害者 業務量 トイレ設置。 用トイレ設置等。 用トイレ設置等。 まちづくり 身体障害者 身体障害者 身体障害者 身体障害者 用トイレ設置数 用トイレ設置数 用トイレ設置数 用トイレ設置数 指標 行政指標 17箇所 18箇所 19箇所 19箇所 協働指標 予算額(千円) 0 3,938 2,798 2,798 決算額(千円) 0 2,008 1,418 執行率(%) 0 51 50.7% 年間の実施スケジュール 5月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 4月 6月 7月 2月 3月 当 調整 設計 契約 工事 初 計 画 \rightarrow \leftarrow \leftarrow 調整 設計 契約 工事 結 (7/3)果 変更計画の説明 主管課事後評価 進捗状況評価(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) 理由・調整から工事竣工まで当初計画どおりに進んだ。 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・身体障害者用トイレの設置だけでなく出入り口の段差解消も行われ、まちづくり指標どおりのバリアフリー化が進んでいる。 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 1 理由・競争入札により工事契約したため、予算額の50.7%で事業執行ができた。 事 総合評価・上連雀堀合地区公会堂で行われているミニデイサービス事業の円滑化が図られ、今後他の地区公会堂でもバリアフリー化を推進する ことにより、福祉関係団体の利用増をはじめ地区公会堂利用者の市民満足度の向上が期待できる。 後 事業事前審査会事後評価 評 進捗状況評価(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) 理由· 価 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由· 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由· 今後のバリアフリー化の推進に当たっては、これまでの整備結果について利用者の評価を得るなどの検証を行 総合評価

い、地区公会堂の利用状況等も十分検討しながら取り組みことが望ましい。

事業	419	事業名	コミュニティ行政に関する調査研究の実施	部内管理
----	-----	-----	---------------------	------

(事業コート	,					(部課	コード)					401
評価対象事業	業名 コミ	ミュニティ	行政に関する	る調査研	究の実施	部課係	系名	生活I	環境部]	ティ文化室	
基本計画の挑	易載	▽ あり	口なし		225ページ掲載	記入者	名		ж-льы»	荒木俊博		5
計画体系		_ 3部第1・2			8100222			一般会計	計 款:2	総務費	項:1総務管:	
計画事業名	住目	民協議会と地域	・・・ 或のNPO等とのネッ	トワークづくりへく				目:12コミュニ	ニティ育成費 暑		ニティ推進費	
計画体系			• -()-			補助区		□国初			▼ 市単独	
計画事業名		A 1-	()	I		関連言	+画	なし				
計画体系	第	部第	• -()-			関係法			ミュニティ・1	センター条	例	
事業の目的<				(対象をど	ういう状態にした	こいのか)>			/	17.5	
(対象)	: A T = v' \	D 0 000										
┃ 任氏協議 ┃ (意図)	会及ひN	10争巾	民活動団体									
	のコミュニ	ティ行政	の検証と見る	直しを行い	1、新たなコミ	ュニティ	行政の活	性化を図	る。			
									•			
事業の概要・			□ 単年		☑ 複数年			14年		終期:		
コミュニテ	イ研究に	関わる全	国的な研究	会となる:	コミュニティ政	策学会	に参加し、	他の自治	合体の事例の	开究等を行	<u>-</u> Γ1′	
NPO等市民	も団体と0)連携なる	とコミュニティ	活動の 新	たな活性化気	を付き	じする。					
				<u> </u>	当該事務に従	事する	実質職員:	数		0.	5 人	
今年度の事業								~~~			- / .	
市長·職員	員が6月に	こ愛知県	で開催される	コミュニラ	ティ政策学会は	参加す	ける。					
今年度のまた	さづくい	と 煙の 鉛	пЯ									
			。 参加人数を行	政指標と	する。							
								•				
					必要があるまち	づくり指	標					
他団体の先近	重的 (4)	リ組み放	米・梦写天	領但								
年度別明細			H13年度		H14年度事前		H14年度					
事業・	コミュニ				ュニティ政策 ≧参加		ミュニティ〕 会参加	以東				
業務量	10開催			- -z	₹ ≥ //µ	1	五多加					
314333		,										
まちづくり	シンボ				女策学会参加:		政策学会	参加者				
指標	参加者数 400人	X		釵	2人	欽	[2人					
₩ 行政指標 協働指標	400人											
133 126 3 11 133												
予算額(千円)		1,312		0		10		10				
決算額(千円)		1,051		0				10				
■ 執行率(%) 年間の実施ス	ノケンジュー	80		0				100.0%				
4月	、ファ <u>ュー</u> 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
74			ティ政策		711 55							
当 初 計		学会参	: <u>// </u>	調査	けれる □ □ □ □ □ □ □ □ □							
計												
画												
											+ +	\dashv
		コミュニ	- ニティ政策								\longrightarrow	
l		学会参		調査	研究							
┃結 ┃果		(6/29	30) I									
未												
変更計画の記	兑明											

事業 事業名 コミュニティ行政に関する調査研究の実施 419 部内管理

(事	(業コード)			401219 (音	R課コード)			401
,	<u>次了</u> 西対象事業名	コミュニティ行政に関	する調査研究の写		[[]] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] []	生活環境部	コミュニテ	
+	会等が行われた/ 成果に対する 理由・29日は、三 をしたほか、理事 効率性・経済	(計画どおり<計画以上 30日の2日間にわたり愛 が、その後の調査研究に 評価(大・中・小) 5鷹市長が宝塚市長、犬し	知県豊田市でコミュ ついては、企画検討 又はなし) 山市長とともにコミュ 中・低)	ニティ政策等 け段階で成果 ニティ政策に	物も未発表であ 関する鼎談を行	が開催され、シンス さる。 「 テった。30日は、生	1 E活環境部次長が分 3	科会で事例発表
事後評価		ベルでのコミュニティ研究	₹.情報交換の場とし	って貴重であ		究成果が本市で活		
価	成果に対する 理由・	評価(大・中・小り コミュニティ政策学会 性に対する評価(高・	に参加したことに	よる成果を	明らかにする	 ことが望ましい。 		
	総合評価	コミュニティ政策学会 望ましい。	への参加に加え、	コミュニティ	行政の改革	につながる調査(研究のあり方を検	討することが

(事業コード)		402220	(部課コード)		402
評価対象事業名	建築物の省エネルギー対策の	促進	部課係名	生活環境部	環境対策課 (局·室)
基本計画の掲載	☑ あり □ なし	143ページ掲載	記入者名	箕輪 泰	内2523
計画体系	第4部第1·3-(2)-		歳出科目	一般会計 款: 4	衛生費 項:1保健衛生費 目:
計画事業名	建築物の省エネルギー対策の	促進	(款・項・目・事項)	5公害対策費 事I	頁:5環境学習事業
計画体系	第 部第 ・ -()-		補助区分	□ 国補助	🔽 都補助 🔽 市単独
計画事業名			関連計画		
計画体系	第 部第 ・ -()-		関係法規		
計画事業名					
	(何を、誰を対象に) 意図(対象を	どういう状態にした	こいのか)>		
(対象)					
市民、事業者					

建築物の省エネルギー対策の促進

(意図)

事業

420

事業名

市民・事業者等を対象とした省エネルギーセミナー等を開催し、省エネルギーの必要性、効果、対策などの啓発・情報提供を

平成22年度) 行い、省エネルギー対策を促進する。

> 当該事務に従事する実質職員数 0.3 人

部内管理

今年度の事業・業務量の説明

環境映画の上映(6月)省エネ講座(7月)

今年度のまちづくり指標の説明

参加人数。

| 今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標 他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値

事業 420 事業名 建築物の省エネルギー対策の促進 部内管理

그	*)				4022	402220 (部課コード)						402
対象事	業名	建築物の省	ゴスルギー対策	食の促進			課係名	生活環境	部	環境対策認	果 (局·室)	
年度別明約	0	H12年度	H13年度	ш	14年度事	台	H14年度	连击				
十支加州	Щ	1112千皮	1113千段		快画の上		環境映画の	2年ル				
中光						' *						
事業・				自士	ネ講座		省エネ講座	೬を美施 ┃				
業務量							した。					
づくり				映画	: 130,	人	映画:13	3 0人				
				講座	: 30,	人	講座: 2	2 3人				
行政指标	票											
協働指標												
1.515 1.515 1.51												
予算額(千月	D)					181		181				
決算額(千月						101		180				
執行率(%								99.40%				
∓/\1 J 'T' (%)							33.40%				
年間の実施	ロスケジ	ュール										
4月	5	6月	7月	8月	9月	10	月 11月	12月	1,5	2月	3月	
		環境時	画 省エネ講									
		の上時	・ 座									
当												
初												
計												
画												
		環境的	恒			省工	ネ講					
		の上時	ŧ l			座						
			`									
結												
結 果												
計画σ	前田	(中間評価	時)									
		オコミュー	ティ・センター	の都合	に合わせ	<i>t- t-</i> λ	h .					
2-%	<i>,</i> • +	10-1-	, , _, ,	O) HI H	СПІОС	, , , , ,	7 0					
主管課	事後評	価										
			うり<計画以上進捗を含	tì>· ほ	ぼ計画どま	31).	計画どおり進ん	んでいない)			1	
)と省エネ講座(10				110000					
2 3	ルバロ、) <u> </u>		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	~ nb o rc.							
成里	15 44 4	る評価 (大・	中・ 小又はな	1.)							1	
			ネ講座は当日キ		があったが	2 3 J	の参加があり	省Tネルギ	一の必要	5性等の啓発	•	
2 3	76-7C=1	G 13 07 (, , ,,,,	0001010	- 3/(.00 2000	(<u> </u> _ 1///	٠, ١	(II () () II /	,,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
が落	性,经活	経に対する評	価(高・中・	任)							1	
			場を利用すること		済性を高め	カた			_		•	
~=		JACORVIA	- 20 C (1371) 7 O C C (_ C / NI	.,,기 1고 다 [리 (J / C 0						
総合証値	新·瑞培·	中画についてい	は、平成13年度同	様満度 の) 壮能 省7	ス議の	並(Tコ・クッキ	ング数字)につ)I.171+	・ 23人と定員	員(30人)に け	t
			こは好評であった。	- 12K/ml/3Kl	//////////////////////////////////////	* 1 * 12 1*9 /2	エ(エコ ノノト	ファ 教主)に	J V 1 C 16	. 23/CALS	2 (3 0) () ICIB	•
		会事後評価	-100 1/6									
			うり<計画以上進捗を含	_{tì} , ∓	ぼ計画どま	\$1).	計画どおり進	んでいたい				
理由・	1/////	ш (пресо	プラマ 回以工進抄を占	ก> Ior	A	,,	可固とのう進ん	10 (11,201)				
│ │ _{──} ≡	u= 하라 라 :	ェ 証/価 / ★.	中・ 小又はな	1.3								
型由· 理由·	י ל נגשו:	ощщ (八 '	十二 小又はな	<i>O</i>)								
おれな	州,级3	ᆥᆉᇎᇎᆉ	·価/ 宣. 巾.	任)								
	11 / (全)	引生に刈りる計	価(高・中・	1170)								
理由・												
総合評値	Th.	重業スの+	のはませんがき	かた 伊ァ	ハスか ゴ	÷+⊓≠≠	ニーマン・ケー・	.た宝佐 オ ァ	☆ ビ ±	75十一学も	バビの揺に士	E A
一百十二	щ		のは市民の好記 一の取り組みに							・ミノー守り	・この仮に口	元の

事業421事業名グリーン購入の推進部内管理

(東東 15) 400001(前年 15)													
(事業コード)	/ \$	· - 1854	402221	(部課コー	ド)					402			
評価対象事業名	グリーン購ん			部課係名	生	活環境語	部 環境	竟対策課	(局·室)				
基本計画の掲載	あり	□ なし _	144ページ掲載	記入者名		箕輪 🤻	泰		内2523	3			
計画体系	第4部第1.5	-(1)-	4110512	歳出科目	-	般会計 詩	欠: 4衛生	費 項:1保	建衛生費 目	∄:			
計画事業名	グリーン購ん	入の推進		(款・項・目・	事項) 5公割	官対策費	事項:5環		_				
計画体系	第4部第1·1	-(1)-	4110111	補助区分		国補助	□都	補助 🔽	市単独				
計画事業名	環境基本語	計画」の策定	1	関連計画									
計画体系	第 部第 ・	-()-		関係法規	国等	における	環境物品	等の調道	の推進等に	-			
計画事業名					関す	る法律							
事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)> (対象) 市職員 (意図) 庁内における印刷物等の再生紙使用の徹底、物品の購入におけるリサイクル製品の優先購入を図る。													
事業の概要・期間 □ 単年度 ▼ 複数年度 (始期: 平成14年度 ~ 終期: 平成22年度) 環境への負荷の少ない製品の購入を推進する。また、巾職員の環境に対する意識を変えるため、「グリーンニュース」の発行などにより啓発する。													
当該事務に従事する実質職員数 0.4 人													
今年度の事業·業務量の説明 「グリーンニュース」の発行をする。再生品の物品購入状況の把握(8~9月)													
今年度のまちづくり指標の説明 公共施設におけるコピー用紙のグリーン購入率を、平成18年度までに、平成12年度比10%増にする。													
今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標													
他団体の先進的な	取り組み成り	果·参考実績値											
年度別明細	112年度	H13年度	H14年度事前	H1	4年度達成								
事業· 業務量			「グリーンニュ ⁻ スの発行 再生品の物品購 <i>,</i> 状況の把握	ス」を 入 再生品	リーンニュ: 発行した。 品の物品購 E把握した:	, \							
まちづくり 指標 行政指標 協働指標			グリーン購入率 ⁷ 平成18年度ま ⁷ 、平成12年度し 10%増にする。	でに 13年度 比 12年度		% 2							
予算額(千円)				5		5							
決算額 _(千円)						5							
執行率(%)					10	00%							
年間の実施スケジ													
4月 5	月 6月	7月 8	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
			「グリーン	 /ニュ ー ス	 の発行								
当	◀—		- 	 		+			 				
当 初 計 画													
画			再生品の物品購 入状況の把握										
		—	ハイバルしつコロガ生										
						+							
			「グリーン	゚ニュース	」の隔月((偶数月) の発行						
結	—								 				
果	,		 再生品の物品購										
			入状況の把握										
		 	-										
亦再計画の部門	(山田≕7年)	1 ± \	,		<u> </u>								
変更計画の説明 (中間評価時) 「グリーンニュース」の紙面の内容の充実を図る。													

事業 421 事業名 グリーン購入の推進 部内管理

	- F)			402221	(部課コード)			402					
評	面対象事業	業名 グ	リーン購入の推進		部課係名	生活環境部	環境対策詞	课 <u>(局·室)</u>					
事後評	主 理 理ら、理が総し事 はから 理が総し事 地 は、「ピー・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	後評価 (計画どおり、計画以 5 り、 隔月 (偶数月) 面 (大・中・ /) ース」の継続的な発のいては、グリーン 購入 ご対する評価 (高 で あり、 で あり、 部	上進捗を含む>・ ほぼ計画どおりに「グリーンニュース」を発行と へ又はなし) 「テにより、職員のグリーン購入 「入率が上がっている。 ・ 中・ 低) 未満)の課・施設が多い部署に こバラツキがあった。)・計画どおり進/ 再生品の物品購入 に対する意識啓発 は「財団等」で、良く 15年度にはGPN:	がでいない) 状況の把握をした をすることができた 配慮している(グリ データブックを各課	。 。 グリーン購入部 ーン購入率100	1 1 調査の結果か 2 %)課·施設					
価	進歩状況評価(計画とのり<計画以上進捗を含む>・ はは計画とのり・ 計画とのり進んでいない)												
Ī	事業	422	事業名	公害に関する情報提	供の充実			部内管理					

(事業コード)		402222	(部課コード)			402						
評価対象事業名	公害に関する情報提供の充実		部課係名	生活環境部	環境対策	:課 (局·室)						
基本計画の掲載	☑ あり □ なし	148ページ掲載	記入者名	箕輪 泰		内2523						
計画体系	第4部第2·1-(2)-	4120121	歳出科目	一般会計 款:4	衛生費 項:11	保健衛生費 目:						
計画事業名	公害に関する情報提供の充実		(款・項・目・事項)	5公害対策費事	項:2公害対策	货事務関係費						
計画体系	第 部第 · -()-		補助区分	□ 国補助	□ 都補助	▼ 市単独						
計画事業名			関連計画									
計画体系	第 部第 ・ -()-		関係法規									
計画事業名												
(対象) 市民、事業者 (意図) 環境測定データなど公害発生の状況や公害防止に関する情報提供の内容の充実を図るとともに、ホームページの作成など インターネット等を利用した情報入手機会の拡充を図る。 事業の概要・期間 □ 単年度												
当該事務に従事する実質職員数 0.2 人 今年度の事業・業務量の説明 「環境保全のあらまし」の作成(10~11月) ホームページの作成(10~11月)												
今年度のまちづくり指標の説明 ホームページへのアクセス件数。 今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標												
	E度」を評価するため、別述調査等を 取り組み成果・参考実績値	1丁フ必安かのるよ	り ノ(リ拍信									

事業 422 事業名 公害に関する情報提供の充実 部内管理

(事	業コード)								40222	22 (音	お課コー	- F)						402
評值	対象事	業名	公害	こ関す	る情報	収提供(の充詞	実		部	課係名	7	生活	環境	部 環	境対策課	(局·室)	
事業	<u> </u>	Н	12年度	Ŧ.	「環境	<u>13年度</u> 竟保全の ノ」の作	Dあ F成	「環境 し」 <i>の</i>	4年度事 記保全のあ O作成 Aページの	561	「環境	」を作成 ムページ	あら した。					
指標	づくり ! 「政指標 B働指標						j	アクセス件	;数:120	件	中のた	ムページ こめアク : 0件						
	算額(千円) 第 9 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7						52			294			294					
	章額 _(千円) 行率(%)					25	.0%	_					294 100%					
	の実施	7 ケミジ・	- II.				. 0 /0						100%	ı				
4-15	4月	5		6月		7月	8	3月	9月	1	0月	11月	12	2月	1月	2月	3月	
当初計画	.,, 3			<i>5,</i> j		.,,		, J	υ, j	「現 し」 ◆	環境保全 の作品 ホーム の作成	全あらま	•	-/ J	.,,		0, 3	
結果										√	の作品	····				● の作		•
	三計画の語 プップは15 主管課事	年7月	予定。	<u> </u>	ジの作	作成が、	全庁	的なが	⊼ー ムペ-	- ジの	見直し	,時期とる	あわせ	て年度	またな	ってしまっ	た。市民等	^
事後	進捗、環境 は 1 4 年 は が は が は で は が で で で で で で で で で で で で	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	() の民評の 性の 4年ペート は サイン () まずい は まずい は まずい まずい は まずい まずい は しゅうしゅ かい しゅうしゅ かい しゅうしゅ しゅうしゅ いいしゅう はい かいしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はんしゅう はんしゅん はんし	まりのか・の か・の 評に こうじょう	作成及が不中・配布(配布(である) である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	なび配布(をになった 小又は こよって 市 は、 庁 内 ページに	は計画 た。(1) な民等 い 印刷 よる計	画どおり 5年7月 に対す む、 で対応 お民等/	司市民等へる情報提供	一ムの提供を行経済が	ページに 供開始 [・] った。 生の効果 拡充は ^で	t全庁的見 予定。) 早はあった できなかっ	見直し 時 。 。 。 。	特期とあ 平成1∶	5年度から		_	
評価	事業事前 進捗》 理由·	事查? 《祝評》	会事後 動(計	:評価 画どま	うり<計画		を含む>	.· (₹)	ぎ計画どお]	
	効率性 理由 · 総合評価	生·経済	ホー <i>L</i> 活用し	ムペー Jた効	ジの 摩性の	の高い情	1月と 青報扱	計画し 提供の	実現の点	では	十分な	ものとは	いえた	٤L ١.		たため、が] マームペー: される。	ジを

事業 423 事業名 自動車公害対策の推進 部内管理

(事業コード)					402223	引(部調	(コード)						402
評価対象事業	名 点到	. .			10222	部課		生さず	四1本六7	T== 1	+	/B 🖶	102
基本計画の掲	口到		対策の推進 ☐ なし		440.0 >>===			生活理			竟対策課		2
<u>奉本計画の拘</u> 計画体系		∠ あり _			148ページ掲載 4120211				輪泰		弗 西4/中	内252 健衛生費	
計画事業名		部第2・2・((<u>')-'</u> 対策の推進		412021							^{姓倒王員} 務関係費	⊟.
計画体系		3年公古X 33第1·1-(4110121		項·目·事項) 区分	☑ 国神			<u>古刈坂事</u> 補助 □		
				画の等号					1 D/J	L Hh	THB EVJ	115 + 22	
計画事業名			<u>対策実行計</u>	一 の東ス	<u>E</u>	関連							
計画体系計画事業名	男 岩	部第 ・ -()-			関係							
事業の目的、対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)> (対象) 市、市民、関係団体等 (意図) 自動車使用の抑制や低公害車の導入、アイドリング・ストップの励行など、自動車公害の防止に向けた総合的な取り組みを推進する。													
事業の概要·期間 □ 単年度 ▼ 複数年度 (始期: 平成13年度 ~ 終期: 平成22年度)													
自動車使用の抑制や低公害車の導入、アイドリング・ストップの励行など、自動車公害の防止に向けた総合的な取り組みを													
自動単使用の抑制や低公害単の導入、アイトリング・ストップの励行など、自動単公害の防止に向けた総合的な取り組みを推進する。													
				当	該事務に従	事する	実質職員	数			0.2	人	
当該事務に従事する実質職員数 0.2 人 今年度の事業・業務量の説明													
	学年度の事業・業務重の説明 環境基本計画の冊子の配布や広報掲載により、低公害車の導入や自動車公害の防止に向けたPRを行う。												
今年度のまち 公用車に			割合。										
			+ 4 即会部	本祭ナなこ	ᄽᄑᄯᆂᅩ	+ ~ 11	1 +匕 +而						
一 労後 市 一 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円			ため、別途調: ・参老宝績値		必要かめるま	(5°)(1	1指標						
	117.642.71	H077327K		=									
年度別明細	H12年	由	H13年度		114年度事前		⊔1 /4	丰度達成					
<u> </u>	пі24	反	□Ⅰ3牛皮		114年及争覧 舌動の実施		PR活動		*				
事業·					上計画の冊		計画の冊						
業務量				配布	・広報掲載)	広報掲載)を実施					
							た。						
まちづくり				公用耳	車に占める [・]	低公	公用車に	占める低・	公				
指標				害車の	の割合を平	成 1	害車の割						
行政指標					度までに、 ■ 度比 1 0		12年度	10.5%					
協働指標				にする		%店	14年度 12年度比	12.4% 1.9%增	,				
				,,,,	-		12 1 1200	1.070-2					
予算額(千円)						15			15 15				
決算額 _(千円) 執行率 _(%)								1(00%				
年間の実施ス	ケジューリ	l _z							7070				
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12F		1月	2月	3月	
当初				Р	 R活動の実	施							
初			(環境基	本計画の	冊子の配布	・広幸	段掲載)						
計■												┼	•
									+				
結果				当初計画	のとおり	実施							
果						- 440							
	НВ												
文丈山凹い部	. ~ /⊃												

事業 423 事業名 自動車公害対策の推進 部内管理

(重	(業コード)		402223 (部課コード)	Τ	402						
\ 3	西対象事業名	自動車公害対策の推進	部課係名	生活環境部	環境対策課 (局·室)						
	を行った。平成15 成果に対する	-	より、自動車使用の抑制や低 事業者を対象にディーゼル規	公害車の導入等自動 制説明会を開催する予							
 事		性に対する評価(高・ 中・ 低))車輌価格は高いが、購入について国の補	前助金を受けることで経費の何	低減を図った。	1						
ľ	総合評価·広報等 実防止設備資金(FによるPRを継続する他に、ディーゼル車を 昔り入れに対する利子補給要綱を改正した。	対策として粒子状物質減少も た、今後も、自動車公害の防!	も置の装着を対象とす 止に向けて積極的に進	るため、三鷹市中小企業公 Eめていく.						
接	書防止設備資金借り入れに対する利子補給要綱を改正した。今後も、自動車公害の防止に向けて積極的に進めていく。 事業事前審査会事後評価 進捗状況評価(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) 理由・										
価	成果に対する 理由・	評価 (大・中・小又はなし)									
	効率性·経済 [・] 理由・	性に対する評価(高・ 中・ 低)									
	総合評価	公用車における低公害車の導入にてまた、公用車に占める低公害車の割果の指標を検討することが望ましい。	合以外に、市民・事業者		- · - · - · · · · · · · · · · · · · · ·						

事業 424 事業名 ダイオキシン類対策の推進 部内管理

(事業コード)	402224	(部課コード)	402									
評価対象事業名	ダイオキシン類対策の推進	部課係名	生活環境部 環境対策課 (局·室)									
基本計画の掲載	あり	記入者名	箕輪 泰 内2523									
計画体系	第4部第2·2-(1)- 4120212	歳出科目	一般会計 款: 4衛生費 項:1保健衛生費 目:									
計画事業名	ダイオキシン類対策の推進	(款・項・目・事項)	5公害対策費 事項:3環境調査及び測定関係費									
計画体系	第 部第 · -()-	補助区分	🔲 国補助 🔛 都補助 🔽 市単独									
計画事業名		関連計画										
計画体系	第 部第 · -()-	関係法規	ダイオキシン類対策特別措置法及び汚染に係									
計画事業名			る環境基準									
事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)> (対象) 河川(野川、仙川と神田川) (意図) 水質中にあるダイオキシン類を測定することにより、環境汚染の状況を把握する。 事業の概要・期間 □ 単年度 ▼ 複数年度 (始期: 平成14年度 ~ 終期: 平成22年度) 野川、仙川と神田川の水質中にあるダイオキシン類を測定することにより、環境汚染の状況を把握する。 (平成14年度は河川、平成15年度は大気、平成16年度は土壌と3年サイクルで実施する。) 「当該事務に従事する実質職員数 0.1 人												
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	今年度の事業·業務量の説明 河川調査(3ヵ所の測定)(11月) 今年度のまちづくり指標の説明											
	程度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるま	ちづくり指標										
他団体の先進的な	取り組み成果・参考実績値											

 事業
 424
 事業名
 ダイオキシン類対策の推進
 部内管理

(事	(業コード)						4022	24 (部記	果コード)		402				
評	西対象事業	名 ダイ	オキシン	類対策の推	進			部語	條名	生活環境	第二 第二章	環境対策課	(局·室)		
年	度別明細	H12年	丰度	H13年度	ž	H1	14年度事	萴		度達成					
Ш.							周査 (3	ヵ所		(野川、仙					
	業.					の測定) 川、神田川)を実施									
第	養務量					した。									
ш															
Щ.	1														
	ちづくり					国の環境基準 調査結果の数値 1 pg - TEQ / L 以下 野川: 0.47									
	標					i pg -	- IEQ / L	. 以下	野川:0.4 仙川:0.1						
ш	行政指標 協働指標								1Щ/ . U. 神田川:0						
ш	加到1日1示									g - TEQ/L)					
ш									(+12.6	·9 . L. 4, L)					
1	P算額 (千円)							815		815					
	算額 (千円)									394					
	執行率(%)									48.30%					
	間の実施ス	ケジュール								•					
	4月	5月	6月	7月	8,	月	9月	10月			1月	2月	3月		
									河川調						
当									(3ヵ の測定	<u> [] </u>					
当初									の別た	/					
計															
画															
Н										+				\blacksquare	
									_						
L_+					\ \ _\	· += -		12 ch +4-							
結果					=	例計世	面のとおり	リ実施							
*															
<u> </u>															
	更計画の説	明													
⊢	主管課事	後評価													
			計画どおり)<計画以上進捗:	を含む>	. ほほ	(計画どま	らり・ 計	一画どおり進ん	しでいない)		1			
	理由·11月	14日に調	査した。(野	別、仙川、神	田川))									
		₋ . -									_		1		
				中・ 小又は ヾて国の環境		古土港の	り粉値で	±11 字≥	ᄾᄴᅕᅑᅒᅎ	:±+		1			
	连田 测定	グ和木、3ヶ	JUIC 2 9 ,	、 C国の場場	李午	旦不冲∪	の数値で	めり、女主	土住在唯祕し	C /C.					
	効率性	・経済性に対	対する評価	i(高·中	· 低	;)						1			
事	理由·相見	積もりにより	、予算額の	D約半分で測	定調査	査の執行							1		
١			安全性を研	隺認するため	、今後	も積極	的に進め	ていくこ	ととする。また	上平成15年度	も、相見積	もりにより調	査費用の節	約に	
後	努めること		// * = /==												
<u>+</u>	事業事前					,_,-	+1 10 1	اند داد	= 11 + 121 + 1				Ì		
評		沈評1曲(計画とおり)<計画以上進捗	を含む>	· はは	ま計 凹とま	がい 計	一回とおり進ん	ひでいない)					
価	理由·														
''''	成果に	対する評価	(大・	中・ 小マは	なし										
	成果に対する評価 (大・中・小又はなし) 理由・														
		・経済性に対	対する評価	i (高・中	· 低	;)									
	^{理由·}														
	₩△ ≒/≖	₹	での部分に	+は月土! ハロ	71140	ュレキ		t # .	(++>.\.@	明が汁ロナ	hz19 /	- 后生空光	才 2 夕 却:	本 } +	
	総合評価									題が注目さ		、毋中美肔	9 6合調	直刈	
		豕0.	/ 胴旦 編え	トに ノいし、	יוכ וכ	窓る甲	戊に恨り	ᄣᄞᆚᄉᄼᆙ	₹ 報旋洪役	<u>行う必要があ</u>	ව.				

事業 425 事業名 過剰包装・使い捨て商品の抑制と再使用推進事業の支援 部内管理

(事業コード)			403225 (部課コード)			403
評価対象事業	過剰包装・使い接 援	きて商品の抑制と再使用推	出事業の士	『課係名	生活環境部	ごみ対策課	(巳. 宏)
基本計画の掲		「 なし	152ページ掲載 訂		土冶场况即	<u>この対象球</u> 荻原 正権	
計画体系	第4部第2・3 -(1)		4200311 岸		一般会計	款:4.衛生費	項:2.清掃費
計画事業名	, ,			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	目:2.塵芥処理費		
計画体系	第4部第2·4-(1		4200411 褚		国補助		₩ 市単独
計画事業名	再使用推進事	,]連計画			
計画体系				国 係法規	廃棄物の処理及	び清掃に関す	 る法律
計画事業名		<u>'</u>					
(対象) 市民、事業	対象(何を、誰を対象に 業者(生産者、販売業:	(三) 意図(対象をどういう) 者)	犬態にしたいの?	か)>			
	行われるようにする。	め、過剰包装や使い捨				用、再使用	22年度)
		単年度	複数年度	,			22牛皮)
リサイクル 翌今やつ	/カレンター寺によるT リーマーケットの開催	5民・事業者への意識兒 インターネットを利用し	☆発。リサイク) た不田品な埃	ル巾氏上房に ラシステムの棘	おける杜大こみの 3備)活用、講	
HX 67							0.1
今年度の事業	・業務量の説明	当該	(事務に促事す	「る実質職員数	X	1	2 人
カレンダー	- の発行部数の増のほ	まか、リサイクル市民工	房の活性化を	はかり、利用を	者数の増を図る。		
	づくり指標の説明 おけるごみの減量・リ	サイクルの発信拠点で	あるリ サ イクリ	市民工房のす	ド館者と護翌今 参	加者を13年	
度の10%		タープルの光間遮然で	000001771		1、10日に明日ムシ	M H & 10+	
		め、別途調査等を行う必要	があるまちづく	り指標			
他団体の先進	的な取り組み成果・参	多考実績値					
T				- 1/			
年度別明細	<u>H12年度</u> カレンダー発行部数	H13年度	H14年度	<u>≱前</u> H1	14年度達成		
事業・	95,00	·	1	02,000	102,000		
業務量	市民工房開館日数						
	209	205		205	205		
まちづくり 指標	市民工房来館者	6 400		7 000	0.600		
₩ ^{拍標} 行政指標	5,40 講習会参加者数	6,400		7,000	8,622		
協働指標	36	340		370	367		
予算額(千円)	18,050			21,003	21,003 19,252		
→ 決算額(千円) 執行率(%)	15,599				91.7%		
年間の実施					******		
4月	5月 6月	7月 8月	9月		11月 12月	1月	2月 3月
	・市民		・市民工	·	・市民コ		・リサイク
当	・市民工房	イクル講習会 	0013	フル講習会 ・市民工房	001	「クル講習会 	ル講習会
▋初	フリーマーケ	ット			ーケット		
計						•	カレンダー 作成、配布
							1 F IX C BL 1 I
	<u> </u>		<u> </u>				
	・市民	工房 イクル講習会	・市民工月	房 クル講習会	・市民コ	□房 「クル講習会	・リサイク ル講習会
	・市民工房			・市民工房	994	フル瞬目云	ル時日云
4+		' · I		フリーマ	ーケット		
結	フリーマーケ	ット		1			
結	フリーマーケ	ット 				'	カレンダー 作成 配布
果	フリーマーケ	٠ ١					カレンダー 作成、配布
果	フリーマーケ	۳ F					
変更計画の説		ν, F					
果		ψ F				•	

事業 425 事業名 過剰包装・使い捨て商品の抑制と再使用推進事業の支援 部内管理

事	業コード)	403225	(部課コード)				403
評值	西対象事業名	403225 過剰包装・使い捨て商品の抑制と再使用推進事業の支援	部課係名	生活環境部	ごみ対策課	(局·室)	
	主管課事後評価	Ī				_	
	進捗状況評価	(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・	計画どおり進んでし	1ない)	2		
	理由・インターネッ	トを利用した不用品交換システムの開発を除き、リサイク	ルカレンダーや社会	会科副読本等による	市民・事業者への	- 意識啓発、リサイクル	市
	民工房におけるフ	リーマーケットや講習会等の開催など、計画どおり実施す	ることができた。	_		_	
	成果に対する語	評価(大・ 中・ 小又はなし)			1		
	理由・リサイクルカ	レンダーの発行部数を増やすことにより、市役所や各市	政窓口においても配	記布対応が可能とな	った。また、リサイ	- クル市民工房の来館を	者
	が、各種メディアに	取り上げられたこともあり3割以上増加した。				_	
	効率性·経済性	生に対する評価(高・ 中・ 低)		Į.	2		
事		識啓発を図るための施策として、リサイクルカレンダー等				民にも定着してきてい	る。
7	近隣市と比較する	と啓発に係る費用は少ないが、限られた予算をより有効!	こ使い、効率的な営	8発活動を進める必	要がある。		
後		■人口は伸びているものの総排出量は横ばいであり、一。				啓発活動による市民等	のご
12		識の高まりがあると考えられる。今後も、啓発活動を拡充	こし、一層のごみ減	量を進める必要があ	5る。		
評	事業事前審査会					•	
н.		(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・	計画どおり進んでい	1ない)			
価	理由·						
				r		-	
		評価(大・ 中・ 小又はなし)		l			
	理由・						
	A1 11 6-3 11			r		•	
		生に対する評価(高・中・低)		L			
	理由·						
	炒 合並係	キRTRの支給者物の体がは大きかば思いる	ェ また 車光の	辛岡でも2「温利	句法や体に怜っ	・ 帝ロの生帝、 影声/	⊅+rn
		市民工房の来館者数の伸びは大きな成果といえ 制、マイバッグの使用、再使用の促進」に関する5			巴衣で使い店(向回の土性 販元(ハル
_		<u> 門、マイハッフの区用、円</u> 使用の促進」に関するD	<u> </u>	リッの心女子である。			

	事業	426	事業名	有機性廃棄物(生ごみ等)を利用した資源循環型モデル事業の 検討	部内管理
--	----	-----	-----	--------------------------------------	------

(事業コード)			(部課コード)				403
評価対象事業名	有機性廃棄物(生ごみ等)を利用した資源循環 事業の検討	景型モデル	部課係名	生活環境部	ごみ対策	6課 (局·室)	
基本計画の掲載	☑ あり	52ページ掲載	記入者名		荻原 🛚	E樹 「	内2534
計画体系	第4部第2·3-(1)-		歳出科目	一般会計	款:4.衛生費	項:2.清排	帚費
計画事業名	有機性廃棄物(生ごみ等)を利用した資源循環型モデル滋養	その検討	(款·項·目·事項)	目:2.塵芥処理費	事項:13.エコ野	菜地域循環モデル	事業
計画体系			補助区分	□ 国補助	□都補助	🕝 市単独	
計画事業名			関連計画				
計画体系			関係法規				
計画事業名							
(対象) 保育園、学校か (意図) 給食残渣を公園	何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態 ら出る給食残渣 ・街路樹の剪定枝葉とともに堆肥化をお		菜づくりに活用す				
	■ 単年度 沢台小学校においてコンポストづくりを行た地肥を利用して、農家が野菜作りを行う		· 公園課·道路整備		~ 終期:		22年度)
		務に従事	する実質職員数			0.1 人	
	ンポストづくり、枝葉の収集粉砕、堆肥作	りが今年月	度の事業となる。				
今年度のまちづくり							
	度」を評価するため、別途調査等を行う必要が 双り組み成果・参考実績値	あるまちづ	くり指標				
	スッ粒ッァ以木゚多ち天線 E						

事業 426 事業名 有機性廃棄物(生ごみ等)を利用した資源循環型モデル事業の 検討 部内管理

,	業コード)	. –	144 Lu	403226 (部課 同機性廃棄物(生ごみ等)を利用した資源循環型モデル 部課)		~ === 1 +> +=	-0 - 31	#### (D ==		403
	対象事業	-		羘某					HI HILLION III		王	活環境部	<u> こみ対</u>	策課 (局·室	<u>(</u>)	
事美	<u>度別明細</u> 養· 務量	堆肥:	1 <u>2年度</u> ブくりに 且む保育 0	園	堆肥っ	3年 <u>度</u> がくりに む保育園 0	#114年 <u>[</u> 堆肥づく!] 組む保育	つに取り	H14年度 堆肥づくり 組む保育園	に取り						
指 1	うづくり 票 可政指標 協働指標						給食残済 できる地	査等から 注肥の量 約4トン	給食残渣 できる堆 完成途上 約4トン	肥の量 0トン の堆肥						
決	算額 _(千円) 算額 _(千円) 【行率 _(%)			0		0		5,139		5,13 3,18 62.0	84					
年同	間の実施															
当初	4月	5	5月		月 註肥舎:	7月 工事 	8月	<u>9月</u> _ 中原(10月 	11月 沢台J		12月 ポストコ	<u>1月</u> づくり -	2月	3月	
初計画						15年§	 夏野菜等用 	堆肥づく	ן נו 		_	す 。 ・	きこみ	-		
結								・堆肥舎 _ 中原(:工事 保育園・大	沢台小	\ 	ノポストコ	づくり -			
果								_		15年和	火野	菜等用堆II ———————————————————————————————————	ピづくり		•	-
	三計画の記 15年秋里						用地(都有均	也)の借用:	が8月になっ	たため	、全位	体スケジュ	ールが遅れ	1、15年夏里	予菜用堆肥	でく
事。	理途 理利 理永 田川 郊・本部 田山 の の 評別 は の で の で の で で の で で の で で で で い で で い か で い か で い か で い か い か	沢津畑のおり、対日のおり、対日で経済の対理では、対程で経ば用でいるが、対量を対している。	・(計画 とセンタ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	大きでいる評さいます。	他を東京 中・ 中 りの(のの(取り) (取り) より より	京都から借用 小又はなな 中で成には至 いであり、であり、なった 記滅となった	3し、9月上旬) らなかったが 氐) ター工事や生	に堆肥化セ.、堆肥づくり 、堆肥づくり ミごみ処理様	の成果は今後	9月下旬 6の熟成 低〈抑えら	可から 度を られて	で けて見定める にいる。用地 (2 。最終的なが 1 都有地)使用	推肥づくりを作	は、堆肥を実	際に
評	事業事前 進捗が 理由・	審查会	会事後部 i(計画	平価 画どま	うり<計画	以上進捗を含む	>・ ほぼ計画		計画どおり進 /			[
	理由·					小又はなし						L 1				
	理由· 総合評価						まを図り、一	層の推進が	が望まれる。			_				

/ 吉米- 10)				40000	→1 /÷7		1*\					400
(事業コード)	7ぎん・缶・プラ	スチック類等の資	19年の対	40322 生進 及 バブラ								403
評価対象事業名		分別収集試行地			部記	果係名	1	生活環境	語 ごる	み対策課(局·室)	
基本計画の掲載	あり	ロ なし		152ページ掲	載記	∖者名	, 1		荻	原 正樹	内253	4
計画体系	第4部第2.4.			420042	1 歳	出科目		一般会計	款:4.衛	生費	頁:2.清掃費	貴
計画事業名	びん・缶・ブラ	スチック類等の資	道源化の打	性進		炊·項·目·	,	目:2.塵芥処		7.不燃ごみ収集		
計画体系					補助	加区分	1	□ 国補助		補助 🔽	市単独	
計画事業名					関注	車計画	Ī					
計画体系					関係	系法規	Į					
計画事業名												
事業の目的< 対 (対象) びん·缶·プラ (意図)	スチック類						· 5 11 2+		⇒rø/□≠ ssi	7		
		より多く資源化る	:1194	フに U、谷都 —	巴表					-		
事業の概要・期間	1	🔲 単年度	Ę	☑ 複数章	₣度	(始期	月:	13年度	~ 終其	明:	22年	度)
	スチック類等の プラスチック類	D資源化 の分別収集試	行地区の	D拡大								
			当	該事務に従	事す	る実質	軍職員数	数		0.2 ,	人	
今年度の事業・第 すでに分別収		引始した野崎4丁	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	R1·4丁目の	の住民	を対象	象にした	たアンケート	調査を実施	iし、市		
民の協力度や	や分別方法の記	果題等を検討す										
	ロペットボトルと	ニプラスチックの					。平成	14年度収集	量は、11月	から新		
		増加し、計5000										
一 今後 市民活 他団体の先進的		るため、別途調査 B. 参考宝績値	等を行う	必要がある	まちつ	(り指標	<u>#</u>					
他団体の元進的	は取り組の別え	长'多专夫想他										
年度別明細	H12年度	H13年度	H	114年度事	前	Н	114年度	達成				
		分別収集試行		収集試行均	也区	分別	収集試	行地区				
事業・		(野崎4、大	:沢 拡大			拡大						
業務量		1・4) 対象世帯数	対象	世帯数		対象	世帯数	,				
		2,5			5,000		运市奴	5,000				
まちづくり		分別収集量	分	別収集量			別収集					
┃┃指標 ┃┃ 行政指標┃		ペットボトル		トボトル	17 t	_	トボト					
11以往徐 12 協働指標		 プラスチック	5t プラ	スチック	171		スチッ	17t				
133 120 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			2t	~, , , ,	153 t		,,,,	163t				
			7 t	計	170 t		計	180 t				
予算額(千円)	0			(6,667			6,667				
┃ 決算額 _(千円) ■ 執行率 _(%)			98 75					5,528 82.9%				
	``II		70					02.070				
年間の実施スケ	<u>シュール</u> 5月 6月	7月	8月	9月	10	Η	11月	12月	1月	2月	3月	
野崎4、大	·沢1·4	173	0/3	3/3	10	7	11/7	12/3	1/3	2/3	3/3	
┃ │ アンケ	ート配布											
当	72.45	→										
初 計	120	ート分析										
画												
分別以	X集の試行							分別収集	試行地区	を拡大し	て実施	
取水丸	·S□4.4											
野崎4、大	.バ1・4 :ート配布											
		→										
結	アンケ	ート分析										
果												
分別山	 双集の試行					-		分別収集	試行地区	↓ を拡大して	て実施	
7,709	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							73 /33 1/V	-H-V J - OE		- / ////	
変更計画の説明												

(事業コ			(部課コード)		
	家事業 名	びん・缶・プラスチック類等の資源化の推進及びプラスチックごみ分別収集試行地区の拡大	部課係名	生活環境部	ごみ対策課 (局·室)
ĭ		西 fi(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり 目にアンケートを実施し、11月から施行地区を拡大しれ		でいない)	1
理由 じみ	・ペットボトル 衛生組合で圧	評価 (大・ 中・ 小又はなし) は予定通りの収集量であったが、プラスチック類は予 E縮・梱包され、指定法人ルートによりリサイクルされた 性に対する評価 (高・ 中・ 低)	定以上の収集量で こ。	あった。収集されたペ	1 ットボトル・プラスチック類は、ふ 2
		とプラスチック類は、現在の指定法人の引き受け状況 すなど、より効率の良い収集方法を考える必要がある		の収集車両で集めざ	るを得ないが、本格実施の際に
1友 る。以	I <mark>(集運搬費用</mark>	集を実施し指定法人ルートによるリサイクルが行われ を多少増やしても、早急に本格実施すべきであると考		処理費用と最終処分	量の大幅な削減の可能性があ
		会事後評価 [(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり	・計画どおり進ん	でいない)	
		評価(大・中・ 小又はなし)			
· 文理由		性に対する評価(高・ 中・ 低)			
総合	評価	これまで試行によって明らかとなった分別収集 る必要がある。	の成果と課題を印	明らかにし、16年度	の全市的な本格実施に備え
事業	42	8 事業名 焼却灰の資源化の推	進		部内管理
(= W =	la) I		1/ 		***
(事業コ	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	### 403228 焼却灰の資源化の推進	(部課コード)		403
	象事業名 画の掲載		部課係名	生活環境部	ごみ対策課 (局·室) 荻原 正樹 内2534
<u>季平司</u> 計画体系		 ゆり なり 132ページ掲載 第4部第2·7-(1)-	歳出科目	一般会計 款	<u> </u>
計画事業	業名	焼却灰の資源化の推進	(款·項·目·事項)	目:3.ごみ処理場費	事項:3焼却灰資材化関係費
計画体系			補助区分	□ 国補助 □	■都補助 🔽 市単独
計画事業	名		関連計画		
計画体系			関係法規		
計画事業					
(対象)		(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にした の焼却灰	:(パのか)>		
	,)、東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合によ	るエコセメント化	事業の開始とともは	こエコセ
	既要·期間	□ 単年度 🗸 複数年	度(始期:	13年度 ~	終期: 22年度)
		資材化を民間資材化業者へ委託し、東京都三 始(平成17年度末予定)とともにエコセメント化		広域処分組合によ	るエコセメ
		当該事務に従い	事する実質職員数	数	0.1 人
	の事業·業務 『灰の資材化				
		指標の説明 資材化量は平成13年度と同様にする。			
		度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるま	ちづくり指標		
他団体の	の先進的なI	取り組み成果・参考実績値			

事業 428 事業名 焼却灰の資源化の推進 部内管理

(事	業コード)										403	322	8 (部	課コ	ード)	Т						
	<u> </u>	[名	焼却	灰の資	<u> </u>	との丼	進							果係			生活環	境部	ごる	み対策課	(局·室)	
年月	度別明細		112年			H13					丰度				H14年月							
I	NII.	焼却	灰の			』灰σ			焼却	灰σ	〕量			焼去	『灰の量							
事				3,796			3,	857				4	,311				4,052					
耒	務量																					
ま ?	ちづくり	資	材化	量(t	Ě	資材化	/量	(t	資	材化	七量	(t)	資	資材化量	ł (t)					
指	標			499				400					400				400					
	行政指標																					
1	協働指標																					
予	算額(千円)		2	23,460			18,	774				20	,832			2	20,832					
	算額(千円)		2	23,046			18,	289									20,639					
	<u>机行率(%)</u>	<i>L</i> > <i>S</i>		98				97									99.1%					
牛爬	間の実施ス 4月	(ケシ: 5)		/ 6月	_	7月	1	8,	П	1	9月	_	10,	_	11月		12月	1 J.F	7	2月	3月	
	4万	3)		0月			1	0,	<u> </u>		ЭĦ	+	10,	<u> </u>	11/3	-	12月	1,5	7	4月	ŊД.	\dashv
				・焼却]灰[資材 化	么委言	£														
当				契約	约(メル	テッ	ク(株))													
初					+					焼	却灰	のi	重搬	・資	材化 —	-						
計画																						
ľ																						
				L+ 4r	<u> </u>	77.1.1.1																
				・焼却		食材化 メル:			`													
結				关系	ט פג ב	<i></i>		切灰の		船•	資材	 化.										
果					T		-//62	41-7/)) <u>(</u>	, I	54 1/.	Ĭ										
र्गाः न	 	4 00 / 8	5746 ☆		,bata	+n +.	+ =	`EI o I	- 1 5 .:	10 🕏	∓+ 6/1. `		次++	/v+	⁄= - +-+	- 16	1005	+ () - '	マー*	±4 = 4 0 0	 	/v +
	色計画の部 了した。	化明(自	₽俊計	半1四時)	况	却火	を毋	週 35	トン	柱层	を搬り	(0	頁例	化を	付つにに	こめ	、10月	十別に-		以重400	トンの資材を	化全
## J) U/C.																					
	主管課事																					
															どおり進ん			- 15 to 10	1 4 0 0	1		
	理由·当初	の予定	とお	リり月に	安託	契約を	上統系	古。 / F	פימ פ	筫셍	11七を	夫於	也し、「	□□月	に終了し	に。	数重も予	正とお!) 4 0 0	「じめつに。		
	成果に	対する	評価	(大・	中	. //\	又は	なし)												1		
						_		- /	に、広	域处	几分糾	合	負担急	金が重	圣減された	た。4	持にエコも	 Zメント負	担金·	への影響に	■ よ大である。i	また、
	資材化され	た人口	1骨材	は栃木!	県内	の道路	各工事	事等に	全量													•
				対する評									- 14.0	. =	·			L+ +- ·		1	M4 :-	_
事	理由・エコ1 マンスが高					计算方	法力	', <u>_</u> '	ソ塚贝	L分均	易へ())灰	の搬ん	へ量に	こよること	ことな	よったため	、焼却を	火の資	材化は非常	常にコストパ	フォー
1,4.	総合評価・	焼却な	,cは, での資	材化は纟	。 経済(性にも	優れ	, ± <i>t</i> -	、循Ŧ	買型:	计会:	を日	指す	ためし	こも今後:	も拡	大してい	くことが草	望まし	いと考える	。ただし、資	材化.
俊	にあたって	は、資	<u>材化</u> さ	: れたも	のが	<u> </u>	· あり	、 <u>か</u> こ)実際	に利	川用さ	<u>れ</u> て	เกล	かど	-0 / iQ うかを調	査し	たうえ進	<u> かる必要</u>	がある	3. <u></u>	, ,c,c o, g	
評	事業事前																					
"		況評値	E (計画どま	うり <i< th=""><th>+画以上</th><th>進捗</th><th>を含む></th><th>· II</th><th>ぼぎ</th><th>†画と</th><th>゚゚゚お゚゚</th><th>)∙ į</th><th>計画と</th><th>どおり進ん</th><th>んで</th><th>いない)</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></i<>	+画以上	進捗	を含む>	· II	ぼぎ	†画と	゚゚゚お゚゚)∙ į	計画と	どおり進ん	んで	いない)					
価	理由·																					
	成果に	対する	評価	(大・	中	. //\	又は	ない														
	理由・	, 0	A. 1944	, ,,	٠			J. J)														
					_				_												Ī	
		·経済	性に対	付する評	価(高·	中	· 低	t)													
	理由·																					
	総合評価		主管	課の認	は識り	どおり	、 I	コセメ	ハト	セメ	ントの	D費	用坑	効果	全安と	性を	を更に分	析した	上で	今後の耳	収り組みを持	食計
	AT 184			必要が					- '			- 5-				`		5		, ,,,,,,,,,		

				·
事業	429	事業名	第1処理場の適切な運営	部内管理

(事業コード						403229	(部課コ	ード)						403
評価対象事	業名 ^第	1処理場	の適切な	運営			部課係	名	生活環	境部	ごみ対策	課()	局·室)	
基本計画の	掲載	☑ あり		なし		153 ページ掲載	記入者	名			荻原 正	 E樹	内253	34
計画体系	第	_ 4部第2·6	-(1)-			4200611	歳出科	目	一般会計	款:	4.衛生費	Į	頁:2.清掃	 費
計画事業名	第	1処理場(D適切な運営	当			(款・項・	目·事項)	目:3.ごみ処理均	易費 事項	::2.ごみ処理場	費管理	運営費	
計画体系							補助区		☑ 国補		都補助		市単独	
計画事業名							関連計	⊞i	<u>東京都ご</u>	いの理点	域化計画			
計画体系							関係法			<i>1</i> 2-212-	%ПОПТ			
計画事業名] 大 ホ/ム/	へ た						
	∠ 対象(仮	を 誰を∜	ままり 音	図(対象:	をどうい	が態にしたい	かか)>							
(対象) 第1処理		<i>ሚ</i> በ⊭ ሚ አ		전 (¥13K.	~ C)V1.	が い に い に い に い に い に い に に に に に に に に に に に に に	(J.							
(意図) ごみの類	焼却におけ	る環境負	草荷の低減											
事業の概要	·期間			単年度		☑ 複数年	度(始	期:	13年度	₹ ~	終期:		22年	度
						集塵装置)等 な運営を行う		るとともに	こ、必要に原	芯じた維扌	寺			
					当	該事務に従事	する実質	質職員数				4.0 /	(
今年度の事				画大・茜-	シオマチ	めのバグフィ	Ⅱ.ゟ≐⋷⋍	計画★	12年度 4	2年度に3	ᆝᆃᄹᆖ			
			の俳出日の他必要し				ルツ設直	L工 事 を、	12年度、1	3十戊に5	川で統			
今年度のま	ちづくり指え	票の説明												
	シン類等	非出濃度	基準は、東	東京都σ)基準は	:1.0ngである:	が、保証値	値が0.5n	g以下なの	で同数値	٤			
した。			7 t 11 File	\ <u>+</u> - + - **	± /= > \/	T (** = + + -	\$ / .a Hr 13E							
一 今後 う後 一					を行う必	要があるまちつ	りくり指標							
四本の元	進りる取り	組の収	未' 多ち夫	惧但										
年度別明細	H12	年度	H13年	 E度	H14	4年度事前	H14	4年度達局	戉					
	第1処理	場												
事業・	バグフィ		** L		~~ !									
業務量	第3号炉	上事	第2号炉	L事	第1号划	P.上事	第1号集	P.上事						
まちづくり	ダイス	ナキシン	ダイオ	キシン	ダイ	オキシン	ダイ	オキシン	/					
指標	類等排と	濃度	類等排出			出濃度		出濃度						
行政指標		.059ng	0.5n	g以下	0.	5ng以下	0.	5ng以下						
協働指標	!	(実績)												
予算額(千円)		176,000		97,000		897,76	0		,760					
決算額(千円)	1	107,044		51,298					,629					
執行率(%)	<u> </u>	94.1%		94.9%				9	7.0%					
年間の実施	スケジュ・													
4月	5月	6)] 7)	1	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2,	1	3月	
					- 第4早	 ·炉バグフィ	II. <i>.t</i> a≐	 罢一事	1					
当					新 1万	メハソノイ	ルラー記	x 旦 上 李 					-	
当 初 計 ——														
計								-						•
画			維持補何	多工事										
									1					
\vdash		+												
		—			- 第1号	_ 炉バグフィ	ルター記	七里工事	ĺ			→		
I					_				1					
結 果														
未			維持補何	女士事									 ▶	•
			#E1守作用1	彡 ⊥事 │										
									1					
変更計画の	逆阳/重线	(評価時)	第1号位	バガコ	/ ルク証		二俣解胃	かに坐い	国庙補助会	_ と を 3日亡	ıı⊏ll⊽λ a	る心	要が生!:	t:- t:-
め、2月中に			\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\		· / v / nX	ᄪᅩᆉᅝᆞᄧ	v —— I∕N /∏+F		ᄪᄺᆒᆁᆁ	2 C 3 M T	I= 7A/()	العرب	×13 ± 0	,_,_

事業 429 事業名 第1処理場の適切な運営 部内管理

(事	「業コード)		40322	9 (部課コード)			403
評値	西対象事業名	第1処理場の適切な運営		部課係名	生活環境部	ごみ対策課 (局	·室)
	主管課事後評価 進捗状況評価 理由·計画通り竣]	(計画どおり<計画以上進捗を含む>'	ほぼ計画どおり・	計画どおり進んでい	1ない)	1	
		平価 (大・ 中・ 小又はなし) 類等の測定結果数値は、大幅に改	善された。		[1	
事		生に対する評価(高・ 中・ 低) は、薬品等の消耗品が今まで以上に	こかかることから、糹	掛持管理費の増大が	懸念される。	2	
後		聿に対応するための工事であり、費用 きなものであったと考える。	用はかかるが必要	不可欠の工事であっ	た。有害物質の量は	大幅に削減され、多え	大な費用は要し
評価	事業事前審査会 進捗状況評価 理由・		ほぼ計画どおり・	計画どおり進んでい	1ない)		
	成果に対するi 理由・	平価(大・ 中・ 小又はなし)			[
	効率性·経済性 理由·	まに対する評価(高・ 中・ 低)			[
L	総合評価	今後の改修工事について、老杯	万度等を精査した	上で、優先順位に	従い、計画的な整	隆備を行う必要があ	る。

事業 430 事業名 粗大ごみ料金体系の品目別ポイント方式への変更 部内管理

(事業コード)		0 (部課コード)	403
評価対象事業名	粗大ごみ料金体系の品目別ポイント方式への変更	部課係名	生活環境部 ごみ対策課 (局·室)
基本計画の掲載	□ あり	記入者名	荻原 正樹 内2534
計画体系	第 部第 -()-	歳出科目	一般会計 款:4.衛生費 項:2.清掃費
計画事業名		(款· 項· 目· 事項)	目:2.塵芥処理費 事項:8.粗大ごみ収集関係費
計画体系		補助区分	□ 国補助 □ 都補助 ☑ 市単独
計画事業名		関連計画	
計画体系		関係法規	三鷹市廃棄物の処理及び再利用の促進
計画事業名			に関する条例
トーブ等比較的 事業の概要・期間 ・品物ごとのポイ しこみ分から変・清掃係(第1分) 今年度の事業・業務 ・説明会、チラシステム開発がくりに 今年度のまちみ収集品 「今後「市民満足」	体系 品目 数に応じたシールの購入による手数料の納付なと 大きな用品を対象品目に加え、車両火災等の防」 ・ 単年度 で 複数年 (ントを決定し(規則改正)、対象品目の拡大等に 更する。 庁舎)に受付センターを設置し、市政嘱託員が受 (当該事務に従 ・ 選を ・ 選を ・ 選を ・ 選を ・ 選を ・ 選を ・ 選を ・ 選を ・ 選を ・ でと ・ でと	は、市民に分かりや 上と資源化の促進 度 (始期: ついて広く周知を行事務をおこなう。 事する実質職員数 (第1分庁舎改装 人)。説明会は係員	を進める。

事業 430 事業名 粗大ごみ料金体系の品目別ポイント方式への変更

部内管理

	業コード)							(部課コ・	ード)						403
評值	西対象事業	[名	粗大ごみ料	金体系	の品目別ポ	イント方式	への変更	部課係	名	生活	5環境	<u>部 ご</u>	み対策課([局·室)	
年		Н	12年度	Н	13年度	H14:	年度事前	H14£	F度達成						
<u> </u>	2/33:73/44		1 /2		<u>::,,,</u> ごみ対象		み対象品目		対象品	=					
事	₩.			品目	52	石ノへこり	174			- 69					
				四日	32		174			09					
▋兼	務量														
II	L - \$ / 10	UE A	+ 11 N/L	115		UE 45	11 12	U= #= //	1 124						
	ちづくり		耒件数		集件数	収集化	牛数	収集件							
指	漂	15,	000件	12.	,000件	18,00	00件	16,00	0件						
1	行政指標					(10F	変更以後								
	劦働指標						見込み)								
•	WI I I I I I I I I I I I I I I I I I I					111/11/2									
予	算額(千円)		7,198		12,140)	19,524		19,5	24					
決	算額(千円)		5,608		5,589)			16,0	00					
	行率 (%)		78		46				82.						
_		7 - > >			70				02.	0 /0					
平原	の実施と							40.0			_				
	4月	5,			7月	8月	9月	10月	11月	12	月	1月	2月	3月	
		・規	則改正		・市報	・市朝	・市報								
当			・受	付シス	ステム開発		・嘱託員								
初				約〔	17 — 17370		1人雇用	1							
計			^	~m3			・チラシ全								
圖						主民説明		-) HCJD							
Ш					1:	土比就明	A								
							→								
								<u>実施</u>							
			・規則改正		・市報	・市朝	・市報	・市朝	ž						
				受付	システム閉	昇発	・嘱託員								
結				契約		.370	1人雇用	1							
果				Z		シ全戸配		,							
*															
					1:	主民説明									
															
								実施							
変更	夏計画の説	钿(事	後評価時)	粗大	ごみ品目別	別ポイント	方式の周知	徹底を図	るため、	チラシの	全戸[配布を7月	に早めるの	とともに、Д	い報
ъt	かへの掲	載回数	效を増やす	こととし	ノた。										
' '		7-7-7			0										
	主管課事	经证证	Fi												
			-			1 1	-10-40-10	ر مدن - رد	1)# / 	45.1.1.			4		
							計画どおり・						1		
	理由·計画	どおり規	見則改正、チ	ラシのst	全戸配布、住	民説明会	等を実施後、	10月から品	品目別ボイ	ント方式	へ変更	した。			
	成果に	対する	評価(大・	中·	小又はなし)							1		
	理由·品目	の拡大	により、市民	に多少	の負担を強い	1ることとな	よった反面、市	民白らポイ	ント計算が	ができ、*	月大ごみ	√収集時に	立ち会う必要	更がなくなっ	たこと
	のメリットは	大きい	と考える。ま		可の変更は料	月大ごみの	業務を委託す	るに当たっ	ての準備	でもあり	成果は	大きいとい	える。	2.0 0. (0. 2	
					高中				1 110	/			1		
اا	グルエ		,, , ,	('	rand /							•		
事	理中, 和十	デュ . 11セ4	焦 /什米 □□ #	加坤二	こ米ケヤツ レナロケイ	生中国中	月の1.5倍程月	在で性40!	アロマ						
										<i>-</i> n -> · ·		= #= # · · · ·			
							以集処理手数					以集件数は	大きく伸びて	ているものの	入大
^				丁するこ	とかできた。	市民サー	ビスの低下を打	召くこともな	(成果は)	てきいとし	いえる。				
評	事業事前	審查会	等後評価												
ДΤ	進捗状	況評価	(計画ども	うり<計画	国以上進捗を含む	i>・ ほぼ	計画どおり・	計画どおり	進んでい	ない)					
/ 	理由·														
価															
	成里に	かする	はっぱい はん	山。	小又はなし)									
	理由・	ורס בניע	итіш (//	.10	7.VIO.00 U	J									
	4四														
	** *** ***	را دار ۲۵۰	41-44	/ ** /	<u> </u>	/rr \									
		· 経済性	生に対する評	'1曲(高・中・・	1tt)									
	理由·														
	総合評価		ポイント制	移行に	関する市民	民の意見	を聴取するた	どの取り	組みを行	うとと#	. に. 成	果に関す	る指標とし	てのアング	ケー
	•						力と思われる				. ,				

事業	431	事業名	有機肥料や低農薬農業の支援	部内管理
----	-----	-----	---------------	------

(事業コード)			404231	(部課コ・	- ド)				404					
評価対象事業名	有機肥料や低	農薬農業の支援	į	部課係行	3	生活環境部	生活	経済課	(局・室)					
基本計画の掲載	▽ あ	□ な	86ページ掲載	記入者名	3		吉里	予 綱哲	内3063					
計画体系	第2部第2・3	-(1)-	2200311	歳出科目		一般会記	† 款:農村	林費	項:農業費					
計画事業名	有機肥料や低	農薬農業の支援	1	(款・項・目	l·事項)	目:農業振興貿	豊事項:鳥	農業振興費						
計画体系		-()-		補助区分		□ 国補助	□ 都補	_						
計画事業名		,		関連計画	画 層	農業振興計画								
計画体系	第一部第一・	-()-		関係法規										
計画事業名	200	,		1										
事業の目的< 対: (対象) JA東京むさし (意図) JA東京むさしる	(市内農家)	,		,		ともに、低見	農薬農業、	、堆肥の空	主産・購入な					
どの効率化を図る	S .			(始	用·	15年度	~ 終期	用·	22年度)					
JA東京むさしへ	浦助全を 亦付し			•			W > 2	41.	<i>LL</i> +12)					
が未示していく	開助並を又打し	刊成辰未义 及 1						0.4						
今年度の事業・業	発量の説明		当該事務に従	事りる実)	溑職貝 数			0.1,	Λ					
JA東京むさし														
今年度のまちづ<り指標の説明 環境保全型農業は、都市農業の方向として期待されており、地域としての有機農業や低農薬事業等への取り組みが必要														
	詳は、都市農業の	り方向として期	待されており、	地域とし	っての有	機農業や低層	農薬事業	等への取り	Ე組みが必要 │					
である。 今後「市民満	足度」を評価するた	め、別途調査等を	行う必要があるま	ちづくり指	標									
他団体の先進的な			11722	D = ()	120									
練馬区において			(している。又)	調布市に	おいても	ら、試験的に	導入して	いる。						
年度別明細	H12年度	H13年度	H14年月			丰度達成								
	補助金交付	補助金交付	補助金数			金交付								
事業・ 業務量				業 JA	補助	事業 JA ▮ さしと協議 ▮								
未加里			米示もこ	ひこ「励哦	米示して	こして「励哦								
	土作り対策事業			付策事業		2対策事業								
指標実		実施	実施	○曲 中	実施) 45 m 🖶								
	肥導入13農家、 糞導入8農家、	緑肥導入16農 馬糞導入8農				入15農家、 入8農家、 ■								
	異等八 o 辰豕、 ラ導入85農家	ワラ導入84農				八 0 辰 3 、 入 76農家								
	ノサバの成別	ラク等/(0-/Re :	が フラ 等 八0		その他	(TORES)								
予算額(千円)	3,558	3	, 558	3,240	4 10 10	3,240								
決算額(千円)	3,285		,212	•		2,918								
執行率(%)	92.3	(90.2			90								
年間の実施スケ	<u>ジュール</u> 5月 6月	7月 8	月 9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
4月 :		JA東京	9,5	10/3	11/3	12/3	1/3	2月	3Д					
<u></u> 과		むさし												
当 初 計		と協議							→					
計														
画														
変					L		_							
变 更 計			当初 当初	計画の	とおじ	実施								
画														
赤田は高かざ吧														
変更計画の説明														

事業 431 事業名 有機肥料や低農薬農業の支援 部内管理

(事	(業コード)		404231 (部課コード)			
評值	西対象事業名	有機肥料や低農薬農業の支援	ž	部課係名	生活環境部	生活経済課 (局・室)	
	主管課事後評価	五					
	進捗状況評価	[] 計画どおり<計画以上進捗を含む>・ []	まぼ計画どおり・	計画どおり進ん	υでいない)	1	
	理由·JA補助事	業の現行補助金内容の見直しが困難の	ため、今年度は	:害虫駆除対策と	して、フェロモン剤		
	を試験的に導入し	、市内1,000㎡×10ヶ所×60ヶ所に設置	した。				
	成果に対する	評価(大・中・小又はなし)				2	
	理由·市内全体に	こフェロモン剤を導入することにより効果	!があるが、試設	的に設置した畑に	こは害虫が少なく		
	成果がでている。	土作り対策事業は13年度に比べて希望	望農家が若干少	なくなっている。			
	効率性・経済・	性に対する評価(高・中・低)				1	
I	理由・フェロモン剤	剤の導入により害虫を捕獲し駆除するこ	とにより、農薬の	D散布回数、経費	が減少する。又		
事	食の安全が保たれ	れる。土作り対策事業については同程度	その補助額で実施 かんかん こうかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん	もできた。			
14.	総合評価·試験的	りに成果はあったが、効率性を高めるた	め今後全市的に	設置していくには	は財政援助をする		
後	必要がある。						
±₩	事業事前審查会	会事後評価					
評	進捗状況評価	動(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ 個	まぼ計画どおり・	計画どおり進ん	υでいない)		
価	理由·				_		
1Щ							
	成果に対する	評価(大・中・小又はなし)					
	理由·				-		
	効率性・経済	性に対する評価(高・中・低)					
	理由·				-		
	総合評価	今後もJAに対する補助事業の成果	果や有効性を	会証し、補助内	容の見直しを行う	ことが望ましい。	
						·	

事業 432 事業名 地域産業情報化推進事業 部内管理

(事業コード)		404232	(部課コード)	404							
評価対象事業名	地域産業情報化推進事業		部課係名	生活環境部 生活経済課							
基本計画の掲載	☑ あり □ なし	81ページ掲載	記入者名	内田 治 内2542							
計画体系	第2部第1·4-(2)-	2100421	歳出科目	一般会計 款:7.商工費 項:1.商工費 目:2.商工振興費 事項:1.商工振興助成事業費 中小企業情報化·国際化推進事							
計画事業名	地域産業の情報化の推進		(款・項・目・事項)	項:1. 商工振興助成事業員 中小企業情報化·国際化推進事 業補助金							
計画体系	第2部第3・3-(3)-	2300331	補助区分	□ 国補助 □ 都補助 □ 市単独							
計画事業名	経営強化に向けた情報化・国際化の)推進	歳出科目	一般会計 款:7.商工費 項:1.商工費 目:2.商工振興費 事項:1.商工振興助成事業費 商工振興事業費補助金(一部=							
計画体系	第2部第3·4-(2)-	2300421	(款·項·目·事項)	項: 個上派獎助成事業員 個上派獎事業員補助並(一部 = Mitaka-mall関係事業費)							
計画事業名	民間施設への集積誘導の支援		補助区分	☑ 国補助 ☑ 都補助 □ 市単独							
計画体系	第2部第3·4-(3)-	2300431	関連計画	三鷹市産業振興計画							
計画事業名	情報関連企業の誘致・育成		関係法規								
計画体系	第2部第4·4-(1)-	2400411	1								
計画事業名	パーチャルモール(電子商店街)開設の支	泛援	1								
(対象) 三鷹市内の中小! (意図) 市内中小事業者の ることで、競争力の 事業の概要・期間 市内中小事業者の 化の一環として、電子 今年度の事業・業績	の向上を図る。広範な分野での地 単年度 情報化を推進するため、補助制度を 商店街「Mitaka-mall」を運営する構 務量の説明	志・進出等を検言 ネットワークシステムの <u>域産業の情報化</u> 複数年度 継続するほか、S(未式会社まちづくり 当該事務に従	対する事業者等 の導入や高度利 <u>と推進により、産</u> (始期: 0H0等都市型産 三鷹に対し、三鷹 事する実質職員	10年度 ~ 終期:) 業、IT関連企業の集積を推進する。また、商店街の情報 商工会を通じた財政的支援を行う。 数 0.2 人							
会補助金の中に1,250	中小企業情報化・国際化推進事業補助のうち、情報化推進事業として25件(@50千円)の補助を計画。また、Mitaka-mallを支援するため、三鷹商工 ・補助金の中に1,250千円の事業費を含んでいる。 ・年度のまちづくり指標の説明										
	共同宅配、共同決済システムの導入を検討し、商業・商店街の情報化を推進する。参加店の増加は相互の競争によるサービス向上につながる。										
	評価するため別途調査を行う必要がある	まちづくり指標	補助金を利用した	亡事業者の業務改善状況等(売上、IT化)の現況							
他団体の先進的な 	·取り組み成果·参考実績値										

 事業
 432
 事業名
 地域産業情報化推進事業
 部内管理

	事業コード) 価対象事業名 □地域産業情報化推進事業						¥	404232 (部課コード) 部課係名 生活					生活環	音郊 生	活経済課	(局,家)	404
									4.4左连击			•		жы д		(/J) <u>±</u> /	
<u> </u>	度別明細		112年 企業情			13年度			14年度事 と同規模で			H14年度) 度と同規模					
事	業·					進事業補			Mitaka-ma			及C回流。 、Mitaka-m					
	務量	助を調				工業系事 も拡大して		を実施			を実						
^					以外に ⁻ 施。	も拡入し	人美										
						-mallを支	援										
ŧ	ちづくり	8件	に対し	/中小	20件	に対し中	小企	Mita	aka-mall[=	共同配	Мi	taka-mall	に共同				
指				:·国際		化·国際化			同決済シス		配送	、共同決決	斉システ				
	リコルスコロバボ			補助金		補助金を a-mallが			を検討し、			導入を導ん					
	協働指標	を交付	Ŋ			事業者が		店200	店を目指す			店数は114	店と				
											ر م	<i>i</i> C					
▋₹	算額(千円)			750		3.	800			3,800			3,800				
	算額(千円)			682			106			-,			3,342				
4	執行率(%)			90.9%		8	1.7%						88%				
年	間の実施ス																
<u> </u>	4月		月	6月		7月	8	月	9月	10,5	1	11月	12月	1月	2月	3月	
			小企業 化·国														
当		際化															
初		事業	補助	·電子商													
討		•		街Mitak													
画				mall補助 申請	'											_	
	•			1 417												-	
			∖企業														
			化·国														
結	i	際化事業	推進 補助	·電子商	ιŒ												
果	:	于木	LHIDAI	街Mitak													
	•			mall補助	1											>	.
╙				申請												,	
变	巨計画の説 かんりょう かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	明															
	主管課事	後証値	m														
				計画どお	り<計画に	以上進捗を	含む>	· ほ!	ぼ計画どお	り・ 計	画ど	おり進んで	いない)		1		
	理由·情報的	化·国际	際化補	助事業Ⅰ	こつい	ては、各	種産	業に属	する事業者	針からの	申請			が進んでいる	6. Mitaka - m	nallについて	は14
	年10月に共							実績に	は大き(向)	としてい	る。						
				(大)				- 117	() . (2	. =	
	埋田・情報 数は、目標					により、「	₽小▮	事業者	のIT化が看	実に進	んでし	ハる。Mitak	a - mallØ	利用状況は	改善されてい	1るが、参加	山占舗
				ていない けする評値		宣, 由,	, /¤	<u>-</u>)							2		
	理由·Mitak	a-ma	温事業	について	ば、共	司決済.	共同	" [宅配]	を導入したる	ことによ	り、事	業の効率	化が図られ	ている。そ	を の結果として	利用者増加	1、売
事															善を要する。		
₹																	
後	総合評価:	青報化	· 国際	化補助	事業は、	従前の	工業	者限定	Eの制度か	ら、各種	産業	対象となり	、制度の原	別も進み、	利用者が増え	加している7	ため効
	米的制度と	はって	いる。	iviitaka -	malijā	ノいては	J. 16	中度以	人)年の事業	継続(0)7	にめ、	争美規模、	サーヒス	小凖の見直	しが必要であ) රු	
評	事業事前	索杏 ≤	会重 後	幹価													
	准块状				1)<計画1	以上准挑を	·全tìs	· ほ!	ぼ計画どお	1)・計	画ど	おり進んで	いない)				
価	理由・	11	- \ -		- will			1001		- н			,				
		対する	評価	(大)	中·	小又は	なし)										
	理由·																
	☆+☆- ↓↓	. 4 2 : 2	.h.+ 1 — ->-	+ 7 === /-	 / -	5. ↔		١.									
	知率性 理由·	'絟곍'	ı± Ι⊂Χ <u>.</u>	する評値	Щ (г	ョ' 円'	11.5	u)									
	本山																
	総合評価		利用	者の増	加など	事業の)成月	見の成	果は見ら	れるが	、今往	後も補助	事業を継	続する場合	は、主管語	果の認識と	ごおり
									ともに、特								

事業	433	事業名	都市型産業支援業務	部内管理
----	-----	-----	-----------	------

(事業コード)					404233	(部課	コード)								404
評価対象事業名	都市型	産業支	援業務			部課	系名	生活	5環境	邹	生活	経済語	Ŗ		
基本計画の掲載	▼ a	5 I)	口なし		90ページ掲載	記入:	 者名					内田	治	内2	542
計画体系	第2部第			2	2300311	歳出	科目	一般多	会計 款:	7.商	工費項	頁:1.商	工費	目:2.	商工振
計画事業名	都市型產	業支援	機能の活用	月の促進		(款・項・	目・事項)	興費	事項:4.	産業	技術剤	゚゙゙゙゙゙゙゙゚゙゙゙゙゚ヿ゚゙゙゙゙゙゙゙゚゙゙゙゙゚゙゙゙゚゙゙゚゚゙゚゚	-等関	係費	
計画体系						補助	区分	П	国補助	1	▼ 都	補助		市単独	
計画事業名						関連						1115-75			
計画体系						関係	去規								
計画事業名															
事業の目的 < 対 (対象) 三鷹産業プラザ (意図) 産業プラザーにお タル等を行い、事 事業の概要・期間 産業プラザ利用者 言を行う。	を利用する ける工業系 <u>業者の競</u> 引 に対し、資料	工業系 、SOH 争力強 ^{4、機器}	、SOHO IO系事業 化を推進す □ 単年	等都市 <u>ま</u> 者等に対 <u>するとと</u> 度 覧サービ	型産業系の中/対するソフト支持 もに、人的ネット マ 複数年/	ト事業 爰として ウ・ワー <u>・</u> 度 (の、専門	者等 こ、専門的 クの拡充に 始期: 聞的な知識な	<u>こよる</u> 1 を有する	<u>業務の</u> 2年度	拡張	<u>を支援</u> ~ 終!	<u>⊌する。</u> 朝∶ アドバィ		15 による:	年度)
産業技術アドバイ	ザーを1人間	置する	ほか、平日	について	は、毎日各分野の	のコーデ	イネーダが相	談に対	がでする	0					
今年度のまちづき 産業技術アドバイ	ザーについ	ては、訪									満足す	るサー	ビスを	E提供す	⁻శ.
今後、市民満足度					まちづくり指標	相談和	川用者等に対	対する:	アンケー	小等					
他団体の先進的	な取り組み	が果い	梦 传美碩1	世											
	112年度		H13年度	118	H14年度事前	j _	H14年								
事業· 期標 業務量	≹プラザ第1 東完成	設置。 業務を		等の 業 系、 業 援	3年度に引き続き、 ブラザにおける工 、SOHO等都市型 系事業者へのソフ を実施	業 型産 7ト支	爰を実施	けるエ 等都市 へのソ	業 型産 フト支						
まちづくり 指標 行政指標 協働指標		ザーの 技術相 問61件 件、測2		業訪 程 業訪 程 導50 ぎ	産業技術アドバイ相談件数等は250度の実績を目指でままちづくり三鷹のィネーターによるな継続実施	O件 す コー 泪談	産業技術 の相談件数 あった。 まちづくり ディネーター を継続実施	等は3 [*] 三鷹の -による	12件で)コ ー						
予算額(千円)			3	3,484	3	3,728			3,728						
決算額 _(千円)				3,229					3,300						
執行率(%)			9	2.7%					89%						
年間の実施スケ													,		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	1	2月	1)	亅	2月		3月	\bot
当初計画					産業技術アド 支援事業実施 コーディネータ 事業実施	·各種									>
結果 変更計画の説明					産業技術アド 支援事業実施 コーディネータ 事業実施	·各種									•
^~"															

 事業
 433
 事業名
 都市型産業支援業務
 部内管理

(事	(業コード)	404233	(部課コード)		404
評值	西対象事業名	都市型産業支援業務	部課係名	生活環境部	生活経済課 (局·室)
	主管課事後評価			_	
	進捗状況評価	「(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり	計画どおり進ん	しでいない)	1
	理由・産業技術ア	ドバイザーによる相談等の件数は、計画以上に推移し	、ている。産業プラ [・]	ザのコーディネータ -	-業務も計画どおり実施されてい
	る。				
	成果に対する	評価(大・中・小又はなし)			1
	理由・いずれの相	談等の事業についても、産業プラザの主要な産業支持	爰事業として周知だ	が進み、その利用に。	よって事業者の個別ニーズに応え
	ることができている	3,			
	効率性·経済 [・]	性に対する評価(高・中・低)			2
事	理由·精密測定機	器類の使用頻度に、機器による差が見られるので、今	後一層のPRが必	要であるが、利用状	況によっては、機器の入れ替え等
尹	を検討する必要が	がある。			
後		ラザを拠点とした産業支援事業であるため、引き続き	サービス水準の維	持・改善をしながら糾	継続実施することが重要である。ま
1攵	た、利用者の満足	度等の把握を行う必要がある。			
評	事業事前審查会	会事後評価			
пΤ	進捗状況評価	「(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり	· 計画どおり進ん	しでいない)	
価	理由·				
ІЩ					
	成果に対する	評価(大・ 中・ 小又はなし)			
	理由·				
				_	
	効率性·経済	性に対する評価(高・ 中・ 低)			
	理由·			_	
	総合評価	主管課の認識どおり利用者の満足度等の把握	を行うなど、利用	実績や利用者の	意向等を踏まえ、今後の事業
		規模等を検討する必要がある。			

 事業
 434
 事業名
 中央通りモール化推進事業
 部内管理

(事業コード)		404234	(部課コード)	404
評価対象事業名	中央通りモール化推進事業		部課係名	生活環境部 生活経済課
基本計画の掲載	☑ あり なし	96ページ掲載	記入者名	内田 治 内2542
計画体系	第2部第4·3-(3)-	2400331	歳出科目	一般会計 款:7.商工費 項:1.商工費 目:2.商工振興費 事項:1.商工振興助成事業費 商店街にぎわい創造事業補助
計画事業名	中央通りモール化事業の推進		(款·項·目·事項)	項: ・商工振興助成事業員 商店街にさわい創垣事業開助 金
計画体系			補助区分	□ 国補助 □ 都補助 □ 市単独 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
計画事業名			関連計画	三鷹市中心市街地活性化基本計画、三鷹市商店街振興ファ
計画体系			関係法規	
計画事業名				
事業の目的< 対象 (対象)	!(何を、誰を対象に) 意図(対象を	どういう状態にした	いのか)>	
	央通り商店街、中央通りの商店舗	等		
		-		
(て商店街の環境整備等を行い、	中央通りを歩きか	>す〈安心して楽	<しく買物ができる買物公園的空間とする。
事業の概要・期間	□ 単年度	☑ 複数年	度 (始期:	6年度 ~終期:
モール化整備に	句けた商店街の調整、近隣との	調整を進めつつ	、具体的な整備	に至る段階的な取組みのあり方等を検討する事
業に対し、補助する	0			
		当該事務に従い	事する実質職員	数 0.1 人
今年度の事業・業務	务量の説明	I INFINITIO	F / U/VS=1140/-	×× ··· / ·
商店街にぎわい倉	別造事業として、中央通り商店会	のまちづくり小妻	長員会の活動を	支援する。まちづくり建築課、㈱まちづくり三鷹等
と連携し、モール化	に向けた段階的な取組みのあり			•
今年度のまちづくり				
			民等との懇談を	通じ、継続して検討する。検討の過程で、中心市
	<u>関する共通認識を深めることが</u> 平価するため別途調査を行う必要があ		Γ	
	ギऻऻऻॷॖॖॖॖॿढ़ॎॶऒख़ॵॿॖढ़ग़ॖॗॻॶॾॗॗॗॗॗॗॗॗॗॗॗ 取り組み成果・参考実績値	るより ノ\リ拍信		
他団体の充進的な	取り組み成未・参与夫領個			

事業 434 事業名 中央通りモール化推進事業 部内管理

	(業コード)					404234 (部課コード)						404				
評	西対象事業	€名	中央	通りモ・	ール化推注	佳事業			部	課係:	名	生活環境	竟部 生	活経済課	(局·室)	
年月	度別明細	H1	2年度	Ŧ	H13年月	甘	Н	14年度事i	前		H14年度	達成				
<u> </u>	Z/33 · /3/MA							き一方通行		中央	通りモール					
事			わい倉		歩として、一			段階的な取				舌用等を検				
業	務量	事業額	脚をす		化について			するため、「								
					隣との調整 を実施	'恋談		会へにぎわ 補助金を支			金を支出	//創造事業				
	うづくり -		わい倉		一方通行化			通行化に向]けた			銀行跡地				
指标		事業制用した			た近隣居住 懇談会を3[^{継続} わい創造事	***		用策の検	副を継続 告事業補助┃				
	」 ルス] 口 / ホ	商店会						活用し、中央			活用し、中					
1	劦働指標						商店会で検討を継続			店会で検討を継続						
		書を作			を継続											
予	算額(千円)		1,	000					1,125			1,125				
	算額(千円)			975								555				
_	(行率(%)			7.5%								49%				
年	間の実施2	_					• -		40	_		100				
	4月	5)		6月 ·中央通!	<u>7月</u>		8月	9月	10)	月	11月	12月	1月	2月	3月	
			ļi	商店会へ	.IC											
当				ぎわい創 偉業補助												
初計			:	を交付												
圖				·商店会会 と随時調												
-,					<u> </u>											
		. あさ7)銀行					·中央通り	·研修会	Δ 2					·商店街駐	_
		跡マンシ	つい店					商店会へに							車場PR作	
		舗研究	î					ぎわい創造 偉業補助金							戦 ·視察研修	
	,				-			岸乗補助並 を交付							· 倪奈妍修 会	
結															・中央通り	
果								・商店会等 と随時調整							商店会へに	
															偉業補助金	
l .															を交付	
变	更計画の記	兑明	(中間	間評価	時)											
						により	、検討(の中心とな	るまな	5づく	り小委員	会の活動が	が9月から	行なわれる	ることとなっ	たた
め	こスケジュ			したもの	ひ。											
	主管課事			ᅺᇑᅜᆂ	N11 +1-11	****	. 1=	ᄪᅼᆖᇎ	±	:1 1	ジナヘリン仕 / -	751 1 1 51 1 1		2	1	
								:ぼ計画どお 委員会が継					- L - モール化		』 段階的対応と	レフ
												状況である。		5101 317 701.	X1043X370.C	•
	成果に	対する	評価	(大・	中・小り	えはなし	,)							2		
	理由・まち	づくり小	∖委員?	会の検討	付は、熟度を	をもって	進められ	1ているので	で、市側	の整	備計画との	の調整を進め	oる必要がる	5る 。	_'	
	<u> </u>	L 45 +++	лд 1— »	1 - 1 - 2 - 2 - 2 - 2	ж / =	-	/IT \								1	
					価(高・			ジタンが 垣	#B 65: # >	级 :文	州た向 ト⇒	: せるもので	+ <i>t</i> > \	2	J	
事	注田 间位	エスいこ	にはカンバ	ル人、「加門」	いりまたい	ж₩И.5	ルは忌我	が下いり、粒	^{አረገ} በ በ / ዓ	※土/月	江でい丁口	. e & ov ()	10×10×10			
14.							は時間を	要するが、	事業者、	市民	この合意形	成、主体的耳	収り組みを配	譲成するため	かには、今後	も商
後	店会等の国	取り組み	みを支	援するこ	とが必要で											-
評	事業事前															
"'		代況評 位	d (i	計画どお	り<計画以上	進捗を含む	t;> ∙ (3	ぼ計画どお	り・言	計画と	゚゚おり進ん	でいない)				
価	理由·															
	成果に	्रोकट	評価	(大 ·	中・小	マはなり	,)								1	
	理由・	-717 0	нтіш	, ,,	د, ن	~ 10.00 C	,									
															_	
		Ŀ経済	性に対	する評	価(高・	中·	低)									
	理由·															
	纷 ◆≒/走		리속	生 主 -	亡活にかっ	t ◆+	- - ππ4□	ᆲᆂᇲᆖ	レ田ニ	Z 4"	` [- -		坐过叶心	の対田や	ᅅᆂᄴᆂᄞ	12 41
	総合評価		_		ク迪行化 <i>。</i> が望ましい		ル収組	のは必安	こぶん	ອ //	、「にさん	小 間に手	未開助立」	いXJJ未 19	必要性を明	ינוכו

'n					
	事業	435	事業名	ジブリ美術館・東京スタジアム連携強化事業	部内管理

争業	435	争兼	台 ツ	ノリ美術ほ	ほ・果か	くんグン ブム理	捞蚀化	争兼			当公信	埋
	•											
(事業コード)					404235 (音	『課コード)						4(
評価対象事業	美名 ジブ!	美術館·東	京スタジアム連	售携強化事業	業 部	課係名	生活现	環境部 生	生活経済記	果		
基本計画の提	■■	」 あり	□なし_	96	ページ掲載 記				内田		内2542	
計画体系	第2部	3年4・3-(5)-		240035	1 歳	出科目				工費 目:2.7		
計画事業名	市立	アニメーション美術	育館や東京スタ	ジアムとの連携	もの強化 (款	·項·目·事項)	1.商工技振興事業		養養 商工扱	展興事業費補 	助金(一部:	= 観光
計画体系					補	助区分	□■	補助 🗀	都補助	₩ 市単独		
計画事業名					関	連計画	三鷹市商	5店街振興プ	ラン			
計画体系					関	係法規						
計画事業名												
事業の目的< (対象)	対象(何を	誰を対象に	.) 意図(対象	食をどういう状	態にしたい	のか)>						
シブリ美術館 (意図)	や東京スタミ	/アムの集客	力や地域と	の関係性を	活用して、	活性化事業	を行う商り	店会、 三鷹	商工会			
商工会等が スの開発、関						ジアムがよりせ される。	域に密着	着した施設と	こなり、これ	ら施設関連	の商品·†	サービ
事業の概要		(<u>1101-017</u>)	単年度		数年度	(始期:	13 [£]	F度 ~	終期:			
三鷹商工会に スの開発にあた					とともに、商	あ店会が実施で	「る関連イヘ	ンソ事業等に	も補助金を	交付する。ま	た、商品や	サービ
				当該事	務に従事す	する実質職員	数			0.1 人		
今年度の事業												
商工会観光 	振興事業委	員会(年9	回開催)に参	多加するほか)、同委員:	会の事業を則	オ政的に	支援する。				
今年度のまち	づくり指標	の説明										
三鷹商工会	観光振興事	業委員会	が実施する記	諸事業によ!	〕、ジブリ美	術館、東京	スタジアム	の集客力	を活用した	商業活性化	化を図る。	
今後、市民満足	度を評価する	ため別途調査	を行う必要があ	るまちづくり指	標りた	プリ美術館及び頭	京スタシアム	の活用事例、配	商店等の売上	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	变化等	
他団体の先進	重的な取り糸] み成果・参	考実績値		•							
年度別明細	H12年度		H13年度		H14	年度事前	Н	14年度達成	ÿ.			
1 12/33:13/44	·第1回みた	・商工会シ	ブリ美術館・!	東京スタジア		tかFC東京観		回みたかFCI				
事業·	かFC東京権		委員会による	美術館開館	戦DAY実施		観戦DA					
業務量	戦DAY実施	記念イベン・第2回み	/トの実施 たかF C 東京額	目戦D∆∨宇旃	・観光マップ・美術館歴	1F戍 館1周年関連		ップ作成 2開館1周年間	関連			
		#2년까	にガーで未外報	5.1元レハ 大ル	事業の実施		事業の		力迁			
まちづくり	463人が参 加		がジブリ開館i Pokiオリジナ			第4回みたかF DAY実施。1回		『、第4回みた				
▮指標 行政指標	ЛЦ		POKIAリンプ、 の歌を製作。			の参加を目指		_{我DAT} 美元。 人の参加を行				
協働指標			ード約2,000人		す	·/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	観光	マップを作成				
		1,000人	・ 観戦DAYはす	ち言っ ねごつ		ップの作成		館開館1周年	関連			
			、鉄加(専用シ			開館1周年関連 布	事業を	美 肔				
		行も)	(5)4((3)13)	1177777								
予算額(千円)	50	12		2,162	2	1,87	6		1,876			
決算額(千円)	48			2,162		,			1,876			
執行率(%)	96.6	5%		100%					100%			
年間の実施						100		160	4.5			
4月	5月 ·観光振興	6月 ·観光振興	7月 ·観光振興事	8月	9月 ·観光振興	10月 ·観光振興 ·	11月 観光振興	12月 ·観光振興	1月	2月 ·観光振興	3月 ·観光振興	+
		事業委員会				事業委員会				事業委員会		
当初												
初 計	◆ ·マッフ 作成	†	·F C東京智 戦DAY	◆ ·マッフ ['] 配布	・三鷹の森コ	·シブリ1周年・	FC東京観	・三鷹の森ク	†		 	>
					ンサート	記念三鷹の		リスマスコンサ <i>ー</i> ト				

変更計画の説明 (中間評価時)

結果

·観光振興 事業委員会 事業委員会

・マップ作成 ・マップ作成特別委員会特別委員会

商工会のジブリ美術館1周年記念関連事業が11月に変更されたもの。

·第2分科会 ・マップ配布

・マップ作成特別委員会 ・FC東京観戦DAY

・観光振興事・観光振興 ・観光振興 ・観光振興 ・観光振興 ・観光振興 ・観光振興 ・観光振興 ・報光振興 ・事業委員会 ・第1分科会 ・第1分科会 ・第1分科会 ・第1分科会 ・第1分科会 ・第1分科会

・シブリ1周年 記念三鷹の 森フェスティバ ル

..第.1.分科. 会 ·第2分科 会 ·観光振興 事業委員会 事業委員会

> ・アカデミー 賞受賞記念 特別セール 等

事業 435 事業名 ジブリ美術館・東京スタジアム連携強化事業 部内管理

7 =	- NIZ 16 \			40.4005	/505B - 18)	1			40.4
	(業コード)				(部課コード)				404
評	<u> </u>	ジプリ美術館・東京	スタジアム連携強化	<u> </u>	部課係名	生活環境部	生活経済課	(局·室)	
		西 五(計画どおり<計画U で画を見直したものの、				่ บでいない)	1		
		評価 (大・ 中・)信頼関係は年々充実 った。		プリ美術館と	の連携についても	、商店街街路灯設置	1 、アカデミー賞受	賞記念イベント	等により、一
	効率性·経済	性に対する評価(高	新・中・低)				1		
事	理力 しずれの事	業においても、関係者	,	を得て経費の	節減が実現してい	1る。	<u> </u>		
後	総合評価:FC東京 進されており、市、	を主としたスポーツ文イ 商工会等との関係も	との面での交流、ジ さらに円滑なものと	ブリ美術館を なっている。	主としたアニメージ	ション文化の振興、及	びこれらを活かし	た地域活性化	は着実に推
評価	IB 由。	会事後評価 近(計画どおり<計画に	以上進捗を含む>・ ほ	ぎ計画どおり	・ 計画どおり進ん	 บัง (1ない)			
1144		評価(大・中・	小又はなし)						
	効率性·経済 理由·	性に対する評価(高	⑤・中・低)						
L	総合評価	第3次基本計画で ては事業成果の検				度事業となってい	ることを踏まえ、	今後の事業組	継続につい

(事業コード)		404236	(部課コード)		404
評価対象事業名	∐ 相談事業		部課係名	生活環境部 生活経済課	
基本計画の掲載	☑ あり □ なし	90・94 ページ掲載	記入者名	内田 治	内2542
計画体系	第2部第3·3-(3)-	2300331	歳出科目	一般会計 款:7.商工費 項:1.商工費	目:2.商工振
計画事業名	情報収集・提供の支援		(款·項·目·事項)	興費 事項:13.IT相談事業費	
コールカ	空へ立て空へ 4 (0)	0.400.400	>±04577		т ж хт

計画体系 第2部第4·4-(2) 2400420 補助区分 情報収集・提供の支援 計画事業名 関連計画 関係法規 計画体系 計画事業名

事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)>

436 事業名 IT相談事業

事業

パソコンやインターネット等!T機器の操作に関し初心者レベルにある中小事業者、市民

(意図)

13年度に市内で実施された! T講習会参加者に対しては、その後のフォロ-アップの相談を受ける場として、初めての事業者・市民に対 してはIT機器等の利用について理解を深める場として活用し、市民の情報化推進を図る一助とする。 事業の概要・期間 単年度 ▼ 複数年度 (始期: 14年度 を期:

事業の概要・期間

15年度)

三鷹産業プラザ内にIT相談コーナーを設置し、週3回相談事業を行う。

当該事務に従事する実質職員数

部内管理

今年度の事業・業務量の説明

今年度のまちづくり指標の説明

毎週3回相談コーナーを開設し、年間のべ1,000人以上の相談者に対応し、その8割以上が相談内容に満足されることを目標とす

。 今後、市民満足度を評価するため別途調査を行う必要があるまちづくり指標 相談コーナー利用者に対するアンケート等

他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値

 事業
 436
 事業名
 I T相談事業
 部内管理

(事	(業コード)						40423								404
評化	西対象事業	業名	IT相	談事業	4			部語	果係?	7	生活環境	部生活	5経済課	(局·室)	
在 E	度別明細	Н	12年月	奆	H13年度	Н	14年度事	iii		H14年度	達成				
事		- 11	<u>12).</u>	×	1110 <u>+12</u>	14年4月 週火・ス	月~15年3月 木·土曜日に ナーを開設	の毎	14年 週火		F3月の毎 日にIT相				
指相	5づくり 票 う政指標 協働指標					相談者	11,000人以 に対応。8割 1度を確保		対応から	。9割以上	D相談者に の利用者 Nるとの反				
	算額(千円)							3,415			3,415				
	算額(千円)										3,415				
	(行率(%)	L									100.0%				
年	間の実施に								_		T				_
当初計	4月 江相談事 業開始	5)	∃	6月	7月 第1四半期 の事業成 果等確認	8月	9月	10 第2四 の事 果等研	半期	11月_	12月	1月 第3四半期 の事業成 果等確認	2月	3月 第4四半期 の事業成 果等確認	
画	IT相談事 業開始				第1四半期			第2四の事業				第3四半期 の事業成		第4四半期 の事業成	
結果	*				果等確認			果等品				果等確認		果等確認	•
变	更計画の記														
事	理由・相談 成果に 理由・利用 思われる。 効率性	状況評値 (件数に に対する 引者の半 生・経済	画(in	て、目標 (大・ 上にあた 対する評	S り、計画以上進捗 さしていた 1,0 中・ 小又は さる 4 3 5 件は、 [†] により、一般企	00件に到達なし) 目談利用回 ・ 低)	達していない 数が2回以P	。特に	第四四の	四半期の和 ソコン初心	利用者数に派 者を対象と	成少が見られ したITリテラシ	2	は効果があっ	ったと
	は大きい。	一方、	利用者	皆の傾向	[は、一般家庭/]からは、5回以										
	理由・	犬況評値	西 (言	計画どま	うり<計画以上進捗を		ぼ計画どお	i)・ 計	画ど	おり進んて	ごいない)				
	理由·				中・ 小又は 価(高・ 中	,									
	理由:総合評価	ェ· <i>和</i> 王 <i>/</i> 月			で	·	ዸ度を得た5	主績を	踏手	え . 亚成·	15年度の日		直しを行う	が要があ;	5.
	н н і і і і і		1 12%		C.S.(1),(1) E (7).	. U) <>/III \C	.,,e = N, /C,7	~ m== C	₽ □ 6 .			- ·// II= V// / DI		ه ره دا چر پ	- 0

事業	437	事業名	地域プランド創出事業	部内管理
----	-----	-----	------------	------

(事業コード)	±₩±±;¬'=	・・・・・・	= 71K		404237	(部課コー	- ド)						404
評価対象事業	名 地域ノフ	シンド 創出事	^事 美 			部課係名	3	生活	5環境部	生活	経済課		
基本計画の掲			☑ なし			記入者名					内田 治	内2542	<u> </u>
計画体系	第2部第4				100200	歳出科目						目:2.商工	振
計画事業名	商業の流	活性化の	推進と支払	爰		(款・項・目・事	1290)	興費 :	事項:14.:		創出事業費		
計画体系						補助区分			国補助		1113 -73	市単独	
計画事業名						関連計画		三鷹	市商店往	張興プラ	ン		
計画体系						関係法規	見						
計画事業名													
事業の目的 (対象) 三鷹の特性、 (意図) 	地域の特性・ 品・サービスを l用性の高い丼	・個性を生	かした商 とする中小	品·サ- ・事業者	- ビス等を開発 (の)	発しようと を接して、鬼 、地域のイ	する中/ 魅力と個/ メージと	性の増 :競争力	大を図り、]の強化を	事業者等 図る。			
事業の概要・期		<u></u> ぶ「+#\+武フ':	単年度	-	 ▼ 複数年 経用し、中小事				4年度 ブス閉発	~ 終期を古場す	•	15年月	隻)
1外以云社よう	コンハニ鳥ん	1、1四块人。	// (/ //)		■用り、中小事 「該事務に従				- 人用光	で又扱り	ວ. 0.1 ∠		
今年度の事業	業務量の説	明		=		サック天皇	良蝦貝牙	ZΧ			0.1 /	<u> </u>	
個別商店・商店 意欲、ニーズの批 う。	会の新商品・新 関握から、個別の	新サービス[の相談・指											
今年度のまち2 個別商店・商店			開発の支援	を具体	的に2件、汎用	品等の開発	Ě支援を	2点行	うことを目	標とする。			
今後、市民満足	度を評価するた	め別途調査	を行う必要	があるま	ちづくり指標	相談コース	ナー利用	相者に対	寸するアン	ケート等			
他団体の先進	的な取り組み	·成果·参	号実績値										
年度別明細	H12年度	H13年			F度事前		4年度達						
事業· 業務量			地域 託。 ナ-を	ブランド 創 同社に 記置し、	ちづくり三鷹に 割出事業を委 也域プランドプラン 、商品・サービ 支援を行う。	地域ブラント 託。同社に	・創出事 こ地域フ し、商品	業を委 ランドプ ト・サー	5)				
まちづくり 指標 行政指標 協働指標			サー の開	ビスの 発に対	会の新商品・新 開発、汎用品 する支援をそ ずつ行う。	事業者(ラサキ」の種子を入事模索。染色検討を行った。	活用策を 手し、栽集 色製品等	を検討 培方法 を視野	。 を りに				
予算額(千円)					5,372				372				
決算額(Ŧ円) 執行率(%)		1							372 00%				
								- 10	70 70				
年間の実施スク		<u> </u>				40.	445		40 🗆				_
4月 地域プラン 7	<u>5月</u> パランナ-選 パラ	6月 / ナ-業	7月	8月	9月	10月	11月	-	12月	1月	2月	3月	_
ドプランナー		開始											
当		•			製品・サービ 接	ス開発支							
初	事	業者の			抜								
計画	要望	望等調											
	査												
		ンナー業											
トゥッテンナー * 募集	考 務情	開始			「三鷹ブラン	ドの全。を							
結結		•			構成し、「ム	ラサキ」を						-	١
果		業者の			生かした地域								
	安 查	望等調			商品づくりな	こで候糸							
表示さしまった。	10												
変更計画の説明	坍												

 事業
 437
 事業名
 地域ブラント 創出事業
 部内管理

ード) 地域ブランド倉	引出事業	404237 (部課コード) 部課係名) 生活環境部	生活経済課	(局·室)
主管課事後評価 進捗状況評価(計画どお 理由・pokiの活用策を検討する				2	,
対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対		S AJVTIERNORS	表面 フィッセ (火車) する女	2	来10に円17だ18
理由・事業者の発案による「ムラものと期待される。)入手、市内農家、小学校	等の協力を得た種子ま	き等が進んでおり	、今後につながる
効率性・経済性に対する評値 理由・現時点では、事業者の創意		5り、短期的な効率性、経	済性を追求してはいない	2 I _o	
総合評価:意欲ある事業者が集 会が商業者等の交流支援コーナ ることとした。					
事業事前審査会事後評価 進捗状況評価(計画どお 理由・	りく計画以上進捗を含む>・ ほぼ	計画どおり・ 計画どおり	進んでいない)		
成果に対する評価 (大・ 理由・	中・ 小又はなし)				
効率性・経済性に対する評値 理由・	西(高・中・低)				
総合評価 主管課の認	識どおり、委託の形態もお	含め、地域ブランド創出	事業のあり方につい	て見直しを行う	必要がある。

事業 438 事業名 消費者相談の充実 部内管理

コード)		3 (部課コード)	404
対象事業名	消費者相談の充実	部課係名	生活環境部 生活経済課 (局・室)
計画の掲載	▼ あり	記入者名	出竿 内2545
体系	第2 部第5 ·1 -(1)-1 250011	1 歳出科目	一般会計 款:商工費 項:商工費
事業名	消費者相談の充実	(款·項·目·事項)	目:消費生活対5事項:消費者相談関係費
画体系	第 部第 · -()-	補助区分	□ 国補助 🔽 都補助 🔲 市単独
事業名		関連計画	
画体系	第 部第 · -()-	関係法規	三鷹市消費者活動センター条例、三鷹市消費
事業名		1	者相談員設置要領
(対象) 市民	(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にし	_v,//	
相談の受	そ付、助言、 苦情に対する迅速な処理と消費の生	∈活情報の提供を	を進める。
の概要·期間		度 (始期:	13年度 ~ 終期: 0年度)
121-101	る消費生活相談に対応するため、東京都消費 1談体制の整備として、相談機会の拡充や、相		
	当該事務に従	事する実質職員	数 2.6 人
度の事業・業務 な相談の増加・	务量の説明 のため、相談処理にネットワーク化された情報○	の活用をする。 被	3害防止のための地域セミナーで啓発す
度のまちづくり 者相談受付件	指標の説明 数・相談内訳(苦情・問い合わせ・要望)は相談	の活用度を示す	。増加に応じた対応が求められる。
	<u>程度」を評価するため、別途調査等を行う必要がある</u>	ちづくり指標	
体の先進的な	取り組み成果・参考実績値		
İ			

事業 438 事業名 消費者相談の充実 部内管理

/重	業 コード) 404238 (部課コード) 404															
	<u>未 1 </u>		建 者相	談の	<u></u>		7072		『課係		生活	環境部	4	活経済課	(局・室)	
	別明細	ボロープログ H12年度		<u>пх • ></u>	H13年度		H14年度事前		ניו אינו רו	N H 14年度達成		ж-ж <u>ы</u> г		_/口//_///	(14) I	
1,727	3773864	相談開設体制		相談開	設体制	相談開設			相談開		`					
事業·		月~金曜日		月~金		月~金曜			月~金							
業務		10時~12時		10時~		10時~12			10時~							
未加	#	13時~16時		13時~		13時~16			13時~							
									1							
++-	£/12	週延8人体制		週延8人		週延8人位			週延8人							
まちつ	1(1)	相談受付件数			付件数		談の充実を		相談受							
指標		1028件		1055件		はかる。			1394件							
	牧指標	苦情897件		苦情94					前年比	32.1%増						
協係	動指標	問合わせ131件		問合せ												
<u> </u>				要望1作	<u> </u>											
3	算額 _(千円)		7,136		7,50	11		6,922			6,940					
決	·算額(千円)		6,399		7,23	19					6,574					
\$	丸行率(%)		89.7		96	5.5					94.7					
年間(D実施スケジ:	ı — JL														
.,	4月	5月	6月		7月	8月	9月	1	0月	11月	12月	1	月	2月	3月	
	消費者		07.		.,,	0/3	0,,		0,,	,,	.273		, ,	/ 3		-
	/D Ø D I															
	悪質	 新注						事が	商法	1						
当	被害防」	1						被害防	- 1							
初計	ヤヤン								ュエー ノペーン							
画	+ヤン/							+72	ハーノ	1						
			AMERICA .				OF TY. I. T. I									
			啓発セミ	: -			啓発セミナー									
_	W == + 1 = + d															
	消費者相談	1	l	1	1		i	I		Ì	1	1		1 1		
	## 65 - → '+															
結	悪質商法	法被害防止														
果	キャンペーン	74/30						10/	15	11/29						
	啓発セミナ-	-	地域	1	地域2回					地域	団体			地域		
			6/3.14	1	7/15.19					11/14		12/6		2/18		
変	[計画の	説明														
		点から、必要	に応じ	対応:	するため、往	頭キャン	ペーン・地域	啓発	セミナ	一(出前講座	車)の要望	望にあわっ	せ実施	することとし	t	
			.1-70 0	,,,,,	, 0,0,0			, , , ,		(== 133 #132	_,					
	主管課	F後評価										_				
	進捗	犬況評価 (計画と	:おり<	:計画以上進捗を	E含む>'	まぼ計画ども	31).	計画	どおり進ん	でいない)				
	理由·相詞	炎内容の多様	化が進	፤ み、/	情報関連·電	話情報も	ナービスや金	融サ	ービス	に関する相	談件数は	ま、前年と	じ32.	1%増の139	4件となっ	
	た。															
l l		こ対する評価	i(大	· #	・ 小又は	なし)						[
l		づくり指標と	•				とは消費者	相談力	が活用	されたことを	を示す。	•			•	
l			-						_							
l	効率性	生・経済性に	対する	評価	(高・中	· 低)						[
_=					•	,	ムに活用し、	相談	業務の	充実を図る	ことがて	゙ きた。			•	
事								••				-				
1,4	総合評価	悪質商法袖	皮害防	止待頭	頁キャンペー	ンや啓発	セミナーの間	催に	より. :	地域·商店?	会·警察≇	等との連‡	隽を図]ることができ	た。	
後		相談(件数:7										~ = 1			. =0	
		前審査会事:			, 5,20,101	IHHAM		H/IN NCAS	_ ~ 0	v						
評		けませる チャンス 大沢評価 (計画以 上准批本	こ今おこ 1	チげ計画だま	s 11 ·	計画	どおり准ん:	でしいたしい) [
l		ハルロエI叫(пЩС	. עי כ ט	□□以工進抄で	r⊟n>. I	める日間にの	٠,٠	山川	このり延り	CVIAVI)				
価	理由·															
l	C+ P :		. ,		. J. T. I	+>1 \						r			1	
l l	成果に対する評価(大・中・小又はなし)															
	理由·															
l .	., .			·- ·-											i	
l .		生・経済性に	対する	評価	(高・中	· 低)						L				
l l	理由·															
l																
	総合評価	相談	炎件数	以外	に、本事業	の成果	を表わす指	標の	設定	について杭	剣討する	ことが旨	直まし	· l 1。		
L																

事業	439	事業名	啓発事業の推進	部内管理
- -	100	7 71		

_													
(事	業コード)	-	7V 11V	- 10.54		404239	(部課コー)	')					404
評值	西対象事業	業名 啓:	発事業(の推進			部課係名	生活	環境部	生活経済	斉課 (局·室	室)	
基本	は計画の打	曷載	▽ あり) 7	なし	99ページ掲載	記入者名			井竿(内2545	
計画	画体系	第2	2部第5·	1-(2)-1		2500121	歳出科目	_	般会計 請	欢:商工費	項:商	工費	
計画	画事業名	消	費者相詞	炎· 啓発事業(の推進		(款・項・目・事	III) 目:消費:	生活 『	事項:情報収	双集提供事	業	
計画	「体系	第2	2部第5・	1 -(2)-			補助区分	□■	補助	□ 都補助	☑ 市単	鱼独	
計画	事業名	啓	発·情報	提供の充実			関連計画						
計画	 「体系	第	部第·	-()-			関係法規						
計画	事業名												
事業	美の目的< 対象)	対象(何 と 対象(至勤	_,		(対象をど	ういう状態にした	いのか)>	•					
\ \ \						消費者被害の こ啓発し、自己				者被害か	ò		
事業	€の概要・	期間		□ 単年	F度	☑ 複数年度	(始期	: 0年	度 <i>*</i>	~終期:		0年度	复)
	24 曲 4-24		ı = - / ıı	+ + 5+ 1− 17÷ .1	_+ 7 + 4	、	71	64T No. 15. 15	4 + 25	COO + A=:	±r;		
				を木然に防山 の入手機会を		oに、各種パンフ	ノレットの知	ミイヤインター	イットをバ	5円した情	树		
	ルバンル	A / L /X O B	ᆥᆔ	の八丁版立て		」。 当該事務に従事	する実質	職員数			4.0 人		
今年		業·業務量 度とほぼ		事務·業務量		消費者講座を			が増加す	る。			
		5づくり指札 計者啓発請		-	り訳を調査	査することによ!	り、消費者	被害等の実態	を調査す	·る			
Ι,		口进口车	≠ ≒ / ∓ ∃	- フ Ł . L . 回 ! 今 i	日本なまに	こい西がちっても	- ベノハ+12+両						
他区				果・参考実績		う必要があるまち	0 ノ(リ拍信						
年度	引明細	H12年	F度	H13年度		H14年度事前	H1	4年度達成					
		啓発パンフ発		啓発パンフ発行		(ンフ発行	啓発パンフ						
事業・		7種 57,600)枚	7種 46,600枚		16,600枚	7種 46,600)					
業務	重	教育副読本 3,800冊		教育副読本 4,800冊	教育副4,500		教育副読本 4,500冊						
		0,000 10		14 , 000 jig	1,000	7110	7, 500 0						
まちづ	(1)	消費者講座		消費者講座			地域消費者	セミナ					
指標	-L-10-100	5種 22回		5種 18回			6回						
	政指標 動指標	市民向けPC 随時使用		市民向けPC 随時使用			親子消費者· 1回	セミナ					
10001	到3日1示	p/应时(文/T)		NG NG IX /TI	ト調査	者講座の参加者にアンケ を行い、被害実態を把握	し消費者セミ	ナ-2回					
					市民を	消費者トラブルから救済	ां						
	算額(千円)		2,722		2,067	4,5	535	4,535					
	算額(千円) 執行率(%)		2,722		1,907			3,790					
_	, ,		100.00%		2.30%			83.57					
年間(D実施スケジュ 4月	<u>ール</u> 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	\neg
			連携	連携		車携	連携						
			事業	事業	事	¥	事業						
当	消費者請	座											
初計	诵信制消	費者講座											
画	×2 10 103/F	,	1				1						
				パンフレット	作成								
	— m= /w /m //		1				+		100-0			0F0:F	
	三鷹消費者作成 ストップザ・悪	•	l ı			9月24日			12月2日			3月24日	
	通信制消費者						+						
	消費者教育副認												
果	くらしの豆知識							11月15日					
	親子消費者セ	ミナ-		7月24日		00470		44.0-0					
	消費者セミナ- 地域消費者セミ	: - -	6/3 · 14	7/15 • 19		9月17日		11月7日			2月18日		
_			1-1				1			1	_,,,,,,,,		-
	巨計画の記	光 坍											

事業 439 事業名 啓発事業の推進 部内管理

-									
)			40	04239 (部課コード)				404
	対象事業名	啓発	事業の推進		部課係名	生活環境部	生活経済課	(局·室)	
	主管課事後。 進捗状況 理由・消費者者 に合わせて対 理由・高級果に対す 理由・高級を生産 では、 対本を 理由・通性・経 理由・通信制 総合評価・地域	平価 (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で	計画どおり<計画じるりを計画いる各種パンフレットインターネット活用(大・中・小の発行などにより、、テ・マ選定・開催する評価(高・座は、受講者・修っは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	や副読本等による消費で行う最新情報の発信に又はなり) 消費者教育の対象を拡充法等検討の必要があ中・低) 了者とも目標に達せず、活画的に実施することとし	新書画どおり・ 計画どお 者問題の啓発はほぼ計画とかいては、市のホームへな大した。	り進んでいない) 国どおりであった。地 ページのリニューアリ 「 に に に に に に に に に に に に に	域消費者セミナ-	t要望	
 評 	理由·	平価(託言画どおり・ 計画どお	り進んでいない)		 	
	効率性·経 理由·	済性に対	対する評価(高・	中・低)					
L	総合評価	通信	制消費者講座は	は、事業効果等から見	しても有効性が低いた。	め、廃止が妥当と	考える。		
1	事業	440	事業名	姉妹・友好市町	「村等物産交流事業	業		部内管理	

コード)		404240	(部課コード)			404					
対象事業名	姉妹·友好市町村等物産交流事		部課係名	生活環境部	ß 生活経済	課 (局·室)					
計画の掲載	☑ あり □ なし	99ページ掲載	記入者名		鈴木庄二	郎 内2545					
体系	第2部第5·2 -(4)-1	2500241	歳出科目	一般会計	計款:商工費	項:商工費					
事業名	姉妹·友好市町村等物産交流事業	•	(款・項・目・事項)	目:消費生活	事項:姉妹・友	好市町村物産					
	第 部第 · -()-		補助区分	□国補助	□都補助	□市単独					
			関連計画								
	第 部第 ・ -()-		関係法規								
	7										
) 三鷹市民) 姉妹・ホークス・友好市町村の特産品販売や郷土食・郷土芸能を堪能してもらい、市民レベルでの交流を深める。											
の概要・期間	□ 単年度	☑ 複数年度	度 (始期:	13年度	~ 終期:)					
姉妹・ホークス・友好市町村に依頼し、特産品・郷土食の販売や郷土芸能等を行う。また、商工会、JA三鷹の協力を得て、昨年の集客数を30%増とする。 当該事務に従事する実質職員数 1、09 人											
度の事業·業務 10月27日(日)別	務量の説明 開催に向けた連携事業を平成13			ΣX	1, 09						
度のまちづくり指標の説明 来場者数は、事業の認知度・活用度を示し、来場者の満足度は、企画・販売品目・郷土芸能の内容等の充実度を 指標とする。目標は13年度の30%増とする。											
7 154 1 5 411 51 5	<u>程度」を評価するため、別途調査等を</u> 取り組み成果・参考実績値	<u>行つ必要があるま</u>	ちつくり指標			·					
A .											

事業 440 事業名 姉妹・友好市町村等物産交流事業 部内管理

(部課コード)														404			
事業名 姉妹・友好市町村等物産交流				交流事	(生活環境	生活経済課 (局·室)							
Ę.	別明細 H12年度 H13年度					H14年月		H14年度達成			_	_		_			
						市町村確認			加市町村確認		10市町村の						
						設営委託契約		会場設営委託契約			2回の関連事業の						
						連携事業 1回 保健所に申請		建扮	連携事業 2 回		実施						
	/12							1 77.±			### ****** *						
(1)					来場者3000人			来場者3000人と アンケート調査に		来場者3000人の 集客の達成と聞取							
政指標									り調査による80								
働指標								の滞	の満足度を得る。		%の満足度を得た						
予算額(千円)					2,800			3,765		3,765							
決算額(千円)				2,401				3,266									
朝	以行率(%)								85,7%								
	4月	5	月	6F	3	7月	8月		9月	10月	11月	12月	1,F	3	2月	3月	
						ポスター			連携	連携							
ж		参加市町村決定				作成 実施概要	슾		事業 事業 開催								
当初						作成			起去)75 (E							
計画								ポス	マー配布	矢吹町	龍野市						
				郷土芸能		物産部内			物産部内	物産交流	物産交流						
L				出演依頼	· 	協力依頼			打合せ				<u> </u>				
						ポスター			連携	連携							
								事業 事業 会場設営 開係 委託契約		事業 開催							
結果																	
*								ター配布	矢吹町	龍野市							
					郷土芸能 物産部内			物産部内		物産交流	物産交流						
_	出演依頼協力依頼								打合せ				<u> </u>				
	の	説明															
	主管課事			社帯で	*+~ 11	±1.55 N L 14	-+ı+ ~	+\.	!で!ヹ゚≐⊥゚	= 12 to 10	こっぱんし	か生 / ポロか				i	
						<計画以上進 マ ー クス・友好						-		D名(0	D協力が復	l ⊒ch	
						多くの市民と					とぶ むこし	、一鳥肉工4	スゆしぃ	1) D \ v	ノカカノンバンで、	F91 W	
						中・ 小又は										1	
						鷹市民が各市	ラ町村の)物	産品や特産	5品への関心	を深め、各	ら市町村の 商	∮品を∃	三鷹市I	力での		
	購入を希望					-	/IT \									ſ	
						(高・ 中 の事業がなく	,	性。	効率性の評	延備はおずか	しいが 4	· 後事業形態	が固分	゚゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゙゙゙゙゙゚゚゙ゔ゚ヺ	- で	1	
	工夫する			-0.1±1-0%	776 120	07 -	(WI)	Τ,	W-170711	шис С 7 /3	00.73	汉子未//心	(/) EIA	_ / 00			
						シ加市町村が:				をした。三鷹で	†民に姉タ	未・ホークス・	友好市	町村を	Ē		
						すとの交流が	<u>より深ま</u>	₹ <i>ɔ1</i>	た。								
計	事業事前					<計画以上進	世た今	* >\	. I∓I ∓ °≘∔'	画じむり. :	計画でもに	14年4. ブロか				ı	
価	理由· 理由·	人儿計	Щ (司四乙	יני סס.	<計画以工進	.f少で 凸 '	ย>	. q q <u>i</u>	回このり. 5	川回この'.)進んでいる	(1) <u> </u>			1	
		- > - -	, ÷π/≖	: / 		+ 4.71+	+>1 \									ı	
	理由・	_X1 9 €	> 吉平1Щ		.• ч	中・ 小又は	(1 ()						_			1	
	効率性·経済性に対する評価(高・中・低) 理由・																
	総合評価 平成15年度はアンケートによる満足度調査の実施に取り組む必要がある。																